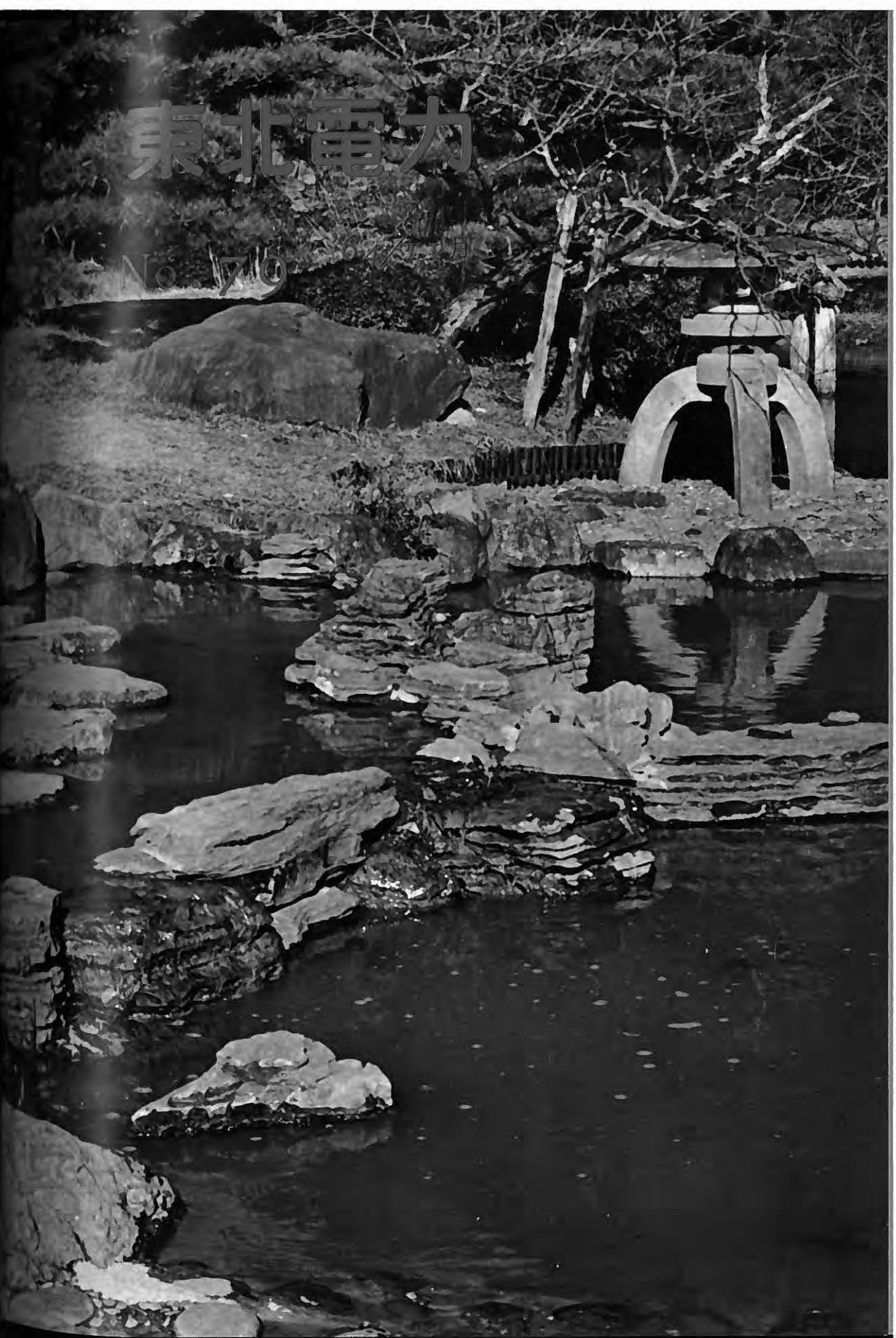

東北電力
No. 76




## 社誌・東北電力・第79号・目次


**商業ベースに乗りつつある原子力発電**……**井関市雄**…(2)
職務分類制度について……職務給制度準備打合会…(8)
**座談会・100号になる「家庭と電気」**……(18)

地熱発電……大林しげる…(54)
トウキョウあんない……(42)
とうほく風物誌・盛岡市……伊沢清…(39)
教務日誌……滝田七五三義…(45)
欧米視察記抄(2)……藤井勝雄…(48)
流行……門間香…(52)
寿命と食生活……飯塚律子…(58)

時の話題……(37)
私は知りたい……(32)
女の目……(59)
すいせん図書……(60)
架空の動物ばなし……(38)
店所PR誌紹介……(61)

**俳句**(遠藤梧逸選)……(62)
**短歌**(扇畑忠雄選)……(66)
**写真**(阿部秀陽選)……(33)

表紙　静寂(仙台市輪王寺)……小野幹




# 東北電力


No. 79　'64. 11



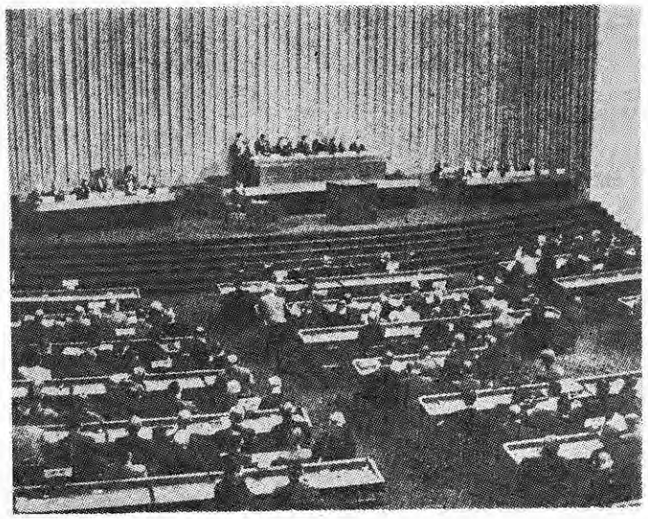


企画室広報課発行

# 商業ベースに乗りつつある原子力発電

## —第3回ジュネーブ会議から—

井関　市雄



原子力の平和利用に関する第3回目の国際会議が，国際原子力機関の主催で去る8月31日から9月9日までの10日間，ジュネーブのパレ・デ・ナシオン国際会議場で開催された。1958年に第2回の会議が開かれてから実に6年ぶりのこの会議には，世界の71カ国と5つの国際機関から約5,000名が参加し，総計761編の論文が発表された。

ところで，この第3回ジュネーブ会議は，これまでの2回にわたる会議に比べ，非常に性格の異なったものであった。今から9年前の1955年，原子力平和利用分野における国際協力の必要性が叫ばれ，原子力に関する新しい情報の広範囲にわたる交換を目的として，第1回の会議が開かれた。この第1回の会議は原子力に関する情報交換，秘密公開の会議であったとみることができる。これに続く第2回の会議は，第1回目が開かれてから3年後の1958年に開かれ，原子力発電実用の可能性を明らかにして，原子力に大きな夢を持たせてくれた。今度の会議は，原子力について総花的に発表する形式をやめ，テーマを原子力発電だけに絞って開催され，商業ベースに乗る日の間近かになった発電炉の経済性評価を大きな焦点とし，各国それぞれの動力炉の炉型の優位性が強調された。

以下にこの会議で明らかにされた原子力発電に対する各国の開発現状，将来の方向と意気込み，それに特に注目をあびた若干のトピックスについて紹介してみたいと思う。

### 原子力発電に対する各国の意気込み

**▼アメリカ**

今春，発電コスト4～6ミル（1円44銭～2円16銭）という安い原子力発電所の計画を発表し世界の注目をあびていたアメリカは，代表団長としてジュネーブへ乗り込んだシーボーグ原子力委員長が，開会前日の8月30日に記者会見を行ない，

1．50万～60万KW級の軽水炉を採用する原子力発電所の発電コストは，燃料価格が比較的高いアメリカの半分位の地域で，すでに火力発電と十分競争し得るようになった。



2．1980年にはアメリカで4,000万KWの原子力発電所が運転されているだろうとの見通しを，7,000万KWに改訂した。

などの諸点を強調したのに続き，開会式にジョンソン大統領はメッセージを送って，「アメリカでは，いまやKWh当り4～6ミル（1円44銭～2円16銭）の原価で電力を生産し，従来の火力発電と経済的に競争できる原子力発電所の建設を計画している。」と，原子力発電がまさに採算点に近づいているという事実を印象づけようと努めている。

発表論文でも，テープ原子力委員は，「最近火力と競争できるようになったアメリカの軽水炉は，今後20年間は発電炉の中で主要な地位を占めるであろう。濃縮ウランの価格は2回にわたって引き下げられており，この炉型を導入する外国にとっては，燃料入手についての不安はない。」と次のように述べた。

1．1959年当時，1970年に運転を開始する原子力発電のコストはKWh当り7ミル（2円52銭）まで下がると期待されていたが，今日では4～5ミル（1円44銭～1円80銭）になるものと予想されている。

2．1958年当時20万KW級の建設費は，原子力KW当り約320ドル（11万5,200円）火力約180ドル（6万4,800円）であったが，今年の初めに1電力会社が契約した60万KW級の原子力発電所（ジャージイ・セントラル社のオイスタークリーク原子力発電所を指す）では，約105ドル（3万7,800円）まで低下した。これは約5年間で建設費が約⅓に低下したことを物語っている。その他の多くのメーカーも出力50万～60万KWの規模なら約140ドル（5万0,400円）で，また将来100万KW級ならば100～110ドル（3万6,000円～3万9,000円）で建設できるといっている。

3．コスト低下の理由としては，①プラントの大容量化に伴いKW当りの建設費が大巾に下がった，②発電炉の設計，炉内施設の改良，建設方法の改善，③1958年以来，アメリカ経済にインフレ傾向がなかったため，技術の進歩がそのままコスト低下に反映した，④燃料価格が引き下げられた，などの理由が挙げられる。

4．外国がアメリカ炉を買う場合に備えて，濃縮ウラン燃料を十分に確保してあるので，燃料入手上の心配は全然ない。

5．第2回会議当時，アメリカには6万KWの原子力発電所1基しかなかったが，現在では約100万KWに達し，1968年には約450万KWになる見込みである。それ以降は，1970年に約600万KW，敷地と一般大衆の態度が好転すれば，1980年には6,000万～9,000万KWに達し，2,000年にはアメリカの電力需要の半分が原子力で供給されることになるだろう。

6．今後20年間に建設される原子力発電所の大部分は水型炉になるだろうが，1970年代の初期には，転換炉が実用化され，1985年以後は増殖炉が商用に供されるようになろう。

このようにアメリカは，世界の多くの地域で軽水炉が在来火力に競争できると自信を持って主張している。

**▼フランス**

アメリカの濃縮ウラン炉（軽水炉）に対抗意識をもやしているのはフランスである。ガス冷却炉部門で発表されたフランス電力庁の論文は，濃縮ウラン炉に比較して天然ウラン炉の利点をあげ，①燃料サイクルの単純さ—製造期間の資本費の減少，工程の在来性，②プルトニウム価格からのコストの独立性，③貯蔵の容易さ，安価などを列挙した後，建設中のEDF—4の発電コスト見積りとして，KWh当り3.25サンチーム（2円38銭）という軽水炉に匹敵する低コストを示している。また将来の見通しとして，環状燃料およびプレストレスト・コンクリート圧力容器などの採用による原子炉寸法の小型化，チャンネル数の大巾減（燃料取扱い設備の単純化につながる）などにより，資本費，燃料費がいずれも15％程度さらに減るものとみている。

フランスでは，EDF—4で原子力が在来火力と経済的に競争できるようになると考えており，これがフランスにおける経済的で信頼性のある原子力発電の出発点になるものとみている。現在，1966年～1970年

の間に年平均50万KWの原子力発電所を建設するという第5次開発計画を作成中であるが，この計画に含まれる原子炉の大部分はEDF—4と同じ天然ウラン黒鉛ガス型炉となっている。しかし，1965年に運転を開始すると予想さそる環状燃料と高圧ガスを使用する〝改良〟型の成績いかんによっては，すべてこの改良型に置き換えられることになろう。

また重水ガス冷却炉についても開発を進めており，現在設計中の原型炉EL—4からの発展により，将来はKW当り1,200フラン（8万7,500円）の建設費が可能だといっている。

その外，将来に備えて高速増殖炉についても研究を行なっており，1980年以後の原子力発電はすべてこの型で行なう意気込みを見せている。

要するにフランスは，アメリカに対抗して天然ウランガス冷却型の低温炉を，続いて重水冷却型を市場に売り込もうとしていると見ることができる。

**▼イギリス**

フランスがアメリカの軽水炉にたくましい競争意識を示しているのに対して，同じ天然ウランガス冷却型を開発しているイギリスは，豊かな運転経験を背景にした技術論文を多く提出し，経済性については新しい数字を出さず，ただ信頼できるのは自国の数字だけだと述べている。

イギリスは天然ウランガス冷却型でまず500万KWの原子力発電を開発しようという第1次開発計画を，ウイルフア発電所の発注をもってすでに完了し，今春，さらに1970年から75年の間に，総計500万KWを開発するという第2次計画を発表しているが，原子力公社総裁ウイリアム・ペニー卿の「イギリスにおける原子力発電」と題する報告も，この第2次原子力発電計画そのままの内容で，「この計画のための炉型の選定にあたってはすべての経済的な炉が対象とされる。」と述べただけで，コストの数字も今までに発表されたものと変っていない（たとえばウエルフアの建設費はKW当り100ポンド（10万円））。

また，今後の見通しについてペニー卿は，「ガス冷却型はAGR（改良ガス冷却型原子炉）に転換する方向も考えられるが，在来のコールダーホール改良型も熱交換器の改良，圧力の上昇，新型燃料の採用，燃料サイクルの改良などで現在のものをさらに改良し経済性を高めることができるので，コールダーホール改良型による開発計画はこれに改良を加えながら次の段階に移るまで継続する。またイギリスでは1970年初めには原子力発電は在来火力と競争できよう。」と述べている。

イギリスは，現在約100万KWの原子力発電所がすでに運転中で，それに関する多くの運転実績を発表しているが，それによれば燃料の事故率は近年著しく低下し，イタリアに建設された最新のラチナ発電所では従来の⅓～⅙となり，また負荷時燃料交換も好調に行なわれているため，発電所の利用率は非常に高く，ブラッドウエル発電所の場合には93%となっている。

一方，燃料の改良によってさらに比出力を高めようとする検討も行なわれており，その中で注目されるのは板状マグノックス燃料の開発である。板状燃料の利点は，いうまでもなく熱除去表面積を多く取り得る点にあり，中空燃料使用時に比べて20%も出力密度が上げられるといわれている。出力密度上昇の手段としては環状燃料による方法もあるわけだが，両者を比較した後，経済的，技術的にすぐれているとして板状燃料を採用している行き方は，フランスと対象的で興味がある。

AGRについては，ウインズケールの原型炉の運転成績がきわめて良好で，黒鉛の炭酸ガスによる反応の抑制などにより商業炉への発展に自信を得たとしている。またAGRは高速炉への発展の可能性がきわめて強いとも述べている。しかし，AGRのスケール・アップには技術上まだかなりの問題点が残っている。

このようなことから，第2次開発計画の主流をなす炉型は，改良燃料を使用したコールダーホール改良型，AGR，およびアメリカが開発した軽水炉の中から選ばれることになるものと考えられる。

**▼カナダ**

カナダは初めから天然ウラン重水減速・重水冷却型（CANDU）1本で開発を進めているが，現在ダグラスポイントに最初の原子力発電所20万KWを建設中で，今年中には運転を開始することになっている。この発電所は資本費率6.88%，設備利用率80%で発電コストはKWh当り6ミル（2円16銭）になると見込まれている。

しかし，カナダのオンタリオ地域で競争できる発電コストはKWh当り4ミル（1円44銭）であることから，従来のNPDの運転経験，ダグラスポイント発電所の設計および建設経験を基に発電コストの試算を行ない，その結果を発表している。それによると，CANDU型50万KW2基，設備利用率80%で，建設費はKW当り250ドル（9万円），発電コストはKWh当り4ミル（1円44銭）以下になるとしている。

現在運転および建設中の原子力発電所はわずか22万KWにすぎないが，1980年までには500万～700万KWの原子力発電が開発されるものと見込んでいる。しかもこれらはすべて在来発電コストの比較的高い南オンタリオ地区に建設され，大型の石炭だき火力と競争することになると予想されている。

またカナダ政府はアメリカへ電力を輸出するという新方針を打ち出しており，このことにより系統を大きくして大型プラントを導入し，建設費と運転費の低減をはかろうとしている。

次に技術開発の面では，最近大規模な調査研究を行ない，沸騰軽水型と有機材冷却型が現在の加圧重水冷却型よりKWh当り0.14ミル（5銭）程度安いとし，この両者では前者を選んで，加圧重水→沸騰重水→沸騰軽水の順に開発を進めて行く方針を決めている。なお，カナダはこの研究で初めて微濃縮燃料（ウラン235—1.42%）についても検討した。さらにイギリスと共同で霧冷却や貫流型原子炉を考慮した燃料関係の開発も意欲的に行なっている。

これらの技術を背景にして積極的に重水炉を海外に輸出しようというのがカナダの考え方と思われる。

**▼ソ　連**

ソ連代表シーネフ氏は，「モスクワ郊外のオブニンスクに世界で初めて5,000KWの原子力発電所が建設されてすでに10年になるが，現在では出力60万KWのシベリア原子力発電所がここ数年順調に稼動している。さらに，1980年までに数1,000万KWの原子力発電所を建設する計画である。次に，ソ連で採算性の確立を目ざしているのは，石炭・石油産地から遠いソ連の欧州地区であり，50万～100万KWの大型で建設費をKW当り190～200ルーブル（7万6,000円～8万円）とすれば，発電コストはKWh当り0.33～0.38カペーク（1円32銭～1円52銭）となる見込みである。」と発表し，アメリカの原子力発電の経済性に匹敵することができる見通しを初めて明らかにし注目された。

このように熱中性子炉の経済性が達成されつつあると述べながら，一方高速増殖炉についても，BR5型（5,000KW）の5カ年にわたる実験成績が予想以上に好調なことから，当所予定した5万KWの中間計画をとりやめ，一挙に30万～35万KWの発電炉を建設するという野心的計画を発表している。そしてその発電コストについても，60万KW級でKWh当り0.4カペーク（1円60銭）という楽観的な数字をあげ，増殖炉の燃料サイクル・資金効率での有意性を強調し，近い将来倍加時間（増殖炉において燃料が次第に増加し，もとの燃料の倍量が新しく生み出されるまでの時間）5年の設計が可能となると述べ，イギリスなどが増殖炉の実用時期を1990年以降としているのときわめて対照的で注目される。

## 興味あるテーマ

**▼海水脱塩**

今次会議でもっとも強い印象を与えたものの1つに原子炉の熱を利用して海水を淡水化する，つまり脱塩を目的とする特殊目的の利用がある。アメリカ原子力委員会のラメー委員は，「海水淡水化への原子炉の応用」と題する報告で，電力と淡水生産の2重目的を持つ動力炉の研究成果を発表している。同委員は，「繁栄か貧困かを分ける決め手は水である。」と前置きし，アメリカの海水淡水化への原子炉利用計画について説明し，この大規模な計画を実現するためには，国際原子力機関を通じるなり，2国間協定を締結するなりし

てこの問題解決への国際協力が必要なとを強調した。なお海水の脱塩についてはすでに米・ソ両国に協力関係ができ，また両国をはじめメキシコ，イスラエルなどの後進国においても関心が高まっている。

この問題が国際協力の新しいプロジェクトとしてにわかに脚光をあびるに至ったのは，発電よりも水という現在の後進国にとってもっとも切実な問題の解決に原子力を役立てたいとのいわば原子力における〝後進国対策〟であったともみられる。

ラメー委員の発表の内容は，

1. 内務省，原子力委員会，カリフオルニヤ州のメトロポリタン・ウオーター・デイストリクトの3者が最初に計画しているのは，電気出力15万～65万KW，日産20万～60万トンの淡水を生産する施設であり，1970年頃実現を予想している。

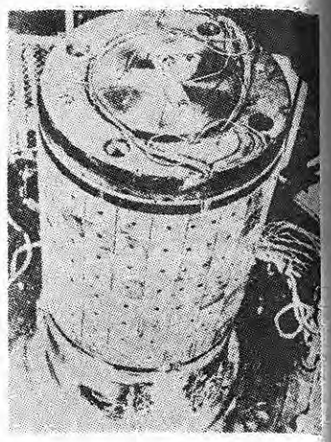
2. 炉型としては，経済採算上大型炉が有利で，電気出力が80万～100万KW以上では重水炉が経済的である。予備的研究によれば，軽水型または高温ガス冷却型の熱出力150万KWの発電所の場合，生産される電力コストはKWh当り3.6ミル（1円29銭），淡水のコストは1,000ガロン当り31セント（1トン当り約30円），重水炉で電気出力83万KWの場合は発電コスト2.4ミル（86銭），淡水のコストは23セント（約22円）になると想定される。

というものである。

また，イスラエル代表も研究結果を発表し，「大容量の原子炉を使用すれば，在来法による淡水の製造に比べてコストの安くなる可能性がある。」と述べている。原子炉利用の淡水化にはアフリカ諸国も多大の関心を示し，チュニジアの発表があったほか，アラブ連合は会議の数日前，淡水製造用の2重目的炉3基を建設する計画を発表して注目された。

**▼直接発電原子炉「ロマシュカ」**

ソ連は直接発電部門で，熱エネルギーを直接電力に転換する世界最初の新型原子炉「ロマシュカ」を発表して各国の注目をあびた。これは本会議開会直前の8月14日，モスクワのクルチャトフ原子力研究所で成功した電気出力500W（熱出力40KW）の実験炉である。



ロマシュカ

ソ連では各種の熱および核エネルギーを直接電気に転換する方法が研究されているが，最近原子炉技術の発展に伴う耐熱材料，半導体技術の進歩により原子炉の熱を直接電気に変換することに成功したもので，今後原子力平和利用の新しい分野を開くものとして注目される。

発表によれば「ロマシュカ」の概要は次のようなものである。

原子炉は金属ベリリウムの円筒で，炭化ウランの燃料を入れた11個の黒鉛の小型ケースが収められており，炉内で発生した熱エネルギーは原子炉表面に取り付けられた半導体熱電対で電気エネルギーに変換される。炉心の温度は1,800℃で，熱電対は数1,000個のシリコン・ゲルマニウム棒からできている。その部分の温度は約1,000℃で，熱電対に付けられたターミナルからは，88アンペアの電流が取り出せる。原子炉は底にある先のとがった反射体と側面の反射体につけられた4本の制御棒によって制御され，いったん予定通りの運転状態になると，あとは自動的に出力温度を調整し，維持することができる。

以上のようにこの装置では，熱エネルギーを直接電気に変換するため，普通の発電機のような機械部分がなく，へき地や宇宙飛行体用に小型化でき，応用面は広いと考えられる。

**▼核融合**

核融合については前回100編にのぼる報告が提出されたが，その後の6年間にはさほど顕著な発展はみられず，わずかに米・ソ・西独・オーストラリヤの4カ国から総括的な報告が行なわれたにすぎなかった。アメリカ原子力委員会のロジリック氏は，「かって科学技



術者が当面したことのないもっとも困難な課題だ。」と前置きし，高温下で重水素原子がイオン化した場合のプラズマ物理に関する基礎研究，連鎖反応のひきがねとなる超高温の保持，プラズマの熱の磁場による閉じ込めなどの研究にまだ長い時間が必要だと述べている。ソ連のアルツイモビッチ氏も核融合の困難性を指摘し，「核融合反応の制御は非常に高い階段を昇るようなもので，その1段1段は昇ってみて初めてどれ程の高さであったかがわかる。」といっている。

いずれにしても核融合によって原子力発電が可能になるまでには，まだまだ相当の年月がかかるものと思われる。

## 会議を終って

以上にこの会議の概要を紹介したが，特に今度の会議で注目をあびたのは，何といってもアメリカから提出されたジャージイ・セントラル社のオイスタークリーク原子力発電所に代表される軽水炉の経済性評価であったと思われる。これら発表に対する各国の反響はまちまちで，経済性を誇るために原価計算の細かい数字が示されていたものの，算定基礎をどこに置くかで，その数値が大きく変るため現段階では，発電炉が商業ベースに〝乗りかけている〟ことを示す以外の事実は得られなかっと見るむきが多い。

ところで，各国からこの会議に提出された論文は，独自で開発した炉型の有利さについてアドバルーンをあげていたとみることができる。アメリカは軽水炉がもっとも実用に近いこと，イギリスはAGRの長期燃料費が1970年以後0.1ペンス（42銭）以下になること，スウェーデンの重水炉がKW当りの資本費で240～250ドル（8万6,400円～9万円）になり，カナダ炉およびアメリカ炉と競争できる数値を示すなど，各国それぞれの特色を披瀝しているが，これら数値に対する具体的な裏付けとなる確定的な証拠は結論的に得られなかった。

また，イギリスのガス冷却炉の経済計算には発電機付属の変圧器・開閉装置などが一切含まれているのに対し，アメリカは主発電機までしか設備費として考えていないなど，その算定条件は非常に異なっているので，同一地域・同一条件で火力発電と原子力発電の経済性を比較することは意味があるとしても，異なる条件でコストの比較をすることは非常に危険なことであるといえる。

しかし，各国の原子力発電計画は着々とんでおり，今後の開発努力は，アメリカが，2,000年までに原子力発電が電力需要の半分を占めると予想され，イギリスも1,975年までに1,000万KWを計画し，さらにソ連も大規模な発電施設容量を持つ構想を打ち出しているなど，非常に活発である。特にインドおよびパキスタンなどは現状においても原子力発電は採算に乗り，電気出力20万KWの規模でも競争できるとして原子力発電推進を強調しているのは注目される。

### 日本の軍備

軍備縮少こそが平和への一番の近道ということを知りながら，軍備拡張・核兵器所有競争はますますさかん。日本には〝軍備〟はないが〝防備〟はある。陸上自衛隊17万人，海上自衛隊の艦艇14万5千トン，航空自衛隊1千百機というのが，そのうちわけ。

国防予算が日本の国民総生産にほぼ等しい（5百億ドル）アメリカなどとは比べものにならないが，一応そのための支出もある。ただ，軍備拡張の最高の時とくらべるとものすごく少ない。一般会計のなかの動合は，昭和19年が85.5%，現在は10%，国民所得との割合は，19年が129%，いまが12%。自衛官一人当りの年間経費は約60万円だが，月給と退職金が約40万円，食費4万円，被服費その他で約8割が人件費。肝心の兵器・弾薬費などは約3万5千円ていどだから，食べるのがやっとで，とうてい〝軍備〟とはいえない。しかし，この少ない〝軍備費〟のおかげで世界最高の経済成長を記録できたことになる。

# 職務分類制度について

## 職務給制度準備打合会

本稿は，日本コンサルタント協会理事，神山幸男氏（日本生産性本部職務分析委員会委員）が，本店管理職にたいして行なった講演の内容を要約したものである。講演は職務分類制度の一般的な内容についてのものであるが，当社で職務分析を行ない，職務分類制度を導入していくうえでも，示唆に富むところが多いと考えられるので，ここに，社誌をお借りして発表させて頂だくものである。なお，編集，文章の責任はすべて，本打合会にあること，および，挿図は本打合会で作成したものであることをおことわりしておく。

### I　職務分類制度の必要性

従来わが国では，職務分析というと，現業職を分析するための手法であると考えられていたのですが，最近電機メーカー，ビール業とかの大手企業において，単なる現業職の賃金改善のための職務分析としてではなく今後における外国企業との競争激化，人件費，労働力の確保・育成などの問題解決の手段として，職務分析を行ない，職務分類制度を確立し，企業の人の面での合理化，人事労務管理の近代化を計っていくという観点から力をいれ始めたというのが実状であります。

そこで如何なる問題点があって各企業が職務分類制度を確立しようとしているかについて，掘り下げて考えて見たいと思います。

#### 1．間接人員の増大

まず，第一の要因として，わが国の企業においては，非常に間接人員が多いという事情があります。欧米の重電メーカーでは大体 55:45 であり，この比率を比べてみてもわが国の間接人員が非常に多いという実状が察せられます。

そこで間接人員が増大する要因は色々あるわけですが，その主な要因をいくつかあげてみたいと思います。

第一に，わが国の企業で一番問題なのは間接部門のホワイトカラーの方が，ブルーカラーより優遇される傾向があり，現場より事務所へ行った方がその後の昇給とか昇進に有利であるように考えられがちだということであります。

第二に，組織上の機能重複が，あげられます。例えば，それぞれの課や係が行なうべき仕事の範囲は一応規程化されているのでありますが，規程には○○に関する事項ということが書いてあるだけであって，別々の組織で同じことをしていたり，報告書を二重に作成しているというようなことはないでしょうか。わが国の企業では機能の重複という面で無駄な間接人員が投入されている傾向があるようです。

第三に，人の処遇のために職制が作られるということであります。欧米では賃金水準が高いため，課長職を設けると，その管理限界を考慮しながら，できるだけ多くの部下を監督させるような組織を作る。ところがわが国の場合は，課長補佐，係長，主任などの役職を設けるなどして職制を増やす。これはわが国の労働者の賃金が非常に低いということも影響していると思いますが，これでは更に間接人員が増加する結果となるわけです。

第四に，社長室，企画室，技術課などのスタッフ組織を作ってもその運用，そこに配置される人材の面で考えさせられる点が多いということであります。例えば，外注課で技術的問題が発生したとした場合，その問題解決のために，スタッフとしての技術課に助言を求めたり，その指導によって問題解決に当るということがスムーズにゆかない。そのため外注課でも，独自に技術者を抱えこみ，自分の課の中で問題に当ろうとする場合が多いのではないでしょうか。

こうして月に二度や三度しか生じないような問題解決のために技術者を抱えこみ，スタッフを十分に活用しないようではスタッフとしての技術課は単なる組織としての課であって，実際には仕事は何も行なわれていないという実状を招くわけです。

以上のように，間接人員が増大過剰となるのは，ライン部門現業部門よりもスタッフ部門，本社部門に多く，この辺を中心に合理化をはかっていくということは，職務給を導入すること以上に合理化できる面が多いわけです。間接人員にメスをいれようとする企業が多くなりつつあるのはこうした事情によるもののようであります。

#### 3．初任給の上昇

第二の要因として，ここ二三年来初任給を中心として賃金水準が大巾に上昇しつつあるということであります。

例えば，今年の初任給として，大学卒の場合 26,000～27,000 円は，普通になってきている。5年前には，13,000 円位であったことを考えますと初任給の上昇には，著るしいものがあります。

今仮に初任給が 13,000 円で入社し，停年退職時には，7万5～6千円になるとすると，初任給4万円にった場合同じ比率で昇給するとするなら，停年時には 250,000 円位になり，約三倍になる。こういう水準になれるのなら望ましいと思うのですが，そのためには生産性を3倍にあげなければなりません。しかし生産性を3倍にすることが可能だとは限らず，さればといって一定率で昇給するという定昇制度では企業のゆきづまりが来るということであります。賃金体系を何らかの形で改善していかなければならない。ということが痛切に感じられてきているのです。

#### 3．技術革新による仕事の変化

第三の要因として日進月歩の技術革新によってオートメ化が急速に進み，従来のような永年の経験をつんだ熟練工の必要性が徐々になくなってきているということがあります。これに代っていわゆる新しい機械装置に適応できる工校卒程度の若い労働者が重視されてきている。ところが社内経営秩序は勤続年数の長い者が仕事が出来ようが出来まいが上に位置し，企業にとって本当に必要な労働力はピラミットの下に位置されている。

また，技術革新を強力に推進し，企業競争に打勝つためには，新しい企業の担い手として新製品や新しい生産を生みだす能力のあるエンジニアや経営計画を立案し，新制度システムの立案を行なって経営者を補佐する，スペシャリストという専門職能が必要なのですが，こういった人材を優遇する体制が出来ていない。そのためこれまでの経営秩序は実体にそぐわなくなってきており，新しい秩序，制度の確立が望まれてきているのです。

#### 4．外国の企業との競争

第四の要因としてわが国の企業は貿易の自由化によって単なる国内企業との競争だけでなく，外国の企業との競争が激化してきているということであります。たしかに鉄鋼とか自動車業界では外国企業との競争に備えて積極的に設備投資を行ないこれに負けないような設備を作り，生産能力をあげております。しかし，設備や生産量で十分対抗できても，管理体制や組織制度の面ではどうしても遅れをとっているのではないでしょか。

例えば，稟議制度についてみましても，一般従業員のレベルで決定できるような問題でも，決定できるという権限はきわめて少なく，ささいなことでも係長，課長，常務会を経て決定され，また同じルートを通って戻ってくるという場合が非常に多いのではないでしょうか。その間の期間が非常に長く，ひどい場合には稟議の途中で，管理者の抽出しの中に眠ってしまうということもさえあるのです。このような状態では，その間に外国の企業とか同業他社に決定的な遅れをとることになるでしょう。常に他社に遅れないように十分機動力を発揮するためには，責任権限を大巾に下におろし，その範囲を明確に決めておく必要があり，外国企業と十分たちうちできるような，管理面，組織面での体制の整備が望まれるわけです。

### 5. 人員構成の変化

第五の要因として，最近5～6年の間に各企業は非常に多くの若手を採用し，企業内における若手の占める比率が年々増加してきており，年令構成が変化しつつあるということであります。

このような傾向から，従来の単なる年功者を優遇しすぎるという体制のもとでは適切な人事労務管理を行えなくなってきており，若手の言動をある程度織りこんだ管理を行なう必要が生じてきています。

また，組合にも若手の意見が反映されて，組合の方から職務給導入を要求してくる企業も多くなってきています。

### 6. 老化現象の発生

第六の要因として，企業規模が大きくなればなるほど，従業員個人の実力を発揮するチャンスは少なくなり，学歴・年功などによって一律に扱われる傾向が強くなり，年功序列的な管理のもっとも大きな弊害である老化現象が発生するということです。

例えば，AさんBさんの二人は同期に大学を卒業したが，Aさんは勉強家で勤務時間以外でも積極的に勉強し，自分の能力を伸ばしながら，会社の色々な制度の改善，新製品の研究開発のため企業に大いに貢献してきた。一方Bさんは入社後ほとんど何の努力もせず勤務時間中はただ与えられた仕事を指示どおりに遂行するだけであった。このような場合，入社して5・6年たっと両者の実力には大きな差がでてくるにもかかわらず，7年たつと同時に係長になり，12年たっと同時に課長になり，給料もほとんど差がつかないというのがほとんどの企業の現状ではないでしょうか。これではやってもやらなくても同じでかえって，やりすぎると，出る釘は打たれる式に頭を押えられてしまい，前向きの仕事をする意欲が減退してしまう。そこに老化現象が発生するわけです。これを打破するためには，実力義的な体制の確立が必要となってくるわけです。

### 7. 労働力の有効活用

第七の要因として先程申しましたように賃金水準が上昇し求人難で労働力はなかなか集まらないということになりますと，現在確保している労働力を有効に活用し，能力をフルに発揮してもらうような体制が是非望まれるわけです。現在わが国の企業における労働力の活用という点では非常に無駄が多いのではないかと思われます。

例えば，ある工場の倉庫係の場合ですが，ここに高校卒7年目のCさんがおります。Cさんの仕事というのは回収された空ビンの数量を把握して，同じ係の大卒のところへいく。大卒はCさんから報告された数量を伝票に記入する。少し極端な例かもしれませんが，この場合Cさんは伝票に数量を記入する権限すら与えられていないのです。他にも女子従業員でもできるような給与計算を大卒5・6年の人がやっていたり，資材関係の伝票処理を相当のベテランがやっているというようなケースが非常に多いのです。

このように高卒者，大卒者が長期間にわたって，きわめて単純な仕事しか与えられない場合には，能力の向上に期待できないばかりか独創能力や企画能力は減退してしまうし，不平不満も多くなるわけです。



それから労働力活用の面で，さきほど，ちょっと触れましたエンジニア，スペシャリストといった専門職能レベルの能力をフルに発揮させないで，殺してしまうというケースも多いようです。

ある工場の生産技術課第一係主任Fさんは生産技術の面では非常にすぐれた技術者でこれまで，技術改良の面で大きな成果をあげてきました。そこで永年の功績を買われて第一製造課長に昇進し，680名の部下を持つことになりました。ところが，課長になってみますと，職工の退職希望者が相当多く，そのため彼等を慰留することに時間をくわれたりまた部下の人事考課，その他の雑務で1日の3分の2以上も費やしてしまう。その結果技術面の改善といった得意な仕事がおろそかになってしまいました。それなどはエンジニアとしての能力を活用してもらわなければならない人材を管理職にしなければ高い処置ができないという制度のために管理者として配置して失敗した例なのです。

また教育訓練についても本来の意味での訓練ニーズというのは「職務の要求する水準—職務担当者が現在保有する能力」というところから見出されなければならない。それを個々の従業員についてチェックして，そのギャップをうめていくのが教育訓練の本質だと思われるのですが実際に各企業でやっている例をみますとまず訓練テーマを設定し，それから内容をきめていくといういわば逆立ちした考え方に立っている場合がしばしば見うけられるわけです。

このように本来の目的からかけ離れた教育であったり，せっかく養成しても能力をフルに活用できないというのは職務基準や昇進ルートが明確に定まっていないために，教育訓練ニーズが何であるのか把握できないからなのであります。

要するに，採用，配置，異動，昇進教育といった一連の人事労務管理が職務と関連づけられていないということが，労働力の活用という面でもまだまだ不十分であり，そのためにも職務を媒介とした管理体制の確立が必要となっています。

### 8. 労働の需給

第八の要因として労働力の供給面，特に新制中，高卒の減少によって労働の需給関係がひっぱくしてきているということがあり，必要労働力を確保するための体制を確立しなければならなくなってきているということです。

つまり若年労働力だけの採用に頼ることができない時代がまいりますと，必然的に中高年令層の採用にもふみきらざるを得ない。その場合に，現在までの労務管理方式ではいろいろのネックが生じて来るということであります。

さらにそうした時代になりますと企業間の労働力移動も活発になって来ると考えられます。そして，労働者の側からみればできるだけ労働条件の有利な方へ移動をはかることになりますが，そうなると能力，技能に応じて賃金は上昇しながら企業間の均衡へと近づき，いわゆる横断的賃金が形成されていくのではないかと思われます。現に，タクシーの運転手とか旅館の女中とかいった特殊技能者の間にはそういった横断的賃率が大体確立されているようです。したがって，労働力不足，労働移動が予測される昭和42.3年以降においては好むと好まざるとにかかわらず，職務中心の管理方式をとらざるを得ない条件が急速に増加するでしょう。

以上申し上げました8つの人事労務管理上の問題点は多かれ少なかれわが国のすべての企業が当面している問題であり，なかでも間接人員の増大，技術革新による仕事の変化，労働力の有効活用といった3つの問題は特に重要な問題点になっていると思われます。

したがって，職務分析も単なる職務給導入のための手段としてだけではなく，そういった人事労務管理上の諸問題を解決できることが必要であります。そのためには職務分析によって企業活動を満足に達成するのに必要な職務を明らかにし，同時に職務中心の人事労務管理を行なうための基礎として職務分

類制度を早急に確立する必要があると思います。そして，確立された職務分類制度を異動，昇進，配置，考課，教育，賃金などの人事労務管理に有効に活用してこそ人事労務管理の近代化をなしうるのではないかと考えます。

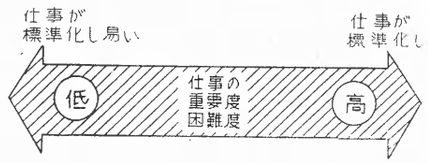
## Ⅱ　職務分類制度の内容

### 1．　職務基準の確立

職務分析は職務記述書を作成することが，目的ではなくて，あくまで職務分類制度を確立するための手段なのであります。そして確立された職務分類制度を職務中心の人事・労務管理に十分に活用するためには，職務分析によって単に現状を洗うだけではなくて，あるべき姿としての職務基準を確立することが必要であります。

よく職務の標準化が行なわれていないから，職務分析をしても意味がないということを聞きますが，職務の標準化が行なわれていないからこそ，職務分析によって，できるだけ標準化を行なう必要があると思います。ひとくちに標準化といいましても標準化し易い職務からしにくい職務までいろいろあると思います。例えばタイピストの場合は，タイピングスクールを修了したものであるならば誰がその職務についてもタイプの操作は同じであり，スピードがやや早いか遅いか，タイプミスがないか，時々あるか，程度の差しかない。タイピストの場合は大体こういう仕事をやるんだという基準を作っておけばあとは原稿をやるだけで誰がやってほぼ同じようにできるわけです。これに反して，管理職のクラスになりますとその職務につく管理者の能力いかんによって仕事の範囲内容，水準が大きく変ってきます。能力の高い管理者が配置されれば非常に高度の仕事が行なわれますが，能力の低い人が配置されれば仕事の内容は小さくなります。こういった職務になりますと，誰がやっても同じというわけにはいかなくなり，標準化は非常にしにくくなりまして，無理に標準化して一つの枠内に閉じこめてしまうと労働力の活用の面から却ってまずいのではないかと思います。つまり高度の仕事になればなるほど担当者の能力が影響する巾が大きくなりその職務についた人の能力によって仕事を変えていく必要があるわけです。したがってこれを賃金管理にあてはめてみますと，標準化し易い職務になればなるほど単一職務給的な賃金管理が可能ですが，標準化しにくい職務となればなるほど職務給的なものではなく職能給的な賃金管理を採用する必要があります。

（第１図）




タイピストの場合のように一定の資格，あるいは能力さえあれば誰れがやっても同じ程度にでき，仕事も人によって変化しないような職務については現状分析した結果をそのまま職務基準として確立できますが，能力のいかんによって仕事の範囲内容，水準が大きく変ってくる職務では単なる現状分析をしただけでは職務基準の確立は，不可能な場合が多くあるべき姿としての職務を明確にして，職務基準を確立する必要があります。そこで，あるべき姿として職務基準を確立する場合にどういった点に着目して基準を確立すればよいかについて考えてみたいと思います。

第一に，組織の機能を明確にすることであります。組織機能の分業分担の形態として職務がある限り，その職務が所属する組織の機能が明確にならなければ，あるべき姿としての職務はきまらないのではないかと思います。したがって，組織の機能を明確にすることが，職務基準確立の重要なステップとなるわけです。各組織に割り当てられた機能は組織規程や分掌業務規程で一般的に決められている場合が多いのですが，現実の仕事を洗っていくと必ずしも組織機能にマッチしないものがあったり，他の組織と重複した仕事をしたりしていることがあります。そこで分析をしようとする職務において遂行されている主要機能について，他の課や係ではその機能に関連する機能をどの程度遂行しているかを分析する必要があります。つまり機能関連分析を十分に行なって現状の無駄や重複がそのまま基準化されないように注意しながら，組織機能を明確にすることが第一段階になります。この段階で問題ある場合は分析員が関係管理者に改善案を示して話合い，もしこのクラスで解決できない場合はトップマネジメントが方針を示すなり，決定するなりする必要があるかと思います。もしただちに結論を下しえない問題があるときは未決の問題として現状を是認して職務基準を確立し，結論が下されたときに改めて職務を変更するようなステップも必要かと思います。

第二に，分業分担の現状を明らかにすることです。

これは分析しようとする組織に所属する全従業員が現実に分業分担している課業とその内容を明らかにすることです。そして第一のステップで明確にされた組織の機能との関係から，不必要な課業があればそれを除去してしまうわけです。

第三に，洩れている仕事を追加することです。これは組織の機能として当然必要な仕事にもかかわらず，現在はなされていないという場合であります。この組織の機能を十分果すためにはどういう仕事が必要なのかを検討しまして必要な仕事を網羅するということです。この場合に現在の人員構成では追加された仕事を遂行するうえで足りないということであっても，追加すべき仕事は必ず追加して職務基準を確立し，基準設定後にその職務達成能力のある者を確保するとか，職務達成可能となるような教育をするとかの方法をとればよいのではないかと考えます。

第四に，網羅された仕事を質的に検討することです。今までに述べました手順によって，その組織の機能を果すために必要な仕事はすべて網羅されることになり，職務基準は確立できるわけでありますが，ここに今一つ考えなければならない問題があります。それは従業員の能力に見合った仕事の配分がなされないままに職務基準を確立してしまったのでは適正な課業配分を行なって労働力の活用をはかる基準としての役割を果すことはできません。したがって，網羅された仕事を重要度，困難度によって編成し直す必要があります仕事の質的検討を行なうにあたっての大まかな区分の目安としては仕事を重要度，困難度の順にならべてみて，これを次のように大きく三つ位にグルーピングしてみることです。

（第２図）




① スペシャリスト（Specialist），エンジニア（Engineer）単に現状の問題の処理，解決にとどまらず，企業をより成長発展させるために，専門的知識やアイデア能力を駆使して管理水準，技術水準のレベルアップをはかる。前に申しました生産技術課第一係主任Ｆさんはこのレベルに位置するわけです。

② クラーク（Clerk），テクニシャン（Technician）規程，手続きは定まっているが，条件の変化に応じた判断を加えたり折衝を行なったりする。例えば生産現場における工程管理を行なう場合に，工程管理規程，手続きは定まっていても，入ってくるべき材料がこないとか故障だとかによって，それに応じた処置をとらねばならない。また，基本的な構想を指示されてそれにしたがって細部設計をする。こういったレベ

ルはクラークでありテクニシャンである。

③ オペレーター（Operator）

規程，手続きに定まったとおり，あるいは上級者の指示どおりやればよいというレベル。例えば給与計算，タイピスト，トレーサー，試験管をふるような仕事など。

以上のように三段階に区分した場合にも，それぞれの段階の中での仕事には程度において差があり，したがって要求される能力の水準によっていくつかの段階に区分できる。

例えば，給与計算の場合でも給与計算手続きにしたがって，ただ集計するというレベルもおれば，所得税の納付もできるというレベルもある。クラークテクニラシャンの場合もその判断の難かしさによって2～3段階に分けられるし，スペシャリスト，エンヂニアクラスでも部品的改善ができるというレベルと更に大巾な改善ができるというレベルで段階区分ができると思います。

現在，わが国の企業では，一人の従業員がスペシャリスト的な仕事から，クラーク的な仕事，オペレーター的な仕事まで行っているというケースが割り合い多いわけでして，このような仕事の与え方を重要度，困難度という観点から質的に検討し，仕事の再編成をしなかったならば労働力を有効に活用する基準としての役割を果すことはできません。

これまで述べてきました四つのステップを経ることによって，はじめて，企業として必要な職務基準の確立が可能となるのでありこのような職務基準が確立されることによって労働力の効果的な活用が行ないうると考えます。

## 2. 職務構成の確立

企業活動に必要なあるべき姿としての職務基準が確立され，職務の明確化がはかられたとしても，これらの職務基準を組織との結びつきという点から明らかにしておかないと，どの組織にはどの職務とどの職務があれば機能を十分果せるかが明らかとなりません。そこで各組織に割り当てられた機能を果すためにどういった職務が必要なのかを明らかにし，職務構成を決定し，公認する手続が必要となります。これによって必要以上の労働力を配置するという無駄をはぶいたり必要労働力が不足しているため十分な組織活動が出来ないという事態をさけたりしようとするわけです。

職務構成の確立は職務基準の確立と切り離して行なうのではなく，職務分析によって職務基準を確立すると同時に行なわれなければなりません。

## 3. 職務分類基準の確立

企業活動に必要な職務基準が確立され，組織との結びつきが職務構成の確立によって明かになっても確立された数多くの職務基準がそのまま雑然と放置されているならば職務中心に，人事労務管理を行なうための基礎資料としての役割は半減してしまいます。新しい人事，労務管理の資料として最も使いやすいかたちに職務を分類整理しておくことが必要です。

例えば，異動，昇進のルートにしても全社的に職務間のつながりを考えて，類似性あるいは必要とする労働力のレベルによって職務を分類整理しておかないと，次にどの職務に異動昇進するのか，そのため何を勉強しておいたらよいかもわからないということにもなる。職務給制度の設計にしても，職務の相対的価値を決定して，段階区分しなければ，賃金との結び付きを考えることはできません。

異動，昇進，賃金管理などの一連の個別人事，労務管理制度に職務中心の考え方を織り込んで，管理の近代化をはかるためには，確立された職務基準をその類似性，重要度，困難度によって分類整理する基準を作っておくことが必要です。

## 4. 職務分類制度の維持運用基準の確立

前述の三つの基準，手続きが整備されれば，職務分類制度は一応確立されたとにこなるわけですが，新しい制度を導入する場合には，最初から完全な形のものを期待することは無理であります。導入後，不備な点を修正し，条件の変化に応じて変更を加えながら除々に完備していくというフオローアップ体制を確立し，その後の運用について明らかにしておく必要があります。

以上述べました基準，手続きが確立されてはじめて，職務分類制度に基づく人事，労務管理への展開，活用が可能となるわけです。



# Ⅲ 職務分類制度に基づく人事労務管理の展開

これまでわが国のほとんどの企業が，生産，営業，技術，財務という機能に比較して，人の面での管理が非常に軽視されてきたのは人事労務管理に関する基礎資料が不十分なために，計画性のある管理が行なえず，成行き的な管理の傾向が強かったためであります。しかし職務分類制度が確立されれば，企業経営活動を経済的に果すために必要とされる労働力の内容が明らかになります。そこでこれを基礎資料として人事労務管理に計画性をもたせることができ，従来の成行き管理から計画管理への移行が可能になるかと考えます。そこで確立された職務分類制度の内容を十分活用して職務中心の管理を行い，当面する人事，労務管理上の諸問題を解決するためには，どのような制度の設計あるいは運用を考えたらよいかということについて次に述べたいと思います。

## 1. 労働力の棚卸し

職務分析によって，職務の棚卸しを行ない，職務分類制度を確立したわけでありますが，次に従業員を職務にあてはめることが分類制度を活用する第一歩であると考えます。

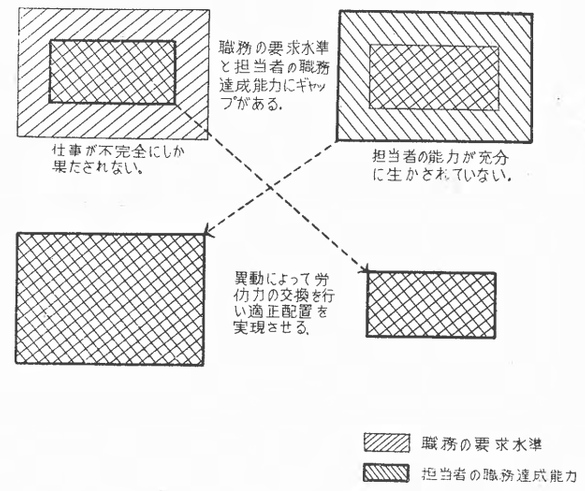
現実に存在する従業員と職務を結びつける基準つまり職位格付け基準を作成する。これは全ての従業員が職務基準に記載されている課業を100％達成可能とは限りませんので，課業の何％位できればその職務に格付けできるという基準を決定しておくわけです。この格付け基準に従って全従業員を職務に格付けしてみると，ある職務では必要とする労働力が不足し，逆にある職務では過剰となるといったように過不足労働力を全社的に把握できます。その結果配置転換によって労働力の再編成を行なうか，あるいは適材がいないために空位になっている職務があるとすれば，教育訓練によって適材を養成するかして，過剰労働力の不足労働力への転換を図ることが重要なポイントとなるわけです。

## 2. 計画的な採用

従来わが国の企業では好況時に多数の人員を採用し，いったん不況になると採用をストップするというような無計画な採用を行なっていましたが，この採用の問題も職務分類制度を活用することによってもっと計画的な採用ができると考えます。このためには長期経営計画との関連で採用を考えるべきだと思います。

長期経営計画に基づいて数年後の職務構成がどうなるかを画いてみる。そして，その時点では現在の従業員がどの職務構成に入るのかを異動，昇進あるいは教育訓練との関連で予想すると，その時点での不足労働力の種類，レベル，人員が算出でき，それら不足労働力を充足するためには，今後どのような採用計画を組めばよいのか明らかになるのではない

（第3図）



かと考えます。

### 3. 異　動・昇　進

計画的な人事管理の必要性については異動・昇進の場合にもいえることであります。全然経験のない部門へ異動させたり，専門職にすべきを管理職に昇進させその能力を殺してしまったりして従業員を面くらわせたりすることがしばしばで，しかも異動については内示があるまで関係従業員は知らされないのが大企業では通常のようになっております。これでは従業員の人材育成，能力の有効活用モラールなどの面からもマイナスで，従業員としては昇進するためには何を勉強しておけばよいのかもわからないということが多いわけです。

このような無計画な異動，昇進を止めて，必要人材の効果的育成と従業員の経験の活用を図り，更に従業員が次に異動昇進する職務のために勉強して自らを啓発する目安とするためにも，全社的に職務の結び付けを行ない，これを異動昇進のルートとして設定する必要があるかと思います。

例えば昇進ルートの場合，個々の職務について，その職務が100％達成可能となったときには，これまで蓄積された能力技倆を最高にいかすためには，次にどの職務に昇進させればよいかを決定し主要昇進ルートとして結び付ける。これを一親等の昇進系列とする。しかし職務の数にある程度制限があるので一親等ルートで昇進できない場合もあるので，次に能力技量が類似している職務はどれかを検討して，二親等昇進系列，三親等昇進系列を決めて結び付けるようにするわけです。

また広い視野をもった人材を養成するためには上下の昇進ルートだけではなく，どの段階で異系列，異部門の職務を経験させるかについて異動ルートを組むことも重要であります。

### 4. 人　事　考　課

従来の人事考課は，同じ課係に所属している従業員を相互に比較し優秀な者，普通の者，劣る者といった具合に差をつける考課が多かったのですが，これでは優秀な従業員が集まっている課，係は損をし，そうでない課，係は得をするといった矛盾があったわけです。

しかし，職務分類制度に基づく人事考課は，従業員を相互に比較して差をつけるという比較考課ではなくて，職務基準に要求される課業がどれだけ達成できるかという職務基準に照しての絶対考課であり，それは担当職務の達成度の考課と，次にどの職務に昇進させたらよいかという昇進のための考課の二つが主眼となるわけです。

したがって，職務に含まれる課業が要求水準どおりすべて完全にできれば，その職務担当者の点数は満点になり，いくつかの課業についてギャップがあれば，そのギャップが訓練ニーズとなり，教育訓練によってそのギャップを早くゼロにして，職務達成能力を満点にすることが重要なわけです。

また，昇進のための考課については，従業員が一段上の職務についてどの程度の達成能力があるだろうかという達成度の予想考課を行なうことであります。そして予想考課が何％以上であれば昇進させるという昇進基準に照らして，その基準に合致すれば昇進させるというような考課でなければなりません。

それから，従来の人事考課と根本的に異なるもう一つの点は，従来の考課は下位の従業員にきびしかったわけですが，職務分類制度下においては，上位にいけばいくほど職務達成能力の巾は大きくなり，失敗した場合の影響も大きくなります。たとえばタイピストの仕事上の失敗の影響と管理者の失敗の影響では比較にならないくらい大きな違いがあることは明らかであります。したがって上位職務担当者の人事考課にこそポイントがおかれるべきではないかと考えます。

### 5. 教　育　訓　練

教育訓練は，人事考課と裏腹の関係にあって，担当者の能力，技倆と現在職務，次に昇進させるべき能力，技倆とのギャップを埋める職務訓練が主体となります。そのため人事考課の結果把握されたマイナス要因が訓練ニーズとしてとらえられなければなりません。

### 6. 賃　金　管　理

職務分類制度を活用することによる人事，労務管理近代化の最後のしめくくりを職務給の導入という形で行なうのが最も理想的な姿ではないかと考えます。異動昇進ルート，人事考課，教育訓練など他の人事労務管理諸制度にも職務中心の考え方が導入されないままにただ職務給だけを導入したのでは，他の管理諸制度は旧態依然たる年功的な考え方が支配してしまい，アンバランスとなるからであります。

もちろん賃金管理上の問題が余りに大きすぎる場合は，賃金の問題の解決から始めなければならないのですが，この場合でも職務給の導入に成功するためには，他の人事労務管理諸制度に職務中心の考え方を可能な限り織りこんでおくことが大切であります。

ところで，職務給制度をどのように設計するかについては，企業の実態に応じて設計されるべきだと考えますが，最初から完全な職務給形態を導入することは無理であり，今までの年功的な賃金に職務給的職能給的考え方をどの程度織りこむかということになるわけです。

例えば，東京電力の場合は，年功的賃金と職務給を一本にした混合型であり，また八幡製鉄の場合は年功的な部分と職務給部分を分離した併存型であります。この形態は職務給部分の比率は小さくとも，職務給自体の純粋性を貫ぬこうとするものであります。そして職務給部分の比率を徐々に大きくして完全な職務給という形態に少しずつ近づけていこうとするものであります。

賃金管理まで含めまして職務分類制度の概要を述べてまいりましたが，職務分類制度を確立する上でポイントになるのはあるべき姿としての職務基準であります。そのためには分析員がいかに努力しようとも，分析職場の管理監督者がどうあるべきかについて強い方針を示していただかないとなかなか立派なものにはまとまらないと考えます。管理監督者の積極的な援助が立派な職務分析を成しとげる鍵だといっても過言ではありません。

## 薬の飲み方十章

食欲の秋とやらで，馬も肥える季節ですが，その食欲のために胃をこわして，クスリのやっかいになるのも秋です。また，夏ばての回復に栄養剤を用いるのもこの季節が仕上げの時期といえるでしょう。

しかし，クスリは万能ではありません。あまりやたらに飲みすぎると，かえってドクとなることもあるのです。そこで，クスリの飲み方の十戒をしらべてみました。

第1章＝適量を守ること。規定の2倍飲んだからといって，決して2倍きくわけではなく，劇薬配合薬などの場合は，逆に命とりとなります。

第2章＝薬の種類によって飲み分けること。つまり，糖衣錠はそのまま，丸薬もそのまま，ふつうの錠剤は原則としてかんでのむ。水薬は，飲むまえによくふりまぜ，口をビンにつけないでのむというように—。

第3章＝こどもの量はヤング式で。小児用量は，年令×大人用量を年令＋12で割った量が最適というわけ。

第4章＝使いのこし，名まえ，用法分量のわからないものは飲まないこと。

第5章＝乱用しないこと。クスリ乱用による中毒，クスリになれて，きき目がうすくなったりすることは，誰でも知っているはず。

第6章＝服用時間を守ること。食前，食後の注意書きには忠実でなければいけません。

第7章＝能書きをよくたしかめること。お茶でのむと効果がないなど，クスリは微妙なところまで気を使って服用することです。

第8章＝保存を完全にすること。クスリには湿気，高温，光線は禁物です。

第9章＝古くなったクスリは捨てること。クスリ包みに分包されたものは，古くなるとキケンきわまりないものとなります。

第10章＝さじ加減を知ること。毒薬も非常に少量なら有効となり，食塩も一度に3百グラム以上とると死んでしまうという話をきもに銘じておきましょう。

座談会

# 100号になる“家庭と電気”

出　席　者

横山文夫（現東日本興業―元普及課長）
笠原重雄（現東北機械計算―元普及課長）
奥村秀雄（現東北電工―元営業課長）
神山太三郎（現高岳製作所―元営業課長）
稲見春夫（企画室調査役―前営業課長）
阿部邦雄（営業課長）
関根繁男（宮城給電指令所副長―元普及係長）
武田敬（長岡営業所長―元普及係長）
今川忠一（山形支店営業課長―前営業課副長）
伊沢清（営業課）
佐々木弘志（〃）
司会　矢吹敏一（営業課副長）

## L家庭と電気」10年

**司会**　本日は，お忙しいところ，かつ，遠方から先輩の皆々さまにお集まりいただきまして，まことにありがとうございました。

L家庭と電気」も，来年の1月100号記念を迎えるわけで，10年一昔とは申せ，10年の長さをしみじみとかみしめているわけです。私どもは，先輩の皆々さまの作られました偉大な足跡を見詰め，かみしめながら，生々発展すべく努力しているわけですが，皆さまの貴重なご意見を拝聴させていただきまして，限りない発展を祈りつつ作り上げていきたいと思っている次第です。今日は，思い出話などを拝聴させていただきたいと思っている次第です。


横山文夫氏

**阿部**　今，司会の方からお話がありましたように皆さま方ご先輩のあとを引き受けまして，私たち，引続きPR関係のことを，いろいろやっている次第です。L家庭と電気」も，来年の1月号をもちまして100号を迎えることになったわけでございます。

創刊号が出たのが，30年の7月20日です。L家庭と電気」は，現在，一般の需用家に対するPR誌ですけれども，L家庭と電気」の前にL普及ニュース」というものがございまして，その創刊号は，昭和22年9月でした。そのころは，大体隔月程度に発行されておったようです。25年の3月号が19号でして，ここで，東北電力になったわけです。東北電力になってから，また1号，2号と出たわけですが，その1号が，26年の9月に出ています，26年27年の間に12号出てます。さらに28年に月刊になって，29年には，料金改訂もあった関係上，以前はL普及ニュース」は大体社内的に多く使われたわけでしたけれども，この料金関係のことがありまして，29年には，別にLPRセンター」というのが，1，2，3と3号まで出ているわけです。通算しますと，59号出ておるのがL家庭と電気」以前のことです。

初めのころは，L普及ニュース」は3千部出ておったようでLPRセンター」は5千部，それがL家庭と電気」になりまして，30年7月には，創刊号3万5千部出しまして，現在，5万7千部発行されています。



この間，会社の社内的な問題としましては，電気料金関係では料金改訂が9回あったことになっています。22年の12月，23年の6月，さらに9月，24年の12月，26年の8月，27年5月と，インフレ時代に改訂が続けられたのです。さらに29年10月と32年の7月，それから今回の37年の12月と改訂がございました。

この長い間に，直接に関係された営業課長さん方，以前は東北配電の課長さんもおありでしたけれども，L普及ニュース」の創刊号のころは，今計算会社におられる斎藤恂一さん。その次に，現在の遠藤常務が業務課長としておられたわけです。それから渡辺保さんが課長でした。その次に，今日お見えになっております横山課長さん，それから，まだお見えになりませんが笠原さん，それから奥村さん。神山さん。稲見さん，その次に私がお引き受けしているわけでございます。直接，係長さん方，副長さん方として関係された方では，関根さん，武田さん，今川さん，それから現在の矢吹副長が関係している格好です。以上が大体の今までの経過です。


奥村秀雄氏

現在は，営業関係のPRとして使われているほかに，企業PRの資料にもこれを使うということになりまして，営業と企画室の方で合同の格好で内容も編集されているわれです。編集に当っては，社内の人のほかに，外部の人にも，次の号の企画，過去の号の反省を考えてやっいただきまして，やっているわけです。

各社のいろんなPR関係のものは，皆さんごらんになっていると思いますが，うちのものは，相当手間もかけた関係もありまして，一般的に好評をいただいて，高く評価されています。雑誌社等からもいろいろPR誌などを見ても，東北電力のものが非常にいいのでもらいに来たというようなことがありまして，先般も，雑誌社の方から，L観光誌の


創刊号


第18号

材料にもなり，企業PRとのつながり方の度合等にも非常におもしろ味を感じたというようなことを言っておられました。

なお，私の方でも，営業関係で，いろいろサービスや，PR関係のことをやっているわけですけれども，何分にも，37年12月の料金改訂以後の状態での営業活動で会社の経理内容というようなことの認識が特に必要だった関係で，認識を持ちお客さんに触れるというようなことで，相当PR効果があったと見られまして，需用の伸び方にも最近は相当現われているようです。そういうことの関係につきましてもPR誌の中に載せるわけですけれども，あまりどぎつくなく載せて，やわらかく会社の意図するところ，イメージを知っていただこうというねらいにしております。なお，今後，電気事業法の施行ということになり，お客さんに対するサービス関係のことも今後の問題としてさらに研究したいと思っているわけです。

先輩の皆さま方は，これまで私たちに大きな遺産を残されたわけでございますけれども，その間，非常に苦労なさったことなどもお伺いしまして，今後私たちがやっていく上にご注意をいただくように，今日の席上でお願いしたいと思います。

## 誕生のころ

**司会**　いろいろ思い出話などあると思いますが，話の

トップ，バッターといたしまして横山さんから，誕生させる際の話から1つお伺いしたいと思います。

**横山**　だいぶ古いことなのでほとんど忘れていることが多いんですが，さっき，阿部課長さんからお話があったように，私が当時の普及課へ行きましたのが，25年のたしか12月だと思っております。その当時は，今もお話があった「普及ニュース」が出ておりまして，これは，斎藤恂一さんが課長をされておった当時から続いていたように記憶しておるのです。

「普及ニュース」というのは，主として社内のPRをするという目的で出されておったものでちょうど私が行きましたときにまだ出ておりましたが，その後「家庭と電気」が30年の7月に創刊号が出たというお話ですが，30年といいますと，電力事情もだいぶ緩和されてきたと思うのですが，今までの対内的なPRから，対外的に切りかえていなければならないというふうなことを，いろいろほかの客観的な情勢なんかもありまして，みんなで頭をひねった結果，こういうものを作ろうじゃないかというふうになったんじゃなかったかと思っております。


神山太三郎氏

それで「家庭と電気」ですが，この名前をどうしようかということが，たしか話題になりましてね。「電気と家庭」にしようか，「家庭と電気」にしようかということで，あまり「電気」というものを出したくないという気持を私は持っておったんですけれども，全然出さないというわけにもいきませんし，というふうなことを考えた結果，「家庭と電気」という名前にした方がいいという決心をして名前をつけたのが私だったわけです。それだけは記憶にあります。

「家庭と電気」の創作当時の印刷を今見ると，非常にあか抜けしないものですが，その後，皆さんがここまでこれを育って立派なものにして下さったご努力に対して，本当に私はありがたいと思っておりま す。私の一つの心のメモリーの役目にもなるという考えて拝見しているようなわけです。

**司会**　最初発行したのは，何部だったのですか。

**横山**　3万5千でしたね。

**司会**　最初から3万5千部という部数は，大変なのご計画があったのでしょうね。

**横山**　3万5千というのは，どうだったかな，伊沢さん。

**今川**　最初はダイレクトメールではなかったのですね。いわゆる不特定なお客さんに対して，集金人とか，検針員とか，電工さん，サービス訪問，うちの窓口，そういうところで配布しておったのです。それで，あの当時，パブリック・リレーションが初めて出てきたころで，たしか，電通の広報部長が来て，公会堂で講演があったのですね。それで「なるほど，PRとはこういうものなのか」ということで，それからダイレクトメールというアメリカ風のやつをやり出したと記憶しております。

**奥村**　最初は，支店，営業所へ，まとめて送ったね。それで，だんだん部数がふえてきて，支店，営業所が大へんだということで，ダイレクトにしたという記憶があるな。

**横山**　そういう配布の仕方を考えたことと，当時の予算的な関係もあったんじゃないかと思いますね。3万5千というのは。

**今川**　ダイレクトメールなんて英語，知らなかったもんね。（笑）

**伊沢**　それと，月刊でなかったからダイレクトメールにしてもいいけど，高いので……。

**奥村**　多分，私が来て。関根さんのときだね。あんたと2人で「予算から毎月出しておけ」なんて……。とにかく金使いの名人だから。（笑）

**武田**　3種の認可を奥村さんの名前でとったんだね。あれからですね。

### 東北一の発行部数

**司会**　今，5万7千部出しておりますが，この数字は東北のPR誌としては一番多い部数でしょう。

**阿部**　定価10円となっていますが，実際かかっているのは高いわけですね。またダブって配達されているところが相当あると思います。それを整理すれば，別な方に向ける方法もあると思います。

**奥村**　だんだん部数がふえて，一度打ち切り新たに申し込んだ人に出すということにしたね。あのころはどのくらいだったかな。4万くらいだったな。

**伊沢**　「ほしい方はお申し込み下さい」と書いたら，どんどんふえてきたんですよ。それで，あれを戦っけないことにして，もう1へん申し込んで下さいとしたんだね。それでまたガタッと減っちゃってね。

**佐々木**　今，年間2千部ぐらい自然減ですね。月に2，3百ぐらいずつ戻ってくるのがありますが，そういうのを落しております。人事異動月あたりは，その数も大変です。

**稲見**　3万5千でやるということは，社内的にも相当努力されたんでしょうね。

**横山**　予算的なことがかなりあったように記憶しているのですけどね。


稲見春夫氏

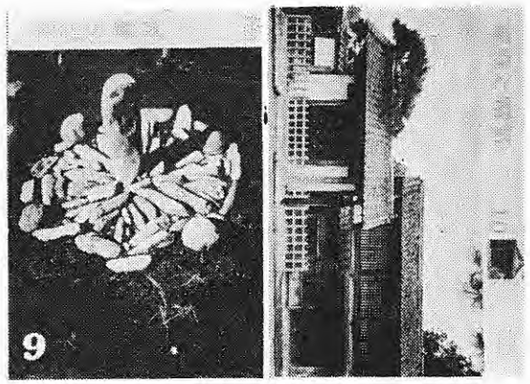
**武田**　ちょうど僕らのころから，今まで単色グラビヤでやっておったのが，カラーが入ってきまして，カラーでやりますと，5割ぐらい値段が高くなってきて，伊沢さんあたりとだいぶやり合ったのですが，取りあえず表紙だけですが，隔月交代にやったりしました。

**奥村**　「家庭と電気」の予算を押えようと思ったんだけど，伊沢君がうるさかったね。（笑）　カラーがいいとか，12ページがいいとか，金のかかることばっかり言ってくるんだ。ずいぶん伊沢君のことを首にしたようだ。（笑）

**武田**　結局，電力ビルや仙台火力ができて，あれの紹介ということからずっとカラーになりましたね。50号ですね。

### 地方色を出す

**横山**　うちが3万5千出したころ，東京電力もこの程


最近の「家庭と電気」

度の厚さのものをやってたんですが，どれくらい出しておったかな。

**武田**　東電は最初10万部ぐらいです。あれは株主に全部行きました。

**司会**　各社のを毎月いただいておりますけれども，皆さんの足跡にただわれわれは乗っているだけですが，誇りに感じますね。他社に比較して，相当程度が高いような気がしております。

**横山**　いや，本当に僕も立派になったと思って，見るたびに感心しているわけです。

**阿部**　表紙もランダムじゃなく，シリーズものにやっているわけです。例えば関所とか……。

**横山**　決して人におもねるということではなくて，やっぱり，時代の人の感覚というものをとらえるというセンスが大事だと思うのでしてね。そういう点では，これからも相当苦労がいるだろうと思うのですがね。

**今川**　一番よかったのは，東北のローカルカラーを出すことに努力したということですね。これがやっぱり，読者が一番身近に感じているでしょう。

**稲見**　その点はいいですね。

**横山**　それにしても，金をかけないことにはいいものはできないですね。金をかけなければ人は感心しませんからね。

**稲見**　外部の編集委員の方もいい意見を出して，歴史

なり文化等につながりのあるものが出てくるので……。

**阿部**　管外には，どのくらい出ているの。

**佐々木**　大部分株主で，約4,500部出しています。

**武田**　管外に転勤になった人には，一応お断わりしてましたよ。東京電力の方に，うちのサービスをする必要はないじゃないか。やはり，それよりも，東北の人によけいやった方がいいじゃないかということで，東京へ転勤して行かれた方から手紙が来たけれども，少し送って，あとはお断わりしたような記憶がありますね。

**阿部**　大体，株主だろうと思いますけれども，その話をしてくるのがありますね。大体東北に関係ある人だけどね。「ああ，こういうのが来た」と，向うで東北のことをしょっちゅう思い出しているらしいですね。それで「ぜひ……」と来てますね。

**横山**　今，管内の株主さんには，全部やってますか。

**今川**　千株以上の個人の株主に送付しています。

**横山**　松下電気がときどき株主通信というのを送ってくるのですね。それで，社長のごあいさつから始まって，会社の概況，新製品の紹介をしたり，ああいうふうにして，やっぱり株主とつながりを持っているということは，大事なことじゃないかと思いますね。

**奥村**　もっとも，これの編集は割に楽でしょう。毎月稟議にかけなくてもいいからね。

ほかのＰＲ関係のものは，全部稟議でしょう。これは全然ないでしょう。でき上ったものを持ってくるのだからね。

**今川**　上の人が筆を入れると，まずくなってしまうことがあるね。（笑）

### 逆手を使って怒られる

**奥村**　たしか，怒られたことがあったね。「電気料金はこんなに高い」とか何とか……。「なぜこんなに高いでしょう」というふうな表題を出して，内容は安いということを証明するのに「なぜ高いか」とやった。これは，編集会議で出たんですね。

**武田**　逆に言った方がいいんじゃないかということでしたね。

**奥村**　ところが，表題を見て「高いということがあるが」と……。（笑）　出してしまったあとだからしようがない。（笑）

**横山**　今，編集委員会なんかやってますか。

**阿部**　ええ，やってます。丸善の立川さん，警察本部の真田さん，童話作家の小松直子さん。あと，社内の菅専門委員。

**稲見**　私のときは，そういう記憶ありませんね。まあ編集権みたいなのを発動したのは，殺人現場が出てくるコントね。あれが，いろいろ問題になってね。編集委員会自体としては，そういう判断をしたんだけれどもね。



武　田　　敬　氏

**今川**　中村さんも「これはちょっとむごいな」ってね。

**奥村**　表紙でだいぶ伊沢さんと論議したことがあったんだよ。何回もけんかしたね。（笑）　十和田湖の表紙で，「おとめの像」を一番先に出そうというのだ。それはけしからんということで……。（笑）　とうとう中の方へ入れちゃったんだな。

**武田**　あのころ，伊沢君は，美人を表紙に上げたがってね。秋田美人を入れたり，それから，ヘリコプターの下に女の子がいたりね。（笑）

会社の施設と美人を組み合せたというのが多かったわけですよ。

それから，僕がいたとき，ちょうど50号記念で，読者のアンケートをとって，サービスをつけたんですね。そして，回答していただいた方には，抽せんで景品をつけたわけですよ。あれは2千ぐらい来ましたかね。

**奥村**　こういう刊行物は，大てい途中でなくなっていくんだけれどもね。これは，だんだん発展していくね。



**阿部**　そうですね。

とにかく，10月号だら10月号というと，10月になってから考えたんじゃだめですね。写真は去年の10月ごろのをとっておかなければいかんということで，今の仕事は来年分の仕事もしなければならないというわけですね。

**武田**　雪景色とか桜とかは，来年の分をとっておかなければならないわけで，伊沢君が，用意が悪いとよく怒られていたな。（笑）

**伊沢**　桜は大ていストライキにかかってしまうのですよ。

**今川**　1年前にとっておくということは，楽じゃないですね。

季節感の出た写真はむずかしくなってくるね。

**奥村**　毎月というのはつらいね。終わったと思うと「来月分の企画はどうしますか」とかね。（笑）

**今川**　きっと彼はノイローゼになる。（笑）

**伊沢**　うまくいっているときはいいけどね。（笑）　泣かされるのはダイレクトメールの整理で，これは奥村さんに5へんくらい注意されましたね。というのは，重役や部長に2部行っているのをなくせと言っても，なくならないのですよね。これには弱りましたね。

**武田**　僕がいたとき，名簿整理に，5万円くらいかけてやったんだ。

**奥村**　私は，だいぶ申し込んだけれども，ちっとも来なかった。だから，会社から一部もらっていったんだ。（笑）

**今川**　ダイレクトメールはむずかしいね。

**司会**　私も転勤しているとき，郵便物のうわっ紙が3枚か4枚ついてどんどん来るのだね。私は住所変更の手紙を出していたのに。

### カメラマン小野幹

**伊沢**　最初作るとき，どういうふうにしてやるのがＰＲ誌であるがわからなかったのですよ。それで，僕と関根さんと横山さんと3人で，当時河北新報の学芸部長をしていた宮崎泰次郎さんをお呼びして，どっかの食堂でいろんな意見を出してもらったわけです。



今　川　忠　一　氏

**横山**　それで，執筆陣については，永野為武さんと天江富弥さんに書いてもらった。

**伊沢**　宮崎さんは，ずいぶん親切に教えてくれましたね。だから，計画してこれを出すまでには，相当時間がかかったはずですね。

**司会**　生みの悩みは大へんなもんでしょう。

**阿部**　たしかに，記録を見ますと，29年の12月から30年の7月まであいているのですよ。だから，この間，企画をやったんだな。

**伊沢**　この間「レーダー」を出してますね。

**阿部**　ところどころ波があったようです。記録を見ますと，ポッと長くあいているときがあるのです。

**稲見**　2号から3号が5カ月ぐらい。

**佐々木**　カメラマンの小野さんはこのごろ20才そこそこだった？

**伊沢**　ええ，小野さんがアサヒカメラ最優秀賞を受賞する前ですからね。コセキに勤めていたころです。有名になる前ですよ。まあ，小野さんを見つけたから，これはできると踏み切れたんですね。その2号の表紙なんか，すごくこったんですよ。

**阿部**　私も，全国会議等で，ちょいちょい引っかけて話を出してみるわけですよ。ところが，サービス関係の課長さん方には，いろんなＰＲ誌が行くんですね。そうすると，やっぱりうちのやつに対して，すぐ目をとめるって言うもんね。同じだろうと思ってくずかごに入れないで，見るそうですよ。

**今川**　たしかに，捨てるには惜しいようなものになってきたね。

**今川**　北陸も，立派なものを作ってますが，ローカルカラーが足りないようですね。やっぱりいなか風なところがあっていいのだね。

**伊沢**　編集がモダン過ぎますね。抽象的な表紙写真でね。

**横山**　最近は，何もかも東京中心で，われわれはときどき不満を持つんだが，ローカルカラーを出したものが本当に必要だと思いますよ。

**今川**　だから親しみが出るんですよね。

**神山**　東北は広いから，まだまだ角度を変えていけばあるでしょう。

**伊沢**　東北は，観光という面でも宝庫かも知れませんね。

**神山**　みんな，東京よりも山へ山へと遊びに行くんだから，そういった気分をつかんで，都会のことはテレビでたくさんだから，こういう落ちついて見るものは「ああ，こんなものがあったのか」「そういうものが今でもあったのか」という気持を持たせるのは大切ですよ。「関所」なんか，確かにいいですね。



関根繁男氏

**伊沢**　割と評判のよかったのは「東京の中の仙台」というのでした。これは，菅さんにアイデアを出してもらってやってみたんですが，あれは案外喜ばれましたね。伊達家のいろんな史蹟……。東京の人がわからないのだね，割と。

**稲見**　大体こういうものは，評判がよくなればなるほど，ページ数をふやして字が多くなっていくもんですよね。だけど，うちのは，ページ数のふえる速度が割におそかったと思いますね。あんまり気がつかんうちにふえていっている形ですからね。たとえば週刊誌みたいなものだって，発達するに従って，目に見えて厚くなっていきますが，ああいうものと性格が違うけれども，そういう点ではこれは，写真なり絵なり，そういうものを主体にして，その間に字をはさんで，気楽に見られるという感じを持続しているというのはいいんじゃないですかね。

### 仙台にはないグラビア施設

**横山**　今も印刷は全然東京でないとできないですか。

**武田**　カラーの分色が，仙台ではできないのじゃないですか。

**伊沢**　グラビア製版が仙台にないのですね。一軒あるのですけど，ほとんど用に足らないのです。製版技術ができないらしいですね。

**今川**　もし出来たとしても需用がないのでしょうね。ＰＲ誌は私らが最大という状態ですからね。

**阿部**　間際のときに中身にミスがあるときは，すごく印刷会社はあわてるわけですよ。東京に夜行で行くんだ。（笑）

**武田**　だけど印刷屋も協力してくれたと思いますよ。僕も悪いなと思ったのだけど，印刷してみたらページが全然組みが違うのがありまして，製本してやってみるとページが合わないわけです。全部印刷してしまったのですが，無理無理やめさせて，40～50万円損害したでしょうが，一言も言わないで黙って間に合わせてくれたということがあったのです。

それから，カラーになってから，お客さんにほめられましてね。当初，折って送ったわけですが，そうしたら，結局カラーの中に全部筋がついてだめになってしまうので，金がかかりましたけれど，広げたままで送るようにしたということがありました。あれはかなり画期的なことでした。

**伊沢**　折らないで出すのも画期的だし，あのあと，袋の裏に季節季節のＰＲをしたわけですよ。

（関根氏出席）

**佐々木**　今回，ちょうど100号なもんで「創刊号から20号までお持ちの方に記念品を差し上げますので送って下さい」と言ったら，そう来ないと思ったのですが，来ましたね。80人ぐらい来たんです。

**稲見**　私ね，惜しくて送らないのじゃないかと思いましたがね。

**佐々木**　そういう人がだいぶありました。返してくれという方が…。返そうと思っております。１そろえだけいただきたいと思います。発行元にないのでね。（笑）



### テレビとともに発展

**稲見**　今，２号を見て気づいたんですが，テレビが出てないね。

**伊沢**　テレビはなかったね。

**関根**　いや，あったのですよ。テレビ放送を開始してすぐのようだね。創刊号には発電所のテレビは出ているんだよ。

テレビのスタートとともに「家庭と電気」が発達していっているようなもんだ。

**司会**　「テレビとともに10年」というところですか。

**武田**　「女性自身」あれが表紙を横位置にしてヒットしたから横でやろうじゃないかということで，だいぶ反対したんだけどね。

**横山**　縦の方が見やすいようじゃないですか。

**伊沢**　写真の関係でどうしようもないのですね。

**関根**　どうしようもないというのは，編集者の才能がないのじゃないかな。（笑）



阿部邦雄氏

**司会**　しかし，小野さんというカメラマンがいるもんだから助かりますね。

**奥村**　伊沢さんがスマートになると同時に「家庭と電気」もスマートになったね。（笑）

**伊沢**　どういう工合にスマートになったんですか。（笑）

**今川**　先ず美人を追わなくなった。

**奥村**　一ころは美人にこったものね。（笑）　また一ころは子供にこったしね。（笑）

**神山**　100号のときは今まで出したものにアルファをつける予定ですか。

**伊沢**　ええ，４頁増にいたします。

20頁になるわけです。現在広報の方で４頁負担してますから。

**佐々木**　100号に載せるのは，社長のあいさつ，知名人の原稿，それから企業ＰＲで10年の歩み，それからアイデアも募集しているのです。アイデア紹介とか，隠れた電気関係の善行者，小さな善行でもいいからそういう人の紹介，それから，当社のＰＲしたいことをクイズにして出して賞品を出す。あと，編集者はどういう人が書いているのだろうという興味もだいぶあったので，伊沢さんを横から眺めたところ。今まで１回もやったことがないのでね。

**阿部**　暗がりで眺めた方がいいんじゃないですか。（笑）

**伊沢**　関根さん，どうですか。古い話を……。

**関根**　古い話でなくて，今後の話なんだけれども，100号で終わりになるわけでなくて，ずっと続けて行くのですが，伊沢さんにしろ何にしろ，いずれは停年になる。そうすると，１人の人の才能に頼っているということは長続きしないのじゃないかと思いますよ。だから，やっぱり外部の人を，活用するというと語弊がありますが，外部の人の協力を得て，伊沢さんはいつどこへ転勤されても困らないようにしていかなければ，いつまでも同じような評判が続かないのじゃないかと思います。

**関根**　結局，今までは伊沢さん１人の才能に頼っていたわけですよね。ところがこういう酔っぱらいだろう。（笑）　今晩車にひかれるかも知れない。（笑）　当然考えておかなければならないよね。

**司会**　本当に，日々新たなるアイデアを出してくれますので，すっかり頼りきっておりますので……。

**武田**　伊沢さんが入院して，代行したことがあったね。

**伊沢**　小林さんです。

**関根**　外部の人にまかせっぱなしでなくて，ＰＲもしなければならないから，会社の人の意見も十分入らなければならないけれども，とにかく１人の人の才能に頼っているということは危険だと思うのですよね。

**伊沢**　そして，こっちも種切れになりましてね。引出しがなくなっちゃって……。

**関根**　本人もつらいしね。それは，今の仕事をしてい

るからにはしようがないので，引き出しが空になってもやらなくてはならない。

### 読者投稿には要注意

**武田**　いつだったかな。L便利帳」か何かで読者からとったら，ほかの雑誌に載ってるのをそのまま転記してくるのがあるのですよ。L暮しの手帳」とかそういうのをそのまま持ってくるわけですよ。そういうのは，いいことはわかっても，困ったね。

**伊沢**　それをまた読者が注進してよこすわけですよ。Lあれはどこそこに載ったもんだ」と。これはこわくてできないということになってやめたんです。

**関根**　宮中の歌会初めでさえやるんだからね。

**神山**　これで東北電力のＰＲをしようと思ったら間違いだね。さりげなくL東北電力」とか書いてある程度でいいね。

**武田**　案外おもしろかったのはLふるさとへの便り」ということで，中央にいる名士にお願いして手紙をやったでしょう。あれは有名人がだいぶ投稿してくれたね。

　淡谷のり子とか，寿々木米若とか，無着先生とかね。



矢吹敏一氏

**奥村**　半分は来なかったね。40何％くらいでしたかね。

**関根**　でも，いい方じゃないかね。

**武田**　みんな自筆で書いてきたからね。記念になりますね。

**司会**　いいアイデアだったですね。

**奥村**　やっぱり写真の多いのはいいね。

**武田**　そうですね。それから，活字が大きいということもいいのじゃないかな，ごちゃごちゃ書いても読まないからね。

**奥村**　結局，読ませたいと思ったって読まなければ何にもならないからね。

**稲見**　眺めているうちに入っていくという形でないとだめですね。

**武田**　電化ブームのときだったから，器具の照会がずいぶんお客さんから来ましたね。

**今川**　一番愉快だったのは，ロシヤの電気睡眠器か。（笑）ジャンジャン照会が来て参っちゃったね。L私は不眠症で悩んでます」なんか……。（笑）

**伊沢**　僕もあのころ不眠症で悩んでいたから，これはいいもんだと思ったね。

**神山**　今は，みんな不眠で悩んでいるからね。

**司会**　そういうのは，現物はあるの。

**伊沢**　ソ連でできたのを紹介したんですよ。近く日本でできるということでしたね。小さなメーカーは，作ったらしいですね。

**稲見**　私がやっているときでは，葉書が来たのでおもしろいのは，農家の若いお嫁さんだろうと思いますが，L家庭と電気」を送ってもらって，私は非常に興味をもって読みたいのだけれども，おしゅうとさんが反対して，家庭の中にいざこざがあるらしいのですね。本当は続けて読みたいが，しばらく送らんでくれ。という投書が来ましてね。若い層と年寄りの層で，若い人はこれを理想にして進めようとするわけだ。ところが年寄りとの間にもんちゃくが起きているらしいですね。

**伊沢**　だからLつら当てにわざと毎月とっているのじゃないか」と。送られるたびに嫁さんが苦しむわけですよ。それで，やめてくれと。これはちょっと泣かされましたね。

**阿部**　数の中にそういうのがあるのだね。

**奥村**　よく読んでいることは読んでいるね。1度，間違ったマンガが入っていましたね。コンセントか何か，プラグの逆になったの。ずいぶん葉書が来たね。

　柱についているコンセントが出ているわけです。さしこむ方がへっこんでいるのです。それで指摘されたんですね。

**伊沢**　あれはずいぶん来ましたね。あれ以来，さし絵も全部課長に見せることにしたんです。危ないというわけでね。

**奥村**　案外わからないのだよ，ああいうことはね。大



森さんにLこれ，こうです」と言ったらLいいじゃないか」なんて……。（笑）

### わらいと効果はちがう

**関根**　いつか，無点灯部落をやって怒られたことがあったな。

**伊沢**　L僻地のわらすたち」というのです。あれは，写真といい，文章といい，キャッチフレーズといい，傑作だと思ったのですよ。得意になっていたら，局長にガチンとやられてね。

**関根**　ねらいは，電気がいかにありがたいかということを思わせるために，電気のないところをやろうということで……。

**阿部**　それは，出ちまって怒られたわけだね。

**伊沢**　このときは奥村さんだったかな。（笑）

**司会**　奥村さんも，ずいぶん首にされたんだな。（笑）

**神山**　奥村さん時代が，それじゃ，一番問題が多かったのだな。

**稲見**　中興の祖だな。（笑）

**関根**　L電気ストーブはおやめなさい」と書いた。（笑）　あんまりうまいことばっかり言っちゃ信用されないと思ってね。電気ストーブは6千円も電気料がかかるんじゃ，どうせ使えないから，正直に書いちゃえ」と……。（笑）　まず，給料取りは使えないですよね。

**司会**　やっぱり長続きしたというのは，あんまりガツガツ宣伝を出さなかったことでしょうね。

**伊沢**　電気料金値上げで，主婦連から大反撃を食い，気持が通じていないのだということで，だんだん需用開拓の方に入ってきて……。

**関根**　まあ，なじんでくればそういう行き方もできたということじゃないかね。いきなり最初からむき出しに出されたんじゃ，そっぽを向かれてしまうんだ。L初めは処女のごとく」ね。（笑）

**稲見**　需用開拓といったって，お使いなさいという形でなく，電気知識を知らせているという立場だから，それがいいんだろうと思いますね。



伊沢　清氏

**佐々木**　今でも月に2，3人。L誌代は幾らですか」と，問い合わせが来ますね。あるいは，1年ぐらいとったあとの人がL今までの誌代を精算しますから，ご請求下さい」と。（笑）

**関根**　現金を入れて送ってよこすのがあったね。

**伊沢**　それでLこれは無料で配布しておりますから，ご心配なくごらん下さい」と，入れたんですね。

**関根**　このごろ，所得倍増になって景気がよくなったからふえてきたんじゃないの。

**奥村**　これは，1部幾らかかるの。

**佐々木**　送料込み仕上りで32円くらいです。印刷費だけで23円ぐらいです。

**武田**　郵送料が上って困りましたよ。6円になったからね。郵送料が値上げして，半期に100万円ぐらい赤字になりましたよ。

**奥村**　編集費は安いんだがね。（笑）

**伊沢**　それでも，あれから原稿料をだいぶ上げましたよ。

### 生々しい地震の写真

**稲見**　地震の折り込みを入れた写真はだれですか。

**伊沢**　あれは，電気新聞の清水記者です。清水さんがちょうど帰ってきていたので，すぐ地震のやつを入れなければならないということで，お願いして，家庭と電気に提供してもらったのです。

**稲見**　あの写真は，今までいろんな写真を見たけれども，割合，関東大震災のような悲惨な感じがちょっと出ているような感じがして，だれが写したかと思って……。

**今川**　月末ごろあわててやったのだね。

**阿部**　ちょうどエレベーターの前で，帰って来たばかりの彼に会ったので，ちょうどよかった。あれはタイミングがよかったのですよ。

**佐々木**　最近，あんまりLいい本だ，いい本だ」とほめられると，ＰＲの内容が薄れてくるんじゃないかという懸念も考えられますね。その点，注意しないと……。

**司会**　しかし，やっぱり読んでもらわなければね。

**今川**　それとのからみ合いが問題だね。営業所あたりでは，もう少し宣伝を入れたらどうかという意見もあるのですがね。今のところは，したいと思うところでとめるところでいいんじゃないかと思いますね。

多賀城の社員養成所，あれは，なるほど，東北電力は人間の開発をやっているのかと，割合評判がよかったのですね。それ自身立派なＰＲですよ。増資というと増資をずばり出さないと。社債というと，社債そのものを出さないとうまくないらしいですが。最も拙劣な方法ですがね。

そういうかたい文章をこらえたら，リライトしてくれるように外部に頼んだらどうですかね。保険会社あたりの広告も，だいぶ頭を痛めておりますね。

**今川**　アイデアだけまとめてね。└週刊文春┐の電事連のＰＲは，専属とはいかないけれども，人を変えないで頼んでいるのですよ。しょっちゅう行ったり来たりしている。人を変えてやってるんじゃだめですよ。これから，絵を書くにしても，マンガを書くにしても，人を変えないで養成すればいいですよ。そして，うちの企業内容をわかってもらわないとね。

**関根**　だから，何人かのうちから，ちょうどうちの考え方と合う人を選んで養成するわけですね。

**阿部**　起案する人の感覚で左右されるからね。だから広報関係も，起案の一番先の仕方だと思います。それを土台にして上の人がものを言うんだからね。

**今川**　文章でスタートするもんだから，最後まで文章になってしまって，それで苦労するのです。だから，文章でなくて，別なアイデァでやるといいのです。

**奥村**　ＰＲしたい言葉だけ，こういうことをＰＲしたいのだと出してもらって，それを編集の方で適当に表現したらいいじゃないの。

## むずかしい企業ＰＲ

**稲見**　最近はよそのやつを見ないから見当っかないけれども，やっぱり事業のＰＲをするということと，営業的な一般大衆を相手にしてＰＲするということと，むしろガッチリ割ってしまった方がすっきりするんじゃないかという気がするんだけれどもね。いろいろ考え方もあると思うのですが……。

**伊沢**　広報の方では，たとえば増資をやろうとすると，株式課長に目を通してもらって，そして今度はこっちで目を通してもらって営業の方へ持ってくる。だから，結局，目を通された方で書き変えるわけだ。

**関根**　株式のことを株式で目を通すのはいいが，ミスがあるかないかという程度にしてもらわんと……。表現まで手を入れられると直しにくくなるね。



佐々木弘志氏

**伊沢**　案がきまると，写真なり絵を先に置いてレイアウトしてみて，写真にも絵にも出てこないところを大まかに書いていくわけですが，初め文章ができ上って，それに合わせた写真ということになっているからむずかしいのですね。

**関根**　└写真がないからマンガでいこう┐なんていうことになって……。（笑）

**佐々木**　まんがでも苦労してますね。

**今川**　仙台には，新しいセンスのマンガ家はいないからね。

**伊沢**　特に感電関係は，写真にしたら見ておられませんね。

**関根**　こういう印刷の仕方をやっているのは，会社全体が，こうではないのだけれども，印刷屋がきまっているということもやはりいいことはいいのだね。

**今川**　お互いに呼吸が合うのだね。

**佐々木**　印刷屋自体の勉強にもなっているんじゃないですか。お互いに勉強しているような……。

**今川**　呼吸が合わなくちゃね。

**佐々木**　だけど，仙台も含めた東北で発行しているいろんな刊行物を見ますと，まだまだ幼稚ですね。これに比較してみると，印刷技術，編集，そういうもろもろのものがね。



**横山**　最近，観光関係なんかずいぶんいいものを出しているんじゃないですか。

**今川**　最近は日通なんかがいいのを出してますね。公益事業ですけど，とって置きたいようなのをね。

**関根**　とにかくあの辺になってくると，だんだんセックスものなんか入れ始めてるね。└欧米女性食べ歩き┐みたいなのね。何を食べるのが知らんけれども。（笑）ああいうものを入れるということは，洋酒天国の影響じゃないかと思うのですよ。

**今川**　日通というと，荒くれ男が大ぜいでいるという印象しか持たないが，ああいうのが，スマートなものを出すというのはね。

**佐々木**　日通は，今度の新潟の場合は，特集号で，全部新潟地震のことで埋めましたね。それが日通くさくないのですね。私はどこのかと思って見たんです。

**伊沢**　電事連で出している週刊誌のＰＲページは結局，９電力一緒になってＰＲ雑誌を１本出すとなると，ああいう形になると思うのですよ。地方的なものですと，中央の一流作家は執筆してくれませんからね。

**阿部**　全国版ね。あれは書く前の相談が何かやってますか。

**今川**　大体，社長会議が何かで，今年のあれはこういうことをやるんだという程度で，あとは何もやらないのじゃないですか。

**阿部**　たまに僕らが集まったときは，結果を検討してくれという程度でね。

**司会**　しかし，うまいこと書いてますね。

**阿部**　上手だね。何を言わんとしているか興味を持って読んでいくと，最後にひょっと出てくるんだな。

**司会**　どうでしょうね。私らが見ればうまいこと書いてあるなと思いますが，一般の人はどういうものかな。外部の人は。

**今川**　週刊誌を読む階級じゃあんまり読んでないようだな。企業ＰＲだけじゃなく，もう少し営業ＰＲを入れてくれと要望してますが。社長会議では企業ＰＲだといわれているもんだから，そこに苦しいところがあるのです。少しずつ入れているようですね。たとえば，燃料問題なんてすぱっと上げられたって，一般の人はあまり関心ないね。

**司会**　└家庭と電気┐の方はたれが見てもわかりますからね。

やっぱり自分の郷土が写されていると愛着を感じますね。

## これからの消費

**伊沢**　この間，ある雑誌を読んだら，こういうことが書いてありましたね。最近の電気器具にしろ何にしろ，今までは財布を握っているおやじが，子供たちの要求に応じていろんなものを買ってやったのが，最近は，子供たちが，今度こういうものをぜひ買ってくれと言うのだそうですね。そういう需用の方が伸びているんじゃないかと言ってますね。テープ・レコーダーなんかそうでしょう。あるいはステレオ，大きいところでは自動車ね。

**阿部**　それで，そっちの方の話になるかも知れないけれども，これからの消費を左右するのが子供だというので，需用想定の大きな要素として，アメリカあたりは，学校の調査をやっているのですね。子供のアンケートを深くやっているのです。そうすると，何年後には奥さんになり，だんなさんになるわけでしょう。そして子供を作って，また子供にそういうことをしますね。それをはかりにしているんだな。だから今からの消費はその人たちを考えて，工場の計画をやるとか，長期計画を立てるとかいうことをやっているそうですな。

**司会**　この前，電研の人の話では，東京あたりの家庭で，ルーム・クーラーがどの部屋に入っているかというと，普通，居間か応接間だと思いますが，最近はみんな子供さんの教育に熱心だから，勉強部屋に入れているというのですね。そういうふうに変ってきているというのですね。今の消費動向調査というものが，子供のウエイトが非常に大きいのじゃない

かと思いますね。

福島支店に行ったとき，小学生の作文募集をやっているわけです。テレビの問題でしうちのおやじは何度言っても買ってくれない。ケチなおやじだ」なんか書いてあるのだな。もちろんボツだけどね。（笑）そういうことがありましたね。

**伊沢**　だから，今までの需用調査ですと，希求購買力は購買力に入れないのですが，子供たちの分も今度調べないと，案外，家庭で欲しいものより先に，子供たちの要求するものが入っていくかも知れませんね。

**関根**　そういう市場調査ということは必要だけれども「家庭と電気」の場合，あんまり需用開拓と結びつけなくてもいいと思うね。値上げのときにせめて悪口を言われないようにさえすればね。

幾ら電力会社がサービスがいいからといって，夜中に電熱器をつけっぱなしじゃ寝ないですよ。やっぱり必要なものしか使わないのだから。

**司会**　一応，新製品の紹介だけは今やっておるのです。

**関根**　それはいいですね。メーカーが宣伝しているあと押しをして使ってもらえばそれだけふえるのだから。

**奥村**　電気器具の普及状況調べはやってるんですか。

**佐々木**　出荷調べは4半期ごとにやっております。会社のは年に1回やっております。

**横山**　あれはやるまでは難航したのですが，結局，やらなければならないものは早くやった方がいいのですが，なかなかそれをやらしてもらえないのですね。しまいにはやるんだけれども。

**関根**　大体そうですね。最初考えたことはボツになっても，結局，何年かたっとやってるんですよ。行き過ぎたとき押えるならいいけれども，行き過ぎないうちに押えちゃうんだから，芽が出るひまがないのだ。

### 人口減少の悩み

**伊沢**　需用開発でこれから一番問題になるのではないかと思うのは，各県とも人口が減ってるんですね。どんどんね。あれはどうなっていくんだかと思ってね。

**司会**　結局，東京へ移出されてしまうわけですよね。福島県でも，減らないのは小名浜と郡山だけですよ。あとは軒並みどの町村も減ってます。特に白河なんか年々歳々減ってますね。

**横山**　100万仙台なんか言ったって，いつの話か…。

**今川**　昨日，大口工場へ行ってみましたが，工場長さんが，東京へ中学校を出た人たちが行くとき激励会をやってるんですが，ああいうことはやめてくれと市長に申し入れしているそうです。

**伊沢**　県で奨励しているように見えるものね。

**今川**　むしろ，地元で就職した者の激励会をやってくれと。そうしないと結局人が集まらないそうです。その年に出た人はほんのわずかで，東京へ行ってみたけれども，入る方はある程度入るが経費がかかって戻ってきたのを使っているのだそうですね。それで何とかしのいでいる。

**阿部**　この間，東京の集まりで，いろいろ話したら，とるときには，岩手県の中学校から「各学校1人ずつ出して下さい。1人出したら必ずとる」と言ったら，沿線から離れたところの中学校，中には電灯のないところからも来たらしいね。そうすると，東京なんかこわくてしようがないのがいるらしくて「うちの学校だけ2人にしてくれ。1人だと行かない。行きたいけれども行かない」ということで，特にその学校だけ2人にしたそうだけれども，4月からいくわけですよ。そうしたら，東京の明るいところにいくわけだね。帰りには，ほとんどといっていいくらい螢光灯をおみやげに買ってきたそうだな。まあ電灯のない家は別として，いなかは暗いからね。そういうふうにして，逆に「そういうので器具販売の促進の道があると思います。電力会社さんもそういうやり方をやられると大へんいいと思います」なんて言われてきたけどね。

**伊沢**　僕も何かそういうエピソードをうまく使ってみたいと思っているんですがね。どういうふうに持っていったらいいかな。ふるさとの美しさを強調するのもいいでしょう。しかし，何かその辺に今後のPR雑誌の行き方もありそうな気がしてね。

**今川**　どうなんですか，来年の電気事業法実施に伴うPR対策は，そろそろ新年度あたりから考えてもいいんじゃないですか。

**武田**　苦情関係だと思いますね。

**今川**　そうですね。あと，私，現場へ出てみて，一番現場で苦労しているのは補償関係のようですね。柱を絶対立てさせないと言ってね。本当に現場の担当の人は困ってますね。これは1ぺんも取り上げたことないですね。

**奥村**　命令されてやったって，立てさせないのだ。そうすると，それが1年も2年も継続工事で残っているのです。

**今川**　やっぱり，日本の個人主義の発達もいいけれども，それをはき違えてきたんですかね。いなかになればなるほど……まあ都会だっていろんなことがあるのですけどね。

**奥村**　配電線もそうですね。

**今川**　本当に困っているらしいですね。

**阿部**　しかも数が多いんでしょう。

**司会**　だいぶ長い時間お話をいただきましてありがとうございました。ようやく10年，幼年期から少年期に向うわけで，不良少年にならず，すくすくと育って行きたいと思います。自分の子供でございますので，今後とも変らざるご協力を願いたいと思います。

## 話題

### 超特急のスピード

東京―新大阪間515.4キロを3時間で走る超特急の平均速度は170キロ。試作車が昨年3月に出した記録は時速256キロ（世界新）だから，能力よりはかなり下の線で走るわけ。スピード競争車ではなく，人命を運ぶ旅客列車だからである。

ところで，各国の一流鉄道の代表列車の最高速度はどのていどだろうか。

電気機関車けん引ではフランス国鉄の「ミストラル」，西ドイツ国鉄の「ラインゴルト」が，ともに160キロ。ディーゼル機関車が引くものではアメリカの一級鉄道で150キロ前後，ソ連の「赤い矢」が160キロ。電車特急ではイタリア国鉄の「セッテペロ」が145キロ，スイス国鉄の「ティチノ」が140キロ。

なお，列車スピードの最高記録は，1955年，フランスで出された時速331キロだが，テストだけのこと。最高時速210キロのわが超特急は，やはり世界一の旅客列車ということになる。

× × ×

### 少ない婦人科学者

第2次大戦後，職業をもつ婦人が増加したことは世界的な傾向だが，科学技術方面への婦人の進出はまだまだ少ない。アメリカでは，働く婦人の数は1,900年に全体の18％だったのが，1,960年には33％となり，約2,200万人の婦人が働いている。婦人の約半数が職業をもっているわけだ。しかし，会社，銀行などの一般事務が約30％を占め，婦人科学者は約2万人，科学者総数の7％，婦人技術者は約1万人，総数1％にすぎない。これに対し，ソ連では婦人の社会的活動が広く高い。工業関係では約45％，教育68％，政府機関49％，医療関係85％と，婦人が男性と対等に働いていることがわかる。

日本ではどうか。一般事務関係では1,960年で165万人と1,930年の30倍にはなったが，婦人科学者は2千人たらずで，科学者総数の2％にすぎない。理工科系大学では，むしろ女子学生のほうが成績がよい場合が多いといわれるから，問題は婦人の職業に対する社会や婦人自身の偏見にあるということになる。




## ―― 失火の賠償責任 ――

**隣家の失火で私の家も類焼しました。火元である隣家の人に損害賠償の請求をしましたら，失火の場合は賠償する責任がないといいますが本当でしょうか。**

失火によって他人に損害を与えた者（失火者）は，民法上の不法行為者として，被害者に損害賠償をする責任がある理屈になりますが，わが国は木造家屋が多いので，火事が広がって被害が多くなり，この場合にも失火者に損害賠償の責任を負わせることは苛酷であるということから，失火者の責任を軽減するために，明治32年に「失火の責任に関する法律」が特別に作られて，今日に至っています。この法律によりますと，失火の場合は，失火者の不注意の程度がひどい場合（重過失）にだけ失火者に責任を負わせ，誰にでもよくあるような不注意の場合（軽過失）は，損害賠償責任を負わせないことにしています。

そこで，まず，重過失というのは，具体的にどの程度の不注意をいうのかということが問題になります。

裁判の例によりますと，マッチの燃え残りの軸木を消えたと思って板の間に捨てた場合，草ぶき屋根の家の縁先から12,3尺ぐらいのところでたき火をし，他に監視すべき成人がいないのに現場を離れた場合，電気コンロのスイッチを切るのを忘れて寝ても，附近に燃えやすい物を置き忘れたようなことのない場合は失火者に重過失はないとしています。また，電話局の宿直員が炭火をおこすために木炭と紙くずを入れた火ばちに1斗カンに入っているメチルアルコールを直接注ぎ，カンに引火して火事になった場合，電線や電柱に故障があるのに電力会社が修理を怠ったために発火した場合は，失火者に重過失があるとしています。

失火者に重過失があったことは，賠償を請求する側で証明しなければなりません。しかも，この重過失の有無の証明はなかなかむずかしい問題です。しかし，失火者は，刑事上，失火罪に問われて処罰されることもあるわけで，失火後，警察では，放火か失火か，失火としたら，失火者は誰であって，重過失によるものかどうかなどを，科学的に調査しているはずですから，警察に聞いてみるのも一方法です。そこで重過失となっていれば，失火者を相手取って損害賠償請求の訴訟や調停を裁判所に申立てることも考えられます。重過失とはいえないとするならば，訴訟をしても勝目はありませんから，その時は，示談で解決するしかありません。

なお，参考までに，借家人が失火して借家と隣家を焼いてしまったような場合は，借家人は重過失がなければ隣人に対する賠償責任はまぬかれますが，借用した家屋を家主に返すことができなくなったのですから，家主に対し債務不履行による賠償義務が生じます。この場合は軽過失でも賠償責任があるのです。

### 知らないと損する取消手数料

快適であるべき旅行も，知らないと損をしたり不快な目に会うことがある。まず，乗物からいうと，キップの取消し手数料というのがある。特急券や，寝台券，座席指定券などを取消す場合，取消しを申し出る時期によって手数料も違うからご注意。乗車の2日前までは3割，2日前から乗車2時間前までは5割とられる。乗車前2時間以内となると，手数料をとられるどころか，全然払いもどしてもらえないから，旅行日程の変更などは早めに決定しないと大分損をすることになる。これは国鉄ばかりでなく，私鉄もこれに準じているので，念のため。また，交通公社などを通じて，あらかじめ旅館を予約しておいた場合も，取消しにあたっては，旅館側に補償をする建前で取消料を払わなければならない。宿泊の4日前から当日の正午までは2割，それ以降は5割の取消料と手配のための通信料として百円とられるから，ゆめゆめノンビリかまえすぎることのないよう，ご注意。



# 応募写真

阿部秀陽選



→
ポートレート　若松営檜枝岐出　平野　和彦
ニコンF　50mm　F1.4　f 8　1／60
評　秋のムードを感じさせるあかぬけした写真です。ポーズもいい。（銀）



←
行　楽　　山支　鈴木　清
プリモレフ　F3.5 75mm　f 8　1／100 Y 1
評　奇麗に写って秋の行楽を思わせるが迫力がない。（銅）



→
ポートレート　　会津給指　鈴木　康彦
ミノルタSR－7　コムラ 200mm　F3.5　f22　1／60
評　皮膚感もありアマチュアとしてはうまいポートレートです。（銅）

家　　路　　新給指　巻口　義雄

アサヒペンタックスS2　f11　1／30

評　夕景のバックは美しいが人物が動いているのが残念です。構図はまとまっています。（銅）

↓





↑

ポートレート　八久和発電所　斎藤　留造

アサヒペンタックスSV　ククマー　F3.5　135mm　f5.6　1／250

評　モデルの表情もよくうまくまとめていますが下の部分をカットした方がいい。（銅）

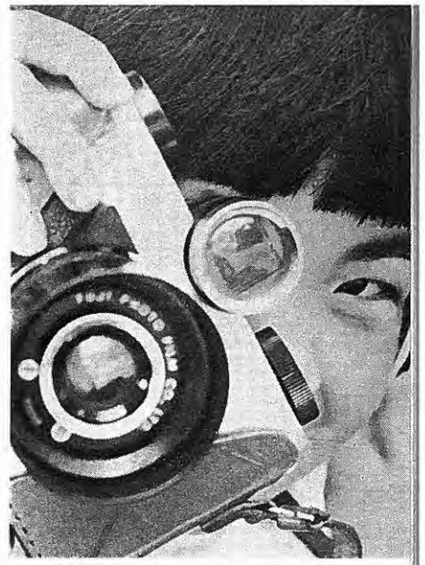


↑

イモ煮会にて　　八久和発　斎藤　留造

アサヒペンクSV　f8　1／125

評　仕上げの調子はいいが、窮屈な感じです。



→

写すわよ　　柏崎営　宮島　智敏

ミノルクSR1　f5.6　1／250

評　これだけクローズアップするなら、カメラにもピントを合せて下さい。



→

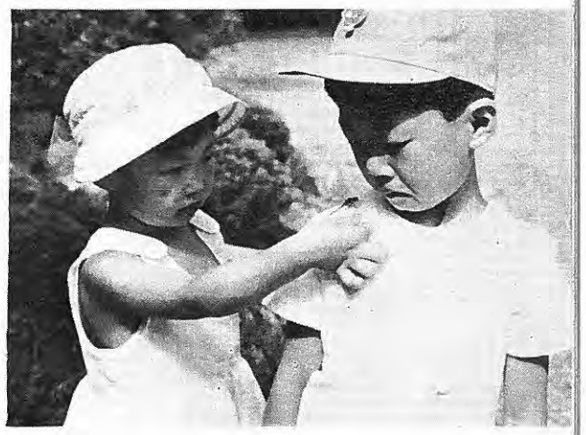
兄ちゃんトンボ

白河営 鈴木 泰造

ペトリF2

f5.6　1／100　Y2

評　可愛いい写真です。男の子の洋服を焼き込むとしっかりした調子になります。

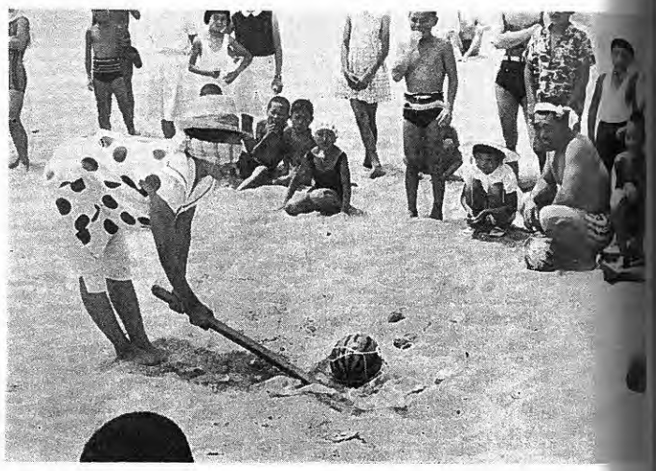


村　　童　　山支　鈴木　清

リコー35　f8　1／100

評　仕上げはキレイだが、子どものあつかいが余りにも安易です。

↓



写　生　　佐沼営　岩淵　徹夫

コニカFP　f5.6　1／125

評　真剣な子どものポーズがいい。下を切っても天部はもっと余裕があった方がいい。（銅）

↓



↑

西瓜わり　　東平変　佐々木　清

キャノンFX　f8　1／250

評　女性のポーズ、背景の人物も面白いし仕上げもキレイである。（銅）

↑

ポートレート　檜枝岐出　平野　和彦

ニコンF　50mm　F1.4　f5.6　1／30

評　秋の哀愁を出そうとしたのかもしれないが、顔が暗くなり過ぎ、演出が目立つ。

なに描いてるのかな

佐沼営　岩淵　徹夫

コニカFP　f8　1／100

評　子どもの無心なポーズがこの画をひき立たせている。下の子どもの頭は邪魔だ。

↓







↑
タイつり　嘉瀬予内発　滝本　正則
アサヒペンタSV　f5.6　1／500
評　真剣な表情が可愛いい。



←
のろま人形　柏崎営　遠山　人充
ミノルタSR1　f8　1／125
評　人形を写しただけになりました。もっとローキーに仕上げて芝居の内容を思わせるようにすると作品になります。



小　若　白河営　鈴木　泰造
ペトリF2　f5　1／50
評　きれいな記念写真ですが、頭デッカチになりました。



→
クライドライト
会津給指
鈴木　康晴
ミノルタSR7
コムラ200mm F3.5
f4　1／60
ネオパンSSS
ASA 800に増感
評　良い表情を写していますが、カメラぶれが気になる。

笑　弘前営　工藤　鉄
レオタックス　f1　1／30　ストロボ同調
評　いつも出品している作者だが、今は少しムリです。ポケットの紙も大き過ぎる。
↓



撮影会にて　東平変　佐々木　清
キャノンFX　f8　1／250
評　男女の対照をねらっているが、写真が余りにも白すぎる。せっかくのモデルのいい写真をみせてほしかった。
↓






# 証券市場対策

一時盛況を極めた兜町も，近頃は閑古鳥の鳴くような淋しさで，毎日の株式売買高は減る一方，現在の証券界の人員，店舗を維持するには，1日1億5千万株の出来高が必要といわれるが，現在はその3の5千万株前後のことが多い。またダウ平均も，証券会社の買支えで，やっと1200円を維持していることが多い。証券市場の機能は著しく弱化し，このままでは，信用恐慌にもなりかねない情勢となった。

政府，日銀では9月中旬漸く積極的に証券対策に乗り出す方針を決め，9月22日，大蔵大臣は金融，証券，産業界の代表に，共同証券の増資と日証金への日銀の直接融資によって証券業界手持ちの過剰株1千億を買上げ，1年間塩づけにすること，来年2月以降当分の間増資をストップすることについて自主的に協力方要請があった。続いて9月25日，日銀にて大蔵次官が議長になり，金融，証券，産業界の代表よりなる増資等調整懇談会が開たれ，明年2月以降当分の間，金融，証券，産業各界が自主的に強力に増資調整に協力することを申合せた。その結果，当社の39年度増資計画も繰り延べざるを得なくなった。

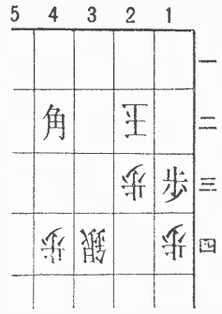
このような緊急対策を必要とした株式市場不振の原因は一体，何であろう。9月以降，いろんな人が，いろいろなことをいっているが，先ず第一にあげなければならないのは，一般投資家の証券市場，特に証券会社に対する不信であろう。34～36年の株式ブームで調子のいいセールスマンに，なけなしの虎の子をはたいて株を買わされ，その後の値下り，或は会社の倒産などで，随分痛い目にあわされている人が多い。この苦しい経験が投資意欲を失わせていることは否定出来ないだろう。次に金融引締めにより，法人が金繰り増資をやる，また手持の株を売却して金繰りにあてるなどで，株の供給過剰から株価の下落を招いた。この対策として増資ストップが考えられたわけである。

しかし一番重要な原因は株式市場の機能喪失である。株式市場が経済の実態を如実に反映し，株価の上下動が需給の増減で自然に調整されるのが正常な姿であるが，現在の株価は，1200円死守という考えより，買い支え，一種の管理株価となっている。下にも下らない代りに，上にも上らないというわけで，低迷の域を脱することが出来ない。大衆に投資意欲が旺盛になり，兜町がお客で賑わうようにならなければ，証券界に立ち直りは訪れない。何んといっても大衆は正直である。収益性の低い処には投資しない。この簡単な原則を忘れないようにしなければならない。

## 詰将棋新題

出題　八段・原田泰夫

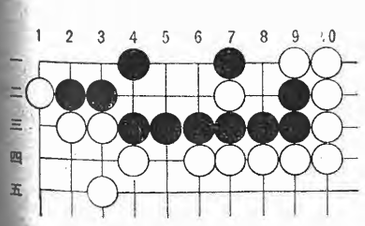
持駒　角・銀・桂




出題
（ヒント）初手の発見が解決の鍵。最後に4二角が働く。五分で解ければ初段、十分なら三級程度。十一手詰。

## 詰碁新題

出題　九段・前田陳爾




白先で黒の生死はどうなりますか。第一着、第三着と止めを刺して下さい。

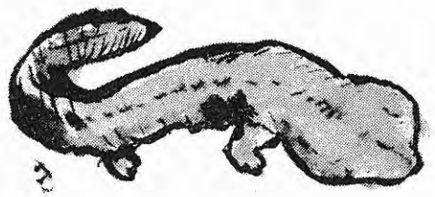
## 架空の動物ばなし

### ―― フエニックス ――

新潟地震の映画をつくった時，一番おわりのうたい文句に，「フエニックス新潟」（不死鳥）という言葉をつかいました。なぜ新潟が不死鳥なのかというご質問です。

昔，人間の世の中がまだ未開の時，人々は自然のもろもろの現象を，理解することができず，恐れおののき無知も手伝って，これを怪物の仕業であるときめたものです。そしていろいろの架空の動物が生まれてきました。

それにまた，神秘的なはなしや，偉大な力や，美しい姿，あるいは人のあこがれの心を全部おり込んで育ててゆきました。不死鳥もそうして生まれた鳥です。



サンショウウオ

その昔，アラビヤの神話によると，アラビヤには不思議な鳥が住んでいて，世界にただ一羽しか存在しておらず，500年毎に一度死んでまた新しく生れかわるといわれました。その方法はキャラや白ダンのような香木をつみ重ねた上に，太陽から火を採り，自らの羽根であおいで燃え上らせ，その中に身を投じます。一度死んでからその灰でまた新しくよみがえるというのです。

それから世の中では，大火などで灰じんに帰した都会が，再び新しく復興した時などに，この不死鳥という言葉を使ったものです。関東大震災後の東京にもまたこの不死鳥がつかわれたものです。新潟は火事はあまりありませんでしたが，あれだけの打撃から忽ち立派に立ち上ったので，不死鳥という言葉をつかったわけです。

古代の西洋故事によると，不死鳥のモデルはサギであるといわれています。エジプトの神話から生れたこの不死鳥は，やがてアラビヤからペルシヤ，インドと渡り，中国や日本にもやってきました。そういえばその姿は皆よく似ていて，サギから変化したようにも思えます。

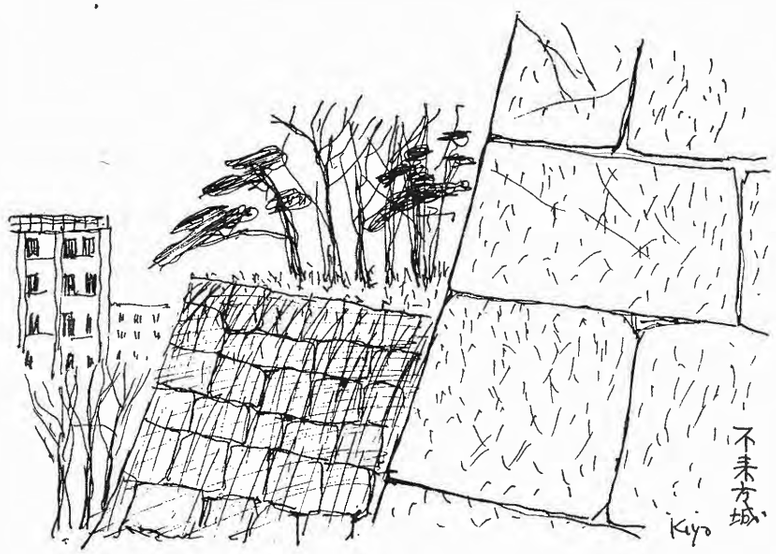
また，ある人達の説によると，ペルシヤの火トカゲが伝説のもとだといわれます。これは火の中でも死なず，逆に火を消す力さえもっているといわれ，有名なシエクスピアのヘンリー四世やゲーテのファウストなどの劇の中にもでてきます。

この火トカゲはサラマンダーといいますが，日本にしかいないさんしょう魚を，英語ではサラマンダーといいます。これはどうしてかよくわかりませんが，あのグロテスクな目のない魚が，伝説の火トカゲに似ているとみたのかも知れません。

戦後日本にやって来た外人を，東北に案内して，さんしょう魚を見せた時，おおサラマンダーだといって叫んだ時にはびっくりしました。日本には現実に生きたサラマンダーが存在している。これは日本が不死鳥である証拠であるし，戦いに負けたが，日本は決して滅ばないであろうというのでした。

その外人が畏怖の念を抱いたような顔で，真剣に私達にその話をしたのには，かえってくすぐったい気がしましたが，これはなかなかいただける話であると，それからしばしば外人にさんしょう魚をみせる機会があると，このお話をしておどろかして上げることにしています。　（連山仁一郎）





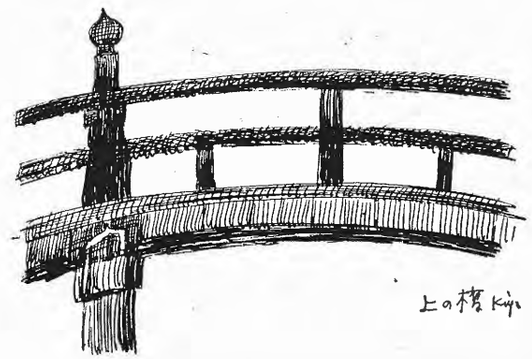

# とうほく風物誌　盛岡市

### 盛岡以外にはないもの

盛岡の南部鉄器の主人から自慢の写真を見せられたことがある。「これ1枚で盛岡をずばり表現した」という写真は，格子づくりの町家を前景に，赤煉瓦の明治の建物が半身をのり出し，その後にパラボラアンテナの塔が聳えているもので，主人の言によれば，封建時代，明治時代，現在とが一つのアングルの中で同じ比重で呼吸しているというのである。これが盛岡なのか，なるほどうまいことをいう人だと思った。

たしかに盛岡の街の印象は封建，明治，現代と三つの要素をミックスしている。しかし東北の城下町には三代が同居しているのは未だ外にもある。

だが，盛岡はユニークである。盛岡以外にないものをたくさん作り出している。南部鉄器，紫根染，チャグチャグ馬ッ子，わんこそば，小岩井農場，原敬・啄



木思いつくままに雑ぱくに並べたててみて，それがすべて一級品であって，しかもナント盛岡独自の臭が強いものであることか。そしてこれら一級品の基盤をなすものすべてに黒い土の臭いと庶民の生活の汗を感じさせる。盛岡のユニークさは実にこの点にあるのではなかろうか。

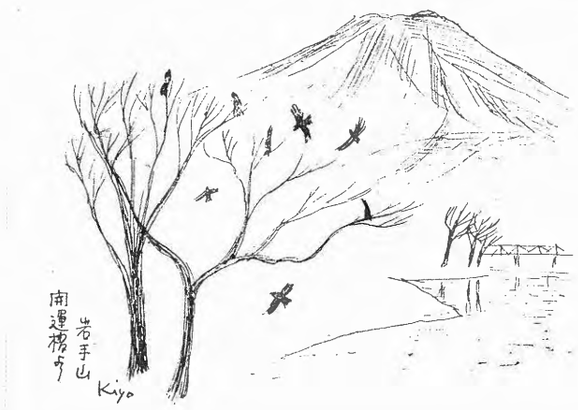
その点，案内書に散見される「盛岡は東北の小京都にして……云々」という表現はおかしい。たまたま藩政時代に近江商人が命をうけて京都風に町作りしたというだけであって，現在の盛岡に京都を感じる人に居るまい。そして盛岡は京都的でないところに盛岡のよさがあるのだ。




## 観光資源・啄木

盛岡駅は東北で最初に生まれた民衆駅で，近く地下売店を拡張せねばならないほど盛況である。売店を通ると土産ものは圧倒的に石川啄木が目につく。ノレン・ハンカチ・壁カケ・絵ハガキ・ハシ・茶ワン・鉄器……。とにかく小学生から中学生，高校生，オトナにいたるまで修学旅行なら何をおいても買わねばならぬ啄木ものが氾濫している。石をもって古里を追われた啄木が，古里の観光に大きな力をつくしているのである。貧窮のどん底で病死した詩人のおかげで，現在どれだけの人が産をなし，どれだけの人が毎日ご飯を喰べているのであろうか。思えば思うほどフビンなのは啄木である。啄木がもし生きていれば78才の老人である。むろん名誉市民になって悠々自適の生活に入っていることであろうに。駅前に啄木の歌碑が立っている。

ふるさとの山に向ひて　言ふことなし
ふるさとの山はありがたきかな




## 北上の濁流

駅前を北上川が流れている。泥々に濁っているのは松尾鉱山の廃液が流れこむからである。この駅前の開運橋から見ると岩手山と北上川が一線になって，孤高の岩手山は頂に雲をなびかせ岩手富士の名にふさわしい雄大さである。この橋の少し下流のところで雫石川と中津川とが北上川に合流する。合流点のトビとカラスの群はけだし壮観である。幾百と飛び交う黒い影，その上空を，これまたおびただしい茶褐色のトビの大群。私はこのような大型鳥の飛群を見たことがなかったので，ただただ不気味な勇壮感にうた



れた。それが夕暮れであったので，凄味が加わってひとりではいたたまれない程であった。

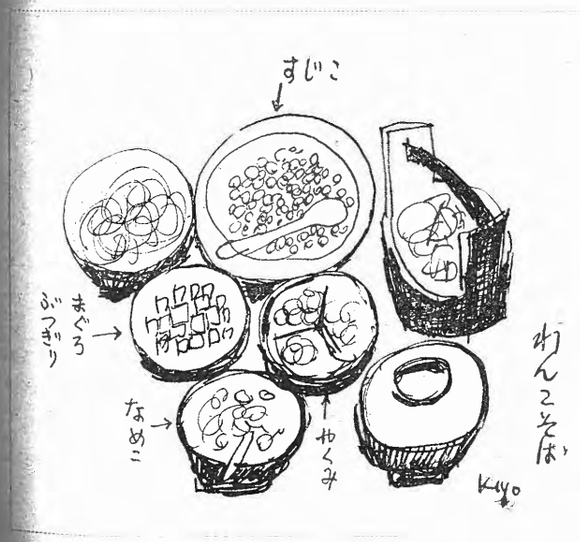
## 詩情とワンコそば

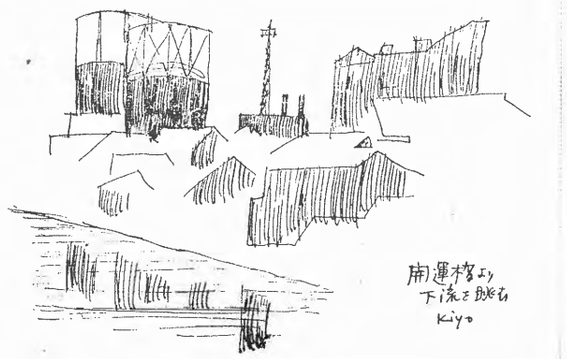
開運橋を渡って大通りに入ると駅前の薄汚れた印象は一変して繁華街になる。内丸通りは城下町時代の重臣の屋敷のあったところであるが，今は官庁街と銀行街になっていて，すっきりとした近代ビルが続々と建つ姿は近代都市として貫録十分である。現在県庁が建築中である。県庁の隣りの裁判所には樹令300年のシロヒガンザクラが花崗岩を真二つにして生えている。天然記念物石割桜である。

西風に
　内丸大路の桜の葉
　　かさこそ散るを踏みてあそびき

啄木がストライキをおこした盛岡中学校はこの通りにあった。いまは日赤になっている。

盛岡城址は不来方城址とも呼ばれ，現在では岩手公園になっている。北上川と中津川を外堀にみなした平山城で，このお城に立って瓦屋根と近代ビルの林立するかなたに，岩手山が大きく美しい線を流してすっきりと立っている。




不来方のお城の草に寝ころびて
　空に吸はれし
　　十五の心

中津川には，擬宝珠をつけた古風な橋が二つもかかっている。上の橋と下の橋がそれである。東北電力岩手支店は，これらの橋の中間のよの字橋のたもとにある。このあたりに有名なワンコそば屋がある。年に一ぺん大食競技会があって，百杯以上たべた女性もいる。これは大喰いするにはもったいない程の立派な器で，秀衡塗であろうか。姿のよい大ぶりなお椀で見るだけでもほれぼれする。この椀の中に飛燕の早技で女のひとがそばをなげこむのである。

中津川や
　月に河鹿の鳴く夜なり
　　涼風追ひぬ夢見る人と

より速く，より高く，より強く，というのはオリンピック競技の合い言葉。人類の能力の限界を高める努力が，レコードの更新というものである。これに，より多く，という1句を加えて，胃袋の能力をつけ加えることも，オリンピックの意義に反しないのではあるまいか。とすれば，ワンコそばの競技などもいいかもしれない。もっともそうなれば大食をもって鳴るソ連人などは金メダル候補か。

（絵と文　伊沢清）

# 東京通信
## トウキョウあんない

〽あの日ローマで眺めた月は
今日は都の空照らす
4年たったらまた会いましょと
確い約束夢ぢゃない
オリンピックの顔と顔〽

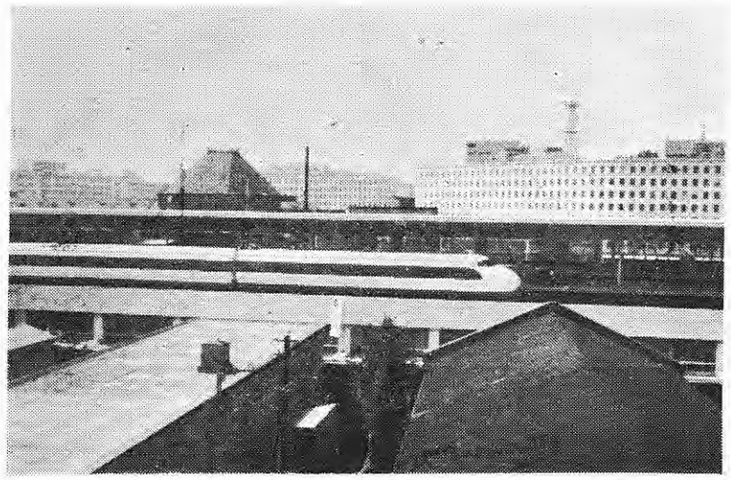
1964年はオリンピックの年である。5年前に東京で，オリンピックが開催されることに決定したときには，いったいどうなることかと思った。最近まではオリンピックが，東京で開催されるという実感が湧かなかったが，聖火が日本に到着して，羽田空港には続々と外国の選手が来日，都内に外人の姿が多くなるつれて，いよいよ本番だなと思ったのが実感である。

数々の問題があったにせよ，今は国立競技場を始め，全ての施設も出来上り，準備完了，あと数日にせまった開会式を待つばかりとなった。心から喜び，日本の国力の偉大さと，日本人としての誇りを感ぜずにはいられない心境である。「オリンピックは勝つことでなく参加することに意義がある」という有名な言葉は，誰れでも知っているし，それに違いはないが。4年に1度のオリンピックは，各民族の若い力と，技を競い合うのだ。互にスポーツマン精神を体し，勝利の斗志を燃やし，1本でも多くの日の丸を澄みきった秋空高く掲げ，日本民族の力を世界に示してもらいたいものであるが，予想はどうもかんばしくない。結果はどうか？

頑張れ！頑張れ！。1億の日本国民が応援している。皆さんの中には友人，知人も参加されている方もおられると思うが，支社では，松岡次長が近代五種競技連盟役員として，この大会に情熱をかたむけて日夜活躍されている。ただ，今は大会が成功をおさめ，立派な世紀の祭典であったという，結果が出ることを祈ってやまない。

子供の頃に，科学の友という本だと記憶しているが，未来の都市として，空にはヘリコプターが飛び，地上には高速道路が縦横に走り，高層建築のビルが建ち，中空を走るモノレールなどの絵が，空想として書かれていたのを想いだすが，今の東京は空想として考えられた事が，一歩一歩，実現されてきた。

「全てがオリンピックのために，オリンピックまで」との掛声と共に，東京は変ぼうして行った。そこで新しく誕生した幾つかを紹介してみることにする。



東京駅ホームの超特急

### 超特急

いよいよ，10月1から東海道新幹線が営業運転を開始した。夢ではなく時速200kmで超特急が走るのだ。新装なった東京駅に，ソートンカラーに包まれた車体が，静かに発車する日を待っているのが，支社の窓越にみえる。スピードの世界は子供だけでなく，大人にとっても魅力のあるもので，毎日の試乗には押すな押すなの盛況で，前景気は上々の様だ。最高時速200kmだから，スピードマニアなら一度は乗車してみたくなるだろうし，営業開始の前に試乗したとなれば，後日の語り草になるというので，老若男女，色とりどりの試乗者で，東京駅の新幹線ホームはごった返している。

私も2月に15分程度の短い距離であったが，試乗する機会を得た。

なにしろ現在の特急の3倍の速さ。広軌道なので安定性もよく振動も少い。車内も広々として2人掛と3人掛の座席が左右に並びゆったりして乗心地は素晴しかった。少し超特急の宣伝になったかな。ただ問題というよりも心配なのは，事故だ。事故の絶対ない様，国鉄は万全を期し，旅行者が快適な旅が出来ることに最善の努力を払うべきだ。また，機会があったら新大阪まで乗車して，素晴しい旅の想い出としたいものである。

### モノレール羽田線

196億の巨費を投じて完成した，モノレール羽田線は，全線13.2kmでその内約7.4kmは海の上を走る。これはもちろん世界で最大の規模を誇る本格的モノレールだ。コースは羽田から，東京港を突きって国電浜松町まで15分ノンストップで結ばれる。

地上10mの高さを時速100kmで汐風を切る快適さと，パノラマ式に開ける美しい海岸線の眺めは，なんとも云えぬ醍醐味である。車内はデラックスな転換式シートで，コンクリートの上を震動のないゴムタイヤで走るのだから，乗心地は満点に近い。羽田空港のビル前で車に乗込む，いよいよ発車，すぐに空港圏の内線滑走路の下を通るトンネルを過ぎると，右に東京港，左に京浜工業地帯の眺めになるが，大空に飛び立つ飛行機の勇姿と，白波をけって走る船は，風景に楽しさを添え，一段と興味を増す。また，音もなく中空を快走するのは，スリル万点である。

その中に高速道路と立体交差し，田町駅近くで大きくカーブすると，がらりと変った風景が展開する。前方には東京タワー，国会議事堂がビル群と共に目前に迫り，都心の鼓動が全身につたわってくる。やがて浜松町駅西側のターミナルビル5階に静かに到着。15分と言えば乗物としては，短かく，ものたりないと思えるが，それが少しも感じられない。それほど忘れがたい印象がのこる。東京モノレールKKでは年間30億の水揚げを予想しているが，何んと言ってもこれから大きな名物となることは間違ない。21世紀につながる第3の鉄道となることだろう。

### ホテル　ニューオータニ

東京の建築ブームは特に目をみはるものがあり，次々と新しいビルが誕生する。昔の諺に「十年一昔」と



高速道路

いうが，今は一年一昔に変りつつある。それほどビルが林立し，昔の思影を忍ぶ間もない。加えてオリンピック見物に来日する諸外国の客を収容するために，ホテルも急造されつつあるが，特に規模が大きく高層で有名なのがホテル・ニューオータニである。

〝黄金の摩天楼〟と呼ばれ2万坪の庭園と3万1千坪の建物は，日本最大であるばかりでなく豪華でもある。皇居に隣接し，四ツ谷と赤坂にまたがる高台にあり，設備も国際的レベルで17階という超高層建築。

海抜100mの上空で，東京タワーの展望台と同じ高さである。17階のブルースカイラウンジは，1時間に1回フロア全体が回転し，昼は東京都内は勿論，遠くは秩父，房総，伊豆まで一望に見渡せる。居ながらにして，景色の変化を楽しめる上にここには騒音も，スモッグもない，東洋第一の回転展望台で，ここからの眺めは形容の言葉もない。ただ素晴しいの一言だ。

また，ここの庭園も自慢の一つであるが，うっそうと茂る樹木，京都加茂川の巨岩，佐渡の赤玉石がおりなす庭園も美しく，17階から眼下にみおろすと，箱庭を見る様でなんとも云えぬ趣がある。お茶とお菓子を前にして，窓越しに色とりどりのネオンに輝く，東京の夜景は想像するだけでもその美しさは格別だろう。東京の新名所となるは必然だ。一度行ってみるのもいいだろう。

### 高　速　道　路

日に日に，急増する車，車，過密都市東京の交通地獄を，解消するために造られたこの高速道路。以前は狭い道路に車の洪水，都心から羽田空港まで1時間以上も要したのに，今では新宿―羽田間30分でOK，夢の様な話である。高速道路を飛ばす車から見る東都の姿も変化にとんでいる。スピードとスリルを味わうマイカー族にとっては，一度は飛ばしてみたいのは当然だろう。

先ず新宿から高速道路4号線に乗り入れると，すぐ目の前に神宮の森と国立競技場だ。国電中央線と平行して走り続けると，立並ぶ高級ホテルが一望である。ここを通りすぎると地下道に入るが，このトンネルはオレンジ色の照明で素適な地下道である。トンネルをぬけて地上に出ると皇居に近い千鳥ガ渕だ。濠に白鳥，オールを漕ぐ幾組かの楽しそうなカップルの姿が見える。まもなく宮城が見え始め，近代建築の趣向をこらしたビルの並ぶ大手町，日本橋を通る中に，ちらりと東京駅が見え，支社の屋上にあるマイクロウエーブもすぐ目の前に感ずる。これから兜町に出るが，ここで1号線と合併する。京橋，銀座のオフイス街を横に眺めながら第2の地下道汐留隧道に入る。ここを通りぬけると広ろびろとした視界が開け，浜離宮，東京タワーと，外国船が仲良く停泊している東京港を見ると，なんともいえぬ解放感にひたる。しばらくすると先に紹介した，モノレールが平行して走って行くのが中空に見えてくる。遠くに赤と白の3本の煙突が美しく印象的だ，東京電力の品川火力である。ふと左手を見ると，19人の消防士の命を奪い新聞紙上を賑わした爆発現場が生々しく，当時の様相をそのまま露出している。さらに続いて大井競馬場が見える。そろそろ終着だ。先方に羽田空港が見え飛行機が滑走している。ここまで息きもつかせずに，60～70kmで走り続けたが，車は進行方向に流れる様に進み，信号もなくノンストップだから警笛も騒音もない。それに高速道路の使命とする，スピード・快適・安全の三要素を十分発揮した，都心で始めての素晴しいハイウエーである。車中から眺める変化にとんだ風景は楽しさを倍加するる。

夢が実現されたというものの，これから先どんなに変ぼうして行くかが楽しみである。詳細は新聞，雑誌，テレビなどですでに御承知のことと思い，漠然と私の見たまま感じたままを紹介して東京通信とする。

1964. 9. 25　（総務課　平田）



# 教　務　日　誌



滝田七五三義

### ま　え　が　き

当社々員養成所の前施設として，発変電技術要員教育の発足が，昭和37年4月である。燃えるような希望を胸に抱いて入所してきた彼等，麗らかな陽光がこれら若い人の肩にさんさんとふりそそいでいる。

麗らかさ理想に燃えし顔に

青年期にある技術要員をいかにして導いてゆくか，動揺期の彼等，最年少者が15才，最年長が16才ちょっと前であり，この要員が社員となるときは，それぞれ18才から19才である。

青年前期の精神の不安定時代から後期の安定するまでの精神過程を彼等に接しながら教務日誌に寄せて綴ってみる。

**4月〇日**

一日中机にしばりつけられて講義を受け，解放されたのだろうか，社門を出てから5分とたたないうちに，1人が煙草を吹かしているのを横目でながめながら通りすぎた。15．6才の彼等，好奇心か，自己を必要以上に誇示したいのか，現代っ子の姿を，心理を改めてみつめてみる。

**4月11日**

今日は施設の入所式，さすがこれら現代っ子も緊張している。嬉しいのか，また寂しいのか，種々の心境であろうと思う。ふとわが子の入学式が瞼に浮かぶ。同じ年令の彼等，この日の感激をいつまでも忘れないで欲しい。そしてこの後，3年間の課程を1人の落伍者もなく進んで欲しい，と願うというよりは祈りたい気持である。

**5月〇日**

「このうちで煙草をのんだ者が居るか？」しばし無言，互に顔を見合せている。

「ハイ」手を上げた1人，彼ははたして4月0日の彼だろうか？

「うまいと思ってのんだのか」

「否」の答「そうだろうネ，大人の真似をしてどんなものか吹かしてみたんだネ」

「ハイ」「そのとおりけっしてうまいものではないヨ，煙草は麻薬と同じで止められなくなる，習慣になったら終いだ，法律で禁じられているわけがわかるか？肉体的にも成長の過程にある君達だ，脳細胞が侵されてくる。今後そんなことのないようにするんだネ」わかったようだ。

わが子の机の引出しに⅓ほどのもみくちゃになった煙草をみつけた日を思い出してみる。そういう年令の彼等である。今後いろいろの問題が生じてくると思う。彼等を間違いなく育成してゆくにはどうしたらよいか？教育に携さわる者自身が，その年令の時期を思いだして，青年期の心理傾向をたどり，温情をもって，ときには厳しいほどの愛情をもって接してゆくことだ。愛情のない家庭に問題児が生れる。

正直に手をあげたAの勇気をほめてやりたい。

**5月〇日**

1週間ぶりに彼等に合う，元気な彼等をみて本当に嬉しい。またまた問題の1人。Bだ。初恋か，ガールフレンドか，こころに触れたひとを遠く故郷に残して旅立ったBの悩みを監督（現在の舎監）に聞く，この問題をどう処理するか，かつての同じ年令の自分であったらと思いながら学習に入る。予定の学習も終り，少しの時間を利用して，何げなくこの問題にふれる。

「初恋は美しいものだ，愛する人がこの世に居るということは倖せではなかろうか，君達は社会に第一歩を

踏みだしたんだ，これからの人生にまた社会にあって種々な経験をつんでゆくのだ。何年か過ぎて想いでの人に巡り合ったときの喜び，その時にその美しい初恋の人に恥ない者になって居ることだ。自分という者を成長させるために努力を惜しんではならない。君達は現在の目標に向って一歩一歩進んでゆくことだ。そのフレンドが美しい対象であればある程努力すべきではなかろうか夢であってもよい，再び巡り合う日を心に画いて努力を続けて欲しい。君達は社会で独立するというのが第一の目標ではなかろうか。その目標に向って前進することが先ず必要だ。」

解った者，わからぬ者，頷ずいて居る者，首をかしげている者（一部の者には少し早いかも知れないが人間が一度は歩む途だと思ってそのような話をする）若き世代の彼等のこころの裡を思うというよりは問題に直面したBのために話をしてみた。

この問題も青年期に入った心理的傾向のあらわれである。性的感情，いわば異性を意識しはじめた傾向である。今後第2のBがでてくると思う，どのようにして善導してゆくか考えさせられる。

**6月〇日**

成績のよい者，悪い者，何故だろうか？

あらためて身状調査書をみる。

片親の居ない者が10余人，両親の居ないものが2，3人何れも恵まれない境遇の者が多いという不幸な人生を歩み続ける彼等に，少しでもこころの灯を点じてやりたい。

然し自分の運命を切り開いてゆくのは自分でなければならない。私自身の過去を振り返ってみてほぼ同じ途を歩んで来たような気がする。

これら若人に希望をもたせることだ。

「ペーパーテストにとらわれてはならない。また成績の良い者も自惚れてはいけない。成績の悪い者も悲観してはいけない。人間の価値は何か？技術者らしく，これを数式で表わすならばつぎのとおりではなかろうか」といいながら黒板に書く。

$$人間の価値=\frac{その人の一生に為した業績}{その人の境遇}$$

「ではなかろうか，人間が人間を価値づけることは無理かも知れないが，こうして入所した君達は，高校に入学した者達よりは恵まれた境遇でないことは確だ，この恵まれなかった自分の運命を自分で開拓してゆくより仕方がないと思う。毎週あるいは毎月のテストが行なわれて，どれだけ覚えたか？成績はどうかの一線が引かれたならば，一応これが君達の在所中の評価である。矢張りその目標に向って最善の努力を続けることだ。その努力がみごとな実を結ぶときが必ずある。希望をもって進んで欲しい」

納得したようだ。

この在所中の成績が彼等の一生に，つき纏わなければ幸と思う。

彼等の一生の業績の多からんことを念じつつ眠りにはいる。

**6月〇日**

またしても異性間の問題を聞く。Cだ。

遠く故郷に親や兄姉を残して旅立ったC，寂しさに耐えかねたか，やさしかった姉に甘えるつもりで駄々をこねていたところを監督にみつかってしまった。この監督者も楽ではない。50人の親代りとなり，これら現代ッ子の世話をしてゆかねばならない，この監督者も適切な処置をとってくれたことを嬉しく思う。心からの愛情で接し，またきびしいほどの規律，やはりあたたかいこころの裡に厳たる態度で育成してゆくのが本当の教育のあり方と思う。

教室に入る。Cの顔を何げなく見ながら一通り50人の瞳をみつめる。元気な彼等をみてホッとする。

そのまま授業開始。矢張り気にかかるC。予定より早く授業が終ったので残りの時間を生かすことにして，

「若きウエルテの悩み。この本を読んだ者が居るか？」黙っている。「君達の年令で一度はみてもよい本だと思う，ゲーテの不朽の名作である。若き日の美しい思いで，また切ないこころ，プラトニックラブ，悩み続けた若きウエルテルの純真な精神生活の極致を綴ったものである」

その後この本を読んだ者が何人か？何カ月かすぎて再び聞くことにしよう。

家に帰り本棚のすみからほこりに埋まっていたこの本を探し出して子供の枕許に置いて寝につく。わが子と同じ彼等の成長を自分の子とともに育てて行きたい，そして何年か後に彼等と再びめぐり合う日を思いながら……

**7月〇日**

気にかかる要員D。こころからの笑顔がみられない。彼も不遇に育った1人だ。両親が居ない，兄が親がわりになって育ったD。成績も良い。が，この無表情な顔に本当の笑いを与えてやらなければならない。

**7月〇日**

ようやくにしてDの笑顔が見られた，嬉しいことだ。Dにこの笑顔をもたらしものは何か？，スポーツ（テニスの上手な彼）かまた音楽か。成績のよかったせいか，1日1日と明るくなってゆくDの表情。立ち直って来た彼，若人らしい顔。その笑顔をみて講師としても本当に喜こばしい。

**8月〇日**

待ちに待った帰省の日が近づきつつある。約4カ月ぶりに帰る彼等，要員の顔を1人1人ながめる。

帰省前後の時間，彼等に何かを与えてやりたい。

黒板の文字は「目的」

啄木の歌を思い出す，石をもて打たるるごとく故郷を……というような悲しい思いでを残して離れて来た者が居るだろうかと，そうは思いたくないが。……「故郷の山河，親兄弟妹は，また幼な友達は君達の帰る日を待っている。故郷はさぞかし母親の愛情をもって君達を抱いてくれるだろう。しばらくぶりの里帰りだ，勉強のことは忘れてせい一ぱい甘えてこい，これが目的だ。しかし帰る日を忘れないように」

（故郷は遠くにありて思うもの，そして寂しく歌うもの）という者はないだろうか，またしても恵まれない彼等の幸せを祈らざるにはおられない。このなかで帰省しない者が3人，E，F，G，なぜだろうか？，この3人はみな大家族の家庭である。経済的か，また多勢の家族のなかに帰っても親の愛情がゆき届かないのか，この3人のこころの裡はわからない。私もそうであった。学業中ばにして故郷を離れたのが彼等と同じ年令だった，自分の運命をかなしみ，また親を呪いながら1人で千数百キロの広島へ，駅頭の母，兄妹，瞼を閉じると昨日のようにうかんでくる，刻，刻，遠ざかる街の灯を，……故郷の灯を何時までもいつまでもみつめながら……そのときの少年の日が懐かしく思いだされる。それからの3年間，働きながら，夜学のほの暗い灯の下で一頁，一頁電気の本を繰っていたものだった。故郷をはなれる時，自分自身に誓った言葉が，この3人の顔をみながらうかんできた。

「社会人として独立のできる日まで」と，帰らぬ3人のうち自分と同じ運命のものが居るだろうか，とも思ってみる。話をしてくれるときもあるだろう，聞く機会もあるだろう。

**8月〇日**

定時まで帰らぬものが3人，どうしたのだろうか，久方ぶりの帰省で食べすぎて，腹でも痛んでいるのではなかろうか，何か事故ではないのか，と心配したほどのこともなく，2人は戻ってきた。唯1人Hがまだ帰って来ない，遠いA県のH，まもなく電報が来た，「オヤビョーキスコシオクレル」この電文を信じたい信ずることだ。Hの明朗な性格，決して人の善性を裏切るような者ではない，うらぎられても，傷めつけられても，人の善性を信じて生きてきた自分であった。

待つことだ。

信じつつたたずむ水辺蓮の花

無事に帰ることを念じつつ床につく。

1日遅れて帰って来たHの顔をみてほっとする。やはりいつもと変らぬ明るい表情，信ずることの嬉しさ，この喜びは何にもかえることができないと思う。

「H，親が病気だったそうだが快くなったのか？」

「そのまま急いで帰ったのでわからない」と，その後知らせがないところをみると快方に向いつつあるようだ。ようやく安心する。

**9月〇日**

上期の教育も終りに近い，その効果はどうだろうかと考えながら教室に入る。

あと幾らも残っていないこの9月をどのようにして

過ごさせたらよいか，手綱をゆるめてよいか，締めてゆくか，ゆるめることはたやすいことだ。最後の月をよりよく有意義に送らせるには？しかしこの辺で6カ月の締めくくりをしようと思う。しさあと10日最後の頑張りだやろうネ｝一言いって授業開始。何かはりつめたような空気が教室にただよう，彼等は彼等なりに解っている。

家に帰り最後のテストを採点し，性格と行動の記録にペンを入れながら改めて6カ月間の問題？A～Hの歩んできた途を考えてみる。このA～Hはまた50人の姿でもある，日1日と成長を続ける彼等，今日の彼等は明日の彼等であってはならない，彼等とともに講師も成長しなければならないと思うのは私1人ではないだろう，教育に携わる関係者一同の念願であって欲しい。

今後Hの後，Iがでてくると思う。どこまで続いてゆくか？要員と共に歩み続ける所存である。

### あ と が き

この6カ月間に，要員とともに歩み続けた1講師として力たりなさを感ずる。せめて彼等要員のこころの奥深く，喜びも悲しみも一つに別ち，彼等のよき相談相手となりこころの灯台に，一筋の灯を点じてやりたい。

今後また10月以降の精神生活の記録を綴ってゆくことにし，将来発変電所の保守が全うできる彼等の姿を心に画きながら，関係各位のご指導を得て私に与えられた任務に最善の努力を続けてゆきたいと思う。

（駅頭に送る講師の肌さむし
　子らの思いは遠きふるさと）

この駄作は昨年12月，この記録にある第1期生を無事支所より巣立たせた日のものである。この教務日誌は37年9月末のもので種々の事情で発表せず，2カ年後にようやく発表する次第である。この記録が第1期生の目にとまれば，ははあと感ずる者も居るだろう，またあの先生は，余けいな神経をつかっていたんだナと，思う教え子も居ることだろう。要員は過ぎ去った新郷支所を偲びながら……私達巣立っていった要員1人1人の将来を思いながら当社の目的達成に向って邁進することを誓いつつこの拙ないペンを一応置くことにする。　（39．9　後記）

（社員養成所新郷支所）

## 欧米視察記抄（2）



藤井勝雄

### ニューヨーク

所要時間8時間にして太西洋を横断したわけだ。往年アメリカのリンドバーク大佐の太西洋横断が世界注目の的となったことを想起し，隔世の感に堪えなかった。空港よりホテルに至る途中は高級自動車のはんらんで，正に東京と同じような進行ぶりだった。ニューヨークは人口778万，ハドソン川の河口に位し，ニューヨーク湾に臨み，この国の経済文化そしてフアッションの中心地，所狭しと競いそびえる多数の摩天楼がアメリカの名声と富を空高くえがいて見せている。

ニューヨークは5つの区に分けられ，市の中心をなすマンハッタン島は長さ約20キロ，巾は一番広いところで約4キロ，市街はこの島を縦にほぼ南北に走る12のアヴエニューとこれと直交して東西に走る42のストリートによって規則正しく格子状に区切られ，別にこれを斜めにきって南北に走るブロードウェーがあり，日本の京都や札幌を思わしめるものがある。

ヨーロッパもそうだったが，この地の町名，地番は順序正しくきめられ，この点，日本のようにまぎらわしくない。

アメリカに来て驚くのは人種の多いことである。（50余種）特にニグロの集中度はシカゴについで全米第2位，100万以上におよび，市内のいたるところで見受けられた。白人との間に相当のトラブルをかもしているとのことであるが，この点，日本が人種的にまとまっていることは何よりも力強い限りだ。当日，黒人街視察の予定だったが，形勢不穏のため中止になった。

6月24日，9時ホテルを出発，折柄開催中の世界博見学に出かけた。相当大規模なもので世界各国の出品があり，見物人で足の踏み場もないほど雑踏を極めた。われわれは先ず第一に日本館を訪問した。日本館はあらゆる物産が紹介され，特に日立，東芝，三菱テレビに人気が集中していた。またレデーは真珠に購買欲をそそられ，自動車日産，コロナにも相当の見学者があった。会場内で盛岡市の佐羽内道子氏に会ったが，宮城学院出身者でこうした方が150人程館内で勤めている。

会場附近には茶室や大阪城の城壁をかたどったもの，また日本料理店などが設置されていた。

6月25日，9時，ホテルを出て，市内見学に出かける。バスはハドソン川に向い，同地でジョージ・ワシントン橋を見た。本橋はハドソン川にかかりマンハッタンの山の手と，ニュージャージー洲のフオートリを結ぶ世界第2の巨大なつり橋である。

国際連合本部はイースト川に面して約7万3千平方米を占める大建築物，ロックフェラーによって寄附された敷地に建てられた。これまでの摩天楼建築と違った矩形の建物だ。

マンハッタンの波止場から連絡船に乗り，ニューヨーク湾内のベドロー島にある自由の女神像の見物に出かけた。船は15分位にして到着した。1884年に米国独立1百年祭を祝ってフランスから贈られたもので，像の高さは46米，台石の高さ47米55である。像の内部につくられているエレベーターを使って，頭部近くまで登ることができる。そこからの眺望はすばらしい。

ニューヨーク市内は路上はきれいでなく，通行人中信号無視の者が相当多いのに驚いた。また，時計は不正確で同じ市内でも5分乃至10分位は違っているものが多く，時間の観念が稀薄のように感じられた。

6月27日，8時30分，TW機にて出発9時20分ワシントンダレス空港に到着した。

### ワ シ ン ト ン

空港につくと，モビル・ラウンジが横づけになりその設備はすばらしい。空港の待合室を移動して来たようなものは一驚を喫した。空港よりホテルに向う途中は，樹木の多いこと，道路の広いこと，高層建築の少いこと，非常に落ちついた清潔な都市という感じがした。各住宅街も芝生を以て囲まれ，またヨーロッパに戻って来たようだった。

ワシントンは合衆国の首府として，政治的中心地だけでなく，全世界における政治外交の重要な都市である。

市街は議事堂キャピトルの丘を中心に，街路が東西および南北に走って，ほぼ碁盤目状に区切られ，町名地番も整然としている。ホテルで少憩後直ちにキャピトル（議事堂）視察に出かけた。間口2米29，巾107米の大理石造りの殿堂で，建物は中央部と南北の両翼からなり，北翼は上院，南翼は下院で，本館中央にそびえている鉄製の大ドームは高さ地上63．57米その頂点を飾る自由の像は青銅づくりで高さ5.95米である。

ドーム下の大広間は大統領の就任式場となり，その天井や周囲の壁は建国の歴史の題材をとった壁画によって飾られている。

ホワイトハウスは，いわずもがな，大統領の官邸，閑静な環境に守られた質素な二階建で，その一部は一般の見学が許されている。日本の首相官邸の物々しい警戒と対照的である。

ワシントン郊外にアーリントン墓地をたづねた。ここは各戦役の戦死者万余の墓を始め，その他名士の墓が多い。中でも無名戦士の墓がよく知られている。ここでは儀仗兵が終日任務に服しその敬けんな姿に感激させられた。

この地域には前アメリカ大統領ケネデー氏の墓地もあり，参詣者は延々長蛇の列をつくり故人の偉大さを今更ながら偲ばせた。

タクシーに乗ったときの話だったが，ここではスピード違犯は45ドル（邦貨1万5千2百円）車検は4

年間不要とのことだった。

6月22日，10時50分VA機に出発13時58分バッファロに到着

**バッファロ**

この地は人口53万，エリー湖の北東にある工業都市。エリー湖の水はここから当市の西方を北へ流れてナイヤガラ川となり，有名なナイヤガラの滝をつくり，やがてオンタリオ湖に注いでいる。尚，ナイヤガラの対岸はカナダ領オンタリオ洲である。

6月29日，9時ホテル出発ナイヤガラの滝を見物にでかけた。ナイヤガラの滝はゴート島をはさんで左右に分かれ，その大部分は左に流れて本流となり，一部が右に分かれてアメリカ側の急流となる。真中のゴート島は美しい緑におおわれている。その巾は400米～500米あり，アメリカとカナダとの国境線上にあるので，左の本流をカナダ滝右のアメリカ側をアメリカ滝といっている。滝は50米の落差があり，しかも水量が豊かなので発電に利用されていいる。

アメリカ滝の下の絶壁中に口をあけた高さ約45米，深さ30米の風の洞窟や，カナダ側の展望台テーブル，ロック・ハウスよりのながめは，また一入の趣がある私達はカナダ側から出る遊覧船霧の乙女号上の人となり，渦巻く滝つぼに近づきスリルを満喫した。14時40分バッファロを出発15時45分シカゴ空港に到着した。

**シカゴ**

シカゴは，362万アメリカ第二の大都会で産業，経済，交通，学術の一大中心地をなしている。日本の大阪というところであろう。住民は白人の外ポーランド生れが一番多く。次いでドイツ人，イタリア人，ロシア人，中国人など一見人種展覧会場のようなところである。日系人も約2万5千人ほど住んでいる。

市内には3つの飛行場があり航空機の発着の激しいことは世界第一を誇っている。

6月30日，9時ホテルを出発，シカゴ郊外エバーストン町ベルナック村などを視察したが，これ等はいずれもシカゴのベッドタウンとして一大住宅街を形成している。こうした地域でも下水，水道，道路，ガス，すべてを網羅しているのには驚かされた。ただ一部に配電線の電柱だけが一寸目についただけである。

**サンフランシスコ**

7月1日，9時50分AA機にてシカゴ出発12時5分サンフランシスコ空港到着。

航空時間4時間であった。両地の時差は2時間である。シカゴよりサンフランシスコに向う飛行機は，ロッキー山脈伝いに飛び，眼下に見下す砂漠地帯，雪原地帯は，映画にでて来る，西部劇を思わしむるに充分であった。当地は気温は一段と低く涼しい位であった。サンフランシスコは人口74万，日本から米国えの玄関口で，1951年の対日講和条約もここで締結され，今後も日米間貿易の門戸として重要な使命を帯びている。午後3時に日本領事館訪問，和田領事に会見次ぎの談話を聴取した。

1. 地方分権の確立（地方の独自性が強い）

   例えば州の構成もカリフオルニヤは人口1900万であり，隣りのネバタ州は人口28万である。前者ではトバクを許可しているが，後者では禁止している。

2. サンフランシスコに来て市内に泥土がない。個人の住宅にも土がない。

   全市民一丸となって芝生の手入をやっている清潔な都市である。

3. 本市の発展に目覚しいものがあるが，未だ水不足を聞いたことがない。

   水の需給計画も何10年先のことを考えて実施している。ゴールデンゲートも今から30年前に建設，当時使用料として自動車1台1日25セントをとっていたが，今日では償却も済み1日20セントに値下げしたが，1日25万台で5万ドルの収入をあげている。

   アメリカ人の先見性には驚いている。

4. 最近自動車の急増に伴い，道路をつくっても追いつかない。パーキングも困難になって来た。鉄道建設に方向を転換する情勢にある。

5. 教育は六三制，全額公費支弁。但し入っても入らなくとも良い。



6. アメリカでは社会保障ということについては他国と違った方向にある。働けば必ず金になる。同時に食える賃銀を貰う。

   例えば芝生の草刈は1日12ドル3セント（邦貨4,428円）である。

7. 慈善事業はすべて民間の特殊寄附で行なっている。

7月3日，10時45分，WA機にてロスアンゼルスに向い，正午同地に到着した。

**ロスアンゼルス**

当地は人口248万西部第1の大都市でサンフランシスコ；シャトルと共に太平洋有数の貿易港である。

この附近はアメリカ稀に見る健康地で，1年中花にうずもれた極楽郷といって良い。また戦前からハリウッドの名で映画都市として全世界に知られている。自動車フオードの工場もある。

7月4日，この日はアメリカの独立記念日で一斉休業，9時にホテルを出て市内観光に向った。

市庁舎は白い32階の大建築で工費1千万を要したといわれる。フイゲロア街は自動車通りとも称すべき街で，自動車の新品および中古品の販売店が軒並にみられ，如何に自動車が広く普及しているかが分った。

ウイルシャー大通りは，高級アパートやホテル，商店，住宅が立ち並び合衆国中もっとも豪華な通りの一つである。従って自動車の往来繁くウエスターン街の交差点における1日の交通量は6万台に達するとのことだった。

ハリウッドは映画の都および流行の発祥地として，世界的に有名でコロンビア，パラマウント，ユナイテットなどの撮影所はここにある。

ディズニーランドは著名な映画製作者ウオルト・ディズニー氏が1955年7月ロスアンゼルス東南37キロメートルのアナハイム市附近に開設した遊園地である。魔法の国，おとぎの国，辺境の国，明日の国に分かれ西部劇でおなじみの駅馬車や月世界旅行ロケットに乗ったりして，大人も子供も楽しめる。外に食堂，売店，ショーの設備も完全で浮世の憂さが忘れられるところだ。

当日は独立記念日の関係もあり無慮数千を数える観覧者でゴッタ返しの騒ぎだった。

ここのドジャース球場はすばらしいもので収容人員5万8千名はともかくとして自動車台数2万6千台スタンドは白，赤という風に色別，これとマッチして入場券駐車位置がナンバー順に整理されているのには驚いた。

7月5日，9時20分，PAジエット機にてアメリカ本土と別れをつげ愈々憧れのホノルルに向った。

**ホノルル**

航空時間5時間にして11時20分ホノルル空港に到着した。両者の時差は3時間である。

ハワイは北太平洋の楽園で，美しい海岸線，熱帯の花々，レイ，フラダンス，ワイキキの浜辺などでその名を知られるハワイ群島である。

群島は20の島々から成り，ハワイ島が最大でわが四国の半分より少し大きい。それからマウイ島，オアフ島の順となる。オアフ島の面積は大阪府よりも小さいが良港ホノルルや真珠湾がある。

気候は熱帯圏に属するが，気候は海洋的でしかも貿易風がたえず海上から涼風をおくるので，盛夏でも30度を越えることはない。人口総数52万人で，その半数がホノルルに住み，人口の内訳はハワイ人が15％，白人33％，中国系およびフイリッピン系その他が20％，日本系が32％となっている。第二次世界大戦にはイタリヤに出征した二世の第442部隊の殊勲によって日系市民の信用が高まり，ハワイ議会上下院においても日系市民は大きな部分を占めている。

7月6日，9時，市内遊覧に出かけた。

イオラニモ宮は，ハワイ王朝時代の王宮で現在ハワイ政府の庁舎となっている。

王宮に面してカメハメハ一世の銅像がある。ワイキキ浜は市の中央から南東約5キロの所にあり，背後に火口の美しさを誇る休火山ダイヤモンドヘットがそそり立ち，海に映じて美しい自然美を誇っている。海岸には高級ホテルが立ちならび，その海水浴場は世界的に知られ，波乗りは豪快な遊びとして有名である。

パンチボールの丘は，市の中心部の東方にある死火

山で，高さ約150米，ホノルル市街が足もとに見おろされ，見晴しは非常に美しい。

またアヌ・パリは市の北東約11キロ米にある峠で標高360米，ここから見おろすオアフ島と近海のながめもまた壮大である。パリとはハワイ語で峠の意味で昔カメハメハ一世がハワイ統一にあたり，最後の決戦で敵を全滅させた古戦場である。

この峠の下，千仞の絶壁から吹き上げる風の風速は，実に世界第3位といわれる。

真珠湾は米国海軍のハワイ根拠地でホノルルの西方11キロ米，湾口はせばまっているが湾内は水が深く中にフオード島が横たわって，自然の軍港としての条件がそろっている。過ぎし太平洋戦争のわが海軍の特殊潜航艇の真珠湾攻撃を想起し，感慨無量なるものがあった。ここのショッピングセンターはまた豪華なもので自動車駐車台数2万5千台の収容力がある。東京白木屋の出店もあった。

**帰　　国**

7月8日愈々帰国の日である。午前中理髪，身辺の整理を行ない，17時30分（日本時間　9日12時半）JLジエット機でホノルル空港を出発したが，強風のためウエーキ島に一時着陸，21時15分無時羽田空港に到着した。

なお，今回の視察旅行は私として啓発せられるところ極めて甚大で，決してこれを無にすることなく，今後の市会活動に資する決意である。更に今後多くの同志諸君もできるだけご視察の機会を持たれることをおすすめすると共に，決して無意義でないことを附言し，併せて各方面から寄せられた数々のご厚情に感謝して報告に代える次第である。　　（仙台市議）

# 流　　行



門　間　　香

本年75才になる父親が，何十年ぶりかで東京への旅に出た。その時の様子を姪が写真入りで知らしてよこした。

田舎のじいさん，なかなかモダンよ。細いズボン。尖った靴。渋い色調。トップモードよ。

未だかつて流行になどのったことのない父親だけにびっくりしたが，体の自由な中に旅行してみるか，と日頃もらしていたから或いは一生一代の晴着とふんばつしたのかもしれないと思い当る節もあった。

家に帰ったとき，早速その新調のスタイルを訊いたら，昭和初期に誂えたという，スプリングコート。背広。靴。の三ツ揃で当時110円の骨董品であった。

流行は繰返すものだそうだが，30数年の周期で再流行しているかと驚異であった。

流行の広義は，社会的行動様式一切の側面であろうから，歴史とは人類の流行の記録である。といっても間違いあるまい。

しかし，一般にいう流行――はやりには何か軽薄さが感じられるのは，服装や歌などの流行がイメージに浮ぶからだろうか。

ともあれ私達は全て衣をまとって生活せねばならず。且つその衣は全て現代のものをまとうことを考えると，流行は全ての人にぴったりひっついているといえる。それは衣のみでなく，全ての行動様式に従っていることを考えると，流行は一種の圧制でもある。

流行に当る語を探してみると，ファッション，ファッド，クレーズ，モード，ボーグ等がある。流行がこんなに区分してあると都合がいい。

ファッションは常に女性の服装に用いられる所謂最新流行であり，同意語のようながらモードとなると，どこかに洗練された格調高い流行を感ずる。

4，5年前に熱狂的に大流行したフラフープ，ダッコチャン等はクレーズが相当しようか。テレビやラジオの流行語～のようよ，～ガチョン⁉とかは物好きなごく一部の者達にもてはやされるファッドであり，奇人達がふざけて流行させるのがボーグであろうか。

流行に点火し，流行が爆発し，流行が消滅するまでの行程は複雑であり，アイデア，環境，マスコミ等の影響を真向から受ける。

最も卑近に，〝短いスカート〟を例にとるなら，先ず現代にマッチした活動的なものとして発生したに違いない。それが好奇心ある女性達によって≪美しい足を見せたい≫自己主張に変えられ，そこにひそむエロチシズムが更に拡大を煽ったのであろう。

スカートとは短かいものである。という常識に到着したとき，それは最早，流行とはいえない。現代社会に通有する風俗の中にとけ込んでしまったとみる方がよいと思われる。

短かいスカートのアイデアは現代が要求した自然発的生な庶民の結集であったといってもよい。

衣をまとうのは，生活の実用価値であり，身体の保護であり，性や地位の表示である。現代のように暖冷房が完備し，地位の表示は不用であるから，性を強力に訴えることが必要条件であろう。短かいスカートがそれらを十分満足するだろうことは論をまたない。

服飾研究家のハースコピッツは，衣は恥らいと媚をまとうのもである。とうまいことをいっている。短かいスカートに見え隠れする名言である。

短かさ，には緻密な科学性や根拠があったとはいえないが，結果的には現代の要求にピッタリしたものであった。芸術的な流行は，ともするとその傾向が強い。突飛な発想が急激に流行を煽ることが屢々見受けられる。

それとは反対に，ガスライター，トランジスターラジオ，カレンダー付時計等にある近代社会の最先端をゆく，科学的水準の高い流行がある。計算ずくめの粘着力ある流行とでも呼ぼうか。政治，経済，社会様式等は，一切この部類に入る。

突飛なアイデアが流行の発端になるか，科学的創造が流行化するかは，全て大衆が決定する。

流行は，新奇にとびつく虚栄，他から目立ちたい欲望，人に遅れまいとする焦慮，大衆への同調，人間心理の弱点を去来する縞馬的根性を巧みに利用して生命を維持する。それはビールスの発生から消滅までの課程と似ている。

一見，とるに足らない風俗様式であるが，現代産業は流行を速かにキャッチし，その先端をゆかなければ発展は望めない。

シームレスストッキングは足が太くみえて嫌だと，多くの女性に毛嫌いされたばっかりに大メーカーが倒産寸前まで追い込まれる時代である。

電気産業のみは，流行とは無関係であろうはずはない。むしろ流行の総合がぶちあたっていると私はみる。

いとも単純なキャッチフレーズや，井戸端の主婦の話題が，いつしか原単位の向上になることなど最も身近な例とみる。

そしてもっと流行の心を探究することが，当社の発展に寄与するだろうことを思う。

（宮城支店古川営業所）

ルポ

# 地熱発電

大林しげる

轟音をあげて，火山の噴煙にもまがうばかりに噴きあげている蒸気。まるでホトケさまがバカに教えている地獄のナントカのヤマのように，恐ろしいばかりの情景。オレの立っている地面の下に，こんなにも巨大な蒸気をつくっている釜があると思うと，気の小さな善人の私は気が遠くなるばかりに驚いた。音は耳をつぶさんばかりに大きいし，蒸気の煙りの向こう側はまるっきり見えない。すさまじいいきおいでモクモクと噴き上げているのはまさしく蒸気なのに，蒸気という慨念は吹っとんで，ケムリという感覚。そばに建っているボーリング小屋は音のためにふるえて小人のよう小さいし，噴き上げる口にしているドラムカンは意外に小さい。そのケムリは20mも離れて見ている私の空を覆って，さすが下界を照覧する太陽サマも，その権威をさえぎられたようにうす暗い。それに，ケムリの蒸気にたえずまきこまれ，いやおうなしにアタマからそれをかぶっている樹々はふるえ，そのいきおいは地軸をゆるがして，いまにも地面を引き裂かんばかりの感じだ。そこに立っている時の私は，もはや列車のなかで拾った甘い感傷も旅のたのしい解放感もケシとんで，ただおそろしさ，ただ巨大な自然のエネルギーにおそれおののく1個の動物になった感じだ。——

これは岩手県松川の地熱開発現場を見ての，私の率直な感じである。私の旅は東北の新しいエネルギーを取材するのが目的だったが，その現場を見ての感懐はひと言でいえばおどろき，そのほかは百万言をついやしても表現できないほどだ。それまでとそれ以後の旅はまるで快適だっただけに，地熱開発現場の感懐だけはあとから考えてみてもハダにアワができるほどだ。

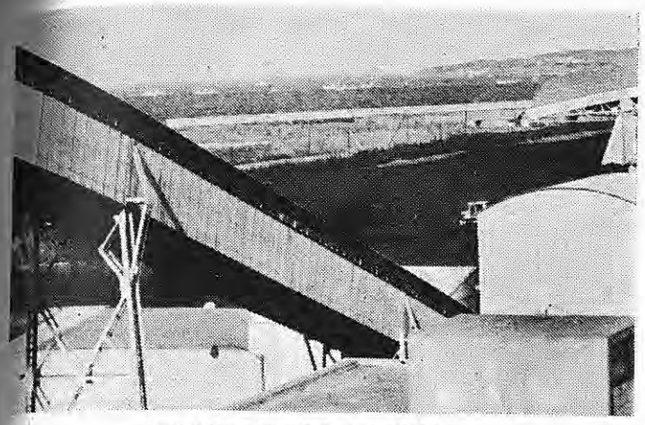
私の旅は塩釜港の，塩釜海上保安部の桟橋が出発点であった。前の国鉄技師長島秀雄さん夫妻と当時国鉄東北支社長だった矢山康夫さん一家，それに国鉄東北支社の清水調査役ら幹部たち一行に加わって，同保安部の巡視船〝みやけ〟に便乗，川島利美船長が「こんなにないだ静かな海はないほどだ」と感嘆したほど，静かで晴れた海上を，金華山の外洋を回り，陸岸から約2キロの沖合いを北上した。船が大きいためあまり接岸できず，2キロ前後の沖合いを航行する船上からは，リアス式海岸の景勝をじゅうぶん観賞できなかったが，はるかに海から眺める陸中海岸は，船の右側にひらけている大洋の広さと対照的で〝おかしさ〟があり，救われた[illegible]れしさを感じた。

[illegible]れ味，すばらしく回転の早いア[illegible]，果断で有言実行を表明してい[illegible]



1　号　井





八戸火力屋上から見るイカ船団

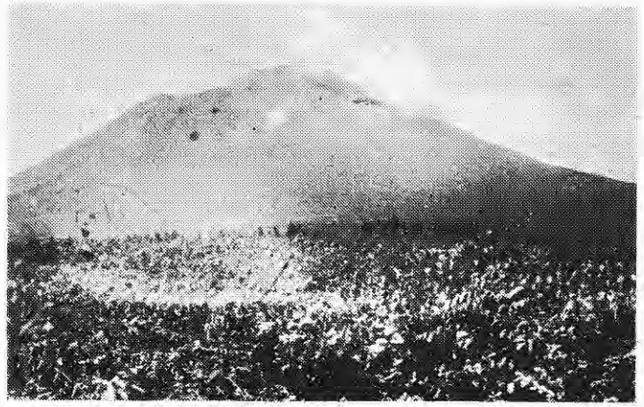
る矢山さんの人柄にじかに触れている感覚が，まず私をうれしくしたし，ふしぎな海のうねりと濃青色の潮の色や果てない広がりが気分を爽快にし，左側の陸地が，いつもは感じたことのない頼もしさのいろどりを見せているのは，オゾンを吸って空腹感を感ずるからだになったことよりも，さらにデッかいよろこびだった。

上陸した宮古港の夕景では，その夕景のなかに浮かび上がっている浄土浜の白さがものの化のようだった。泊まった宿のサービスの悪さは旅ならではの感じ。期待した美人もいないようだと多少がっかりしたときに停電したので，停電と旅館のサービスの悪さ，不美人だらけと悪条件が重なってすっかりめいった気分になったが，わが愛する東北電力の宮古営業所の努力の結果，電灯がついたときは地獄にホトケのような気分をいやというほど味わった。需用家サービス，安定電力供給，無停電対策の強化といっしょうけんめい努力している前線の電力社員が，ついホロリとなるくらいあわれになった。ひとがやすむ時間にやすめない仕事の性質は，新聞記者という職業のわが身につまされたせいもある。

宮古から盛岡を経て八戸火力発電所を見た。八戸小唄が湧き出るのをきくようなたのしい気分で日曜日の同火力を訪れたが，ここでは庶務課坂内行雄副長にたいへん世話になった。坂内さんは昨年まで福島県内につとめたということと，民友福島本社編集局にいとこがいるということなどで，身内も及ばぬほど世話をしてくれた。ここでも私はたいへんにたのしい思い出をえたわけだ。はるか鮫の港を望見し，百余のイカ釣り船が出港してゆく夕景をみたとき，その壮大さと美しさにうたれ，北の港のさびを感じた。

朝8時半，盛岡支店に行き総務課から管理係に回された。ここでは，同係の久保さんと盛岡営業所長の田林豊治郎さんの案内で，問題の地熱開発現場へ向かった。私たちを乗せた営業所の車は盛岡市から北回りで岩手富士を左手にみながら一路八幡平登山口へ。国道4号線をはずれて県道にはいってからは，とてつもないデコボコ路面になやまされたが，珍らしく雪の少ない夏空に恵まれて，わずかに首のあたりに白雲をまきつけた岩手山を見ることができたのはしあわせだった。佳人の横たわった姿のようなやさしい陵線がくっきりと浮かんだ裏側の岩手富士はふと郷愁のおもいをかきたてる。

地熱開発現場は松尾鉱山職員の社宅地区をすぎて，松川温泉地区にはいったところ八幡平の登山口付近だ。蒸気を噴きあげている現場の1号井は，温泉旅館



白雲のストール・岩手富士

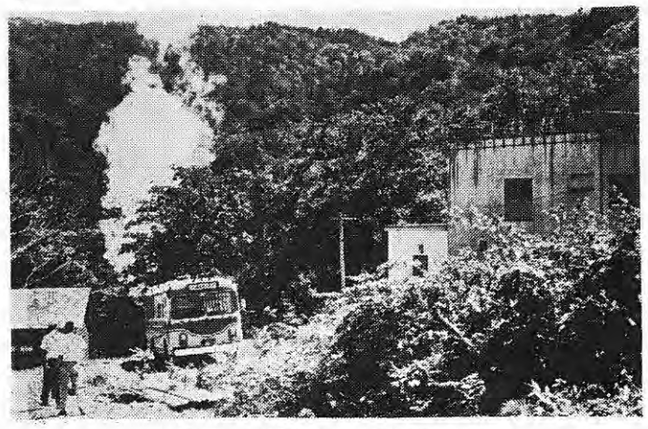
のすぐそばにある。1秒のたゆみなく噴きあげる蒸気と，地軸をゆるがすような轟音のため，その温泉旅館は開店休業のありさま。せっかく八幡平登山の名物がふえたのに，旅館の泊まり客はゼロになったわけ。おそらく工事現場の人たちのお休みどころになっているのだろうが，勤務している女中衆も，この音にはトコトンまで痛めつけられていることだろう。現場をみたのが昼どきだったので，その旅館でひと休みし，ひるめしなどにありつこうと考えて交渉したが，あっけなくことわられた。



地熱開発地区は温泉郷

9月24日の東北原子力懇談会で平井電力社長が「将来，東北の電力は現在の数倍の消費量になり，当社の原子力をふくむ火力発電力の全発電力に占める割り合いは，現在の40％から70～80％になろう」と東北の現状と将来の展望を説明したが，電気エネルギーの生産は日本の将来を左右する問題。37年現在の消費エネルギーの構造は水力約20％，石炭33％，石油43％，天然ガス，炭，まき，亜炭などのその他が4％。それは47年になると水力13％，石炭17％，石油67％その他3％になる予測で，とくに石油の量は現在の3.81倍になる。そしてそのエネルギーの約20％が電気エネルギーに転換されているが，電気エネルギーとして消費されている総量は全消費エネルギーの40％を占めており，10年後には約2倍半にふえる消費エネルギーになる予想であるという。

松川の地熱を直接電力生産のエネルギーとして用いようというのは，こうした事情が背景になっている。ここの開発は新技術開発事業[illegible]化工が行なっているもので，1号井は[illegible]，2号井は8月1日，轟音とともに[illegible]それいらい気圧80～90，摂氏140度ていどできれめなく噴きあげつづけている。東化工は来年までに3，4号井を掘り上げ，41年までに発電設備を完成して41年8月から本格発電をする計画だ。蒸気の質は東化工の八幡平地熱開発工事事務所さく井課長代理片桐邦雄さんによるとタービンを痛める酸度が少なく，地熱が無限であり地下水源も無限だから蒸気は無限につづくという。


2号井―右は開店休業の温泉旅館

1号井は地下945メートルから毎時25トンずつ噴きあげて地下部分の温度290度前後。発電力にして約4,000KWは十分。2号井は地下1,080.3メートルから噴き上げ，地下部分の温度300度，外気にふれた段階で140度。1～4号井の蒸気で2万KWの発電を当初計画としているが，将来は5～6万KWの発電にするという。調査費をふくむ総事業費は約4億円。うち2億5千万円は政府資金の融資で優遇されているから，東北電力からみればうらやましい話になりそうだと思った。さらに発電コストは1KWH当たり1円80銭から2円ていどときいては，計算に弱い私もウーンとうなったし，いっしょの田林盛岡営業所長もうらやましそうな表情。

日本は現在，全消費エネルギーの半分が輸入エネルギー。10年後には現在の動向のままだと72％を輸入エネルギーに依存しなければならず，輸入エネルギーの大宗である石油は経済性に富んでいるといっても外国の生産品だから永久に安定しているわけでない。この地熱開発が成功すれば，東北には多くの地熱資源が賦存しているといわれているだけに，ちょっとした地熱ブームになろうと考えた。1号井のそばで話し合うことばは，ノドが裂けるほどのドラ声をハリ上げてもききとれず，現場を背にして帰りかけた私たちの頭上へ蒸気が覆いかぶさるように広がり，流れる雲の影のような蒸気の影が足許を次々にすぎ行く。

現場から盛岡営業所までの2時間半，車のなかで凄まじい蒸気をみての興奮がさめず，道すがらの話題は地熱の話ばかり。途中，田林さんが「ここは営業所の管内だが電灯はつかない地区。だがこんどは電灯がつくようになるかも知れない」とポソリといった。その夜私は，旅行の最後の目的地である東海村へ向けて盛岡をあとにした。（民友宮城・詩人）

## スポーツ的サラリーマン生活
### プロ野球選手の打率とチューインガムの関係

近藤唯之
（スポーツ評論家）

水原（東映）鶴岡（南海）西沢（中日）たちは試合中，コーチス・ボックスに立つ。

逆に藤本（阪神）三原（大洋）らはダッグ・アウトにすわる。

さて，どちらがいいのだろうか。生理学的に解明してみよう。

筋肉の中には筋紡錘（きんぼうすい）という情報機関がある。1ミリから2ミリの小さい感覚器だが，筋肉が運動したり，緊張したりすると，さかんに大脳へ信号を送る。この信号が絶え間なく発信されているとき，頭はスッキリしているわけ。

ところがこの信号は立っている状態を100にすると，木のイスにすわっているときは「50」に減り，フワフワのイスでは30に落ちる。

だから，監督はダッグアウトの木のイスにすわるより立っていた方が，明快な作戦と推理ができるわけである。

話は変るが選手がチューインガムをかみながら打席に入るのを禁止した球団がある。巨人軍だ。「伝統ある巨人のすることではない」との理由によって――。

ところがここに意外？なデータがある。第二次大戦のとき，米陸軍は実験の結果，「歩しょうに立ったとき，チューインガムをかんでいた場合は前後左右への注意力が行きとどくが，かまないと前方だけで後方への注意力は散漫になる」。

チューインガムをかむと，咬筋（こうきん）の収縮をくりかえし，脳へさかんに信号が発信されるからだ。大リーガーがさかんにチューインガムを咬むのも，ここに理由があったからである。

話題を変えてサラリーマンの「会議」に視線を移してみよう。

どこの会社でも「会議」室といえば，四角な大きなテーブル，まるで重役室のような，ゆったりとしたイスが待ちかまえている。

これではダッグ・アウトにすわる，監督同様で，明快な解答，アイデアなど，出るわけがない。筋紡錘までが一諸になって眠ってしまうからだ。

総評のあるベテラン闘士はこういっている。

「徹夜の団交に勝つ秘けつは，すわり心地のいいイスにすわらず，木のイスか，相手側より堅いイスにすわることです」

これは体験的に「筋紡錘」の存在を知った言葉かも知れない。

「会議」中はチューインガムをかむことを許す会社はまずないだろう。

「会議にコーヒーもいらない――」

こういう方向に最近は傾いているらしい。が実態はごらんの通り。

背広にネクタイをしめ，ゆっくりとしたソファーに身を沈め，しかもコーヒーも飲まない会議，少なくとも表面は日本的でありながら，中身はこれほど非生理的な話はない。

現場のコチコチのイスに腰かけ，筋紡錘の発信信号をさかんにし，なお，チューインガムを口にしながらの話し合いこそ，合理的なのである。

「脳の働らきそれ自体と人間の集団とは違うき」という方に次の話を提供しよう。

「七ケタの数字を暗記させる。15分たつと下三ケタ，8時間たつと下五ケタは忘れる。これが人間の基本的な忘却曲線です。つまり，いくら緊張しても，かしこまっても脳とはすぐ忘れてしまうもの」なのである。

そういう人間の，「悲しい」脳の構造を無視，練習に練習を叩きこみ，その結果，失敗したのがチューインガムを禁止した川上監督なのである。

さあ，私たちは「脳の構造」にしたがって野球をし，毎日の仕事をしようではないか。

# 寿命と食生活

## ―短命村の生活と食事―

飯塚律子
（フード・アドバイザー）

実りの秋です。今年は昨年にくらべてお米はおよそ20万トン位多いとか……。

新米がおいしくてつい一膳，二膳と食べ過ぎてしまいますが，〝白いご飯〟の大好きなあなたに短命村の食生活のお話をしましょう。日本一短命なところは東京，次が大阪ですが，この二つの都市は交通事故やストレス，年をとると田舎へ引っ込むなどの食生活以外のいろいろな原因があるので，例外としました。では日本で一番短命な県はどこかというと，北海道，青森，秋田が長寿率（70才以上が100人中何人いるか）2.4%で最低。中でも秋田は日本一脳卒中の多いところで，特に男性は長寿率1.9%なので秋田が日本一短命な県ということになります。秋田は北海道，新潟についで日本で第三番目の米どころ。お米が主な収入源で県全体は裕福ではありません。

気象は寒暖の差が激しく，その年間格差は北京の31度についで第2位の26度。非常に生活しにくい環境です。

**秋田県雄和村の生活**

雄和村は秋田県の中央部にあり，村の中央を雄物川が南から北へ流れています。気象は積雪寒冷地帯で1年の3分の1以上は雪につつまれ，年平均温度は10度，夏は湿度が高く気候には恵まれていないところです。秋田県の中でも雄和村はいちばん脳卒中が多く，高令者の少ない村です。

この村は1戸当り135アールという零細規模の農業経営で，生活は非常に苦しく，しかも働き手である夫が出かせぎに行ったまま帰ってこないという例がよくあるそうです。おじいちゃん，おばあちゃん，おかあちゃんといった〝さんちゃん農業〟の悲劇から自殺もしばしば起こります。

**白米主体の食事**

生活が貧しく労働が激しいので，自然塩からいものでご飯をいっぱい，おかずはほんのわずかという食生活になってしまいます。ある家庭の一日の食事を見ると

朝　ご飯3膳，漬け物，みそ汁2
杯　昼ご飯3膳，さんまの塩やき，漬け物
夜　ご飯3膳～4膳，みそ汁，フナの煮つけ，つけもの，おしたし

これでは殆んど酸性のものばかり，しかも蛋白質，カルシウム，ビタミンC，$B_1$ などはぜんぜん不足。ご飯だけでカロリーを補なおうとするので，どうしてもご飯をいっぱい食べてしまいます。全体の食生活は野菜が少なく，特に冬は新鮮なものがなく塩づけにしたものばかりなので，ビタミンCやカロチンは非常に不足します。その上保存するためになんでもかんでも塩づけにするので塩分は過剰です。

果物はリンゴが産地なのでリンゴはよく食べますが，買って食べるということが少ないので他の果物はあまり食べてはいません。1カ月間の栄養調査によると，肉類は2 3世帯のうち豚肉をたべたというのがたった2軒。それも農家ではなく，教員の家庭だったとのこと。比較的食べられるのが鯨肉，魚肉のソーセージ，塩づけにした魚など，魚は焼くか，煮るという調理法が主で，新鮮なおさしみはまず食べてはいません。ですから新鮮な良質蛋白質が非常に不足なので，老化現象が早く現われます。子供のおやつはビニールの袋に入った色つきジュース，おせんべい，駄菓子，安いアイスクリームなどで栄養的にはプラスになるどころかかえってマイナスのものばかり。秋田県は脳卒中が全国で第一位で短命である理由は，このような貧しい食事と偏食，また秋田の人は酒をたくさん飲むことも原因しています。むかしは一升飯に一升酒はあたりまえだったそうです。ドブロクも良く飲まれていました。お酒とご飯に塩辛いつけもの，塩辛いみそ漬け，魚の塩から，塩魚，塩辛いみそ汁というように，塩分をとりすぎていることなどが，大きな原因ではないでしょうか。50代，60代に起こる脳卒中が秋田県では30代から危険信号で，老化現象の現われも十年は早く40代，50代でもう農村の男性は生気のない疲れた顔をしています。





女の目

## オリンピック実況放送をみて

紺碧の空の下に，飛行機で5輪マークが描かれると，やっとオリンピックが来たという感を深くした。民族の祭典などと騒がれたベルリン大会の頃がなつかしく思い出された。

あのあと開会を予定された東京大会は，戦争のために中断され，そのあと何故か日本ではオリンピックは永久に行なわれないような不安が，中年の我々にはいつまでも残っていた。今の若い世代には理解できないことかも知れない。それだけに我々には開会式の模様がテレビを通じて映し出されてくると，涙を流してその感激にひたった。天皇陛下が終始御起立で，94カ国の選手の入場にうなづかれていた御姿は，我々日本人の胸をあつくした。

カラーテレビがこの日のためにつくられたように，その威力を発揮していた。それだけに各競技が進むにつれて，金メダルと共に掲げられる日の丸の旗の少ないのを残念に思った。前畑ガンバレの名アナウンスと共に水泳王国と自負した日本が，この競技で惨敗したのは淋しかった。優勝した外国選手たちの年令が，15才16才ときいて感を深くした。こんな若い人達が世界の王座を築くのは，単に幸運なのかと思ったら，そうではない。インタビューのはなしを聞けば，何年来，いや前のオリンピックよりまだ前から練習にはげんでいたという。うべなるかなと感じた。

勝つことでなく，参加することに意義があるといわれるオリンピックではあるが，やはり競技ともなれば，その勝敗には血湧き肉躍るのを禁じ得ない。しかし，またオリンピックの意義を身を挺して守る選手たち，1万米で，他の選手の走り終ったあと，ひとり残って堂々と完走し終った選手には，惜しみない拍手をテレビで見ながらも送ったことだった。この光景は自他ともにたのもしいものがあった。特に18才，22才，26才と3度オリンピックで連勝した選手の態度には学ぶべき多くのものがあった。このように数々の競技を通じて，各自がオリンピックでいろいろ学んだということを自覚することもオリンピックならではでなかろうと感を深くした。

15や16の若者たちが，力いっぱい競ったあと，あの表彰台に上ってメダルを首にかけてもらう時，みんなの溢れる感激を身体一ぱいに現わしている。涙をながし頬をゆがめている顔をみた時，健康なもののみ表彰の喜びというものを知った。

それを思いこれを思うと，これらの人達と同じ年代の非行少年少女の顔が思いだされてならない。何時の時代，何処の国にも現われる若いものの現象であるといってしまえばそれまでだが，これはまた，何という違いであろうか。彼等はオリンピックのテレビの前に坐ったこともあったのだろうか。是非ともそういう機会を持って貰いたいものである。そして若い世代の同じ年代の若者としての情感が，何か共感をもたらし少しでも反省してくれはしないかと祈りたいのである。

**詰将棋解答**

**解　答**

（**正解手順**）1一角　1三玉　2二銀　1二玉　2四桂　同歩　**1**三銀成　同玉　3一角成　2三玉　2二角成（十一手詰）

（**解　説**）初手を3三角打は3二玉、3三銀は2一玉で失敗となる。

1一角が名手、同玉なら3三角成で早詰。1三玉とかわすよりない。そこで2二銀と俗に迫り1二玉で続かないようだが、2四桂同歩　1三銀が好手順で美事に4二角を活用出来る。

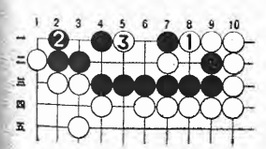
なお初手の1一角に2一玉は、1二銀　3二玉　3三角右成の順で詰。

持駒　角・銀・桂



**詰碁解答**

**正解**（白先黒死）



白1と突当り、黒2のときに白3とつける筋で黒死となります。3の白が取られないところに眼を止めて下さい。




## ――稚魚を求めて――

内田恵太郎 著

日本の水産業は世界第一級として広く海外にも知られており，漁船は遠く世界中の海洋へ出かけている。しかし，漁業上の国際問題は各方面で難行しており，将来さらに問題が広がることは避けられないところであろう。

一方，国内の沿岸漁業についても，年々不振の声が高く，漁民の生活に暗い影を投げかけている。

これらの問題は，政治的解決に負うところが大きいのだろうが，水産資源の減少も事実として否定できないところであろう。

そこで近年，魚類その他水産物の繁殖または生活史の知識を基礎とする産業施設や企業が目立ってきている。

即ち，獲る漁業から作る漁業への転換である。

コイや金魚など鑑賞魚の養殖はかなりの歴史をもっているが，水産業として，養殖企業は比較的に新しいものだそうである。

これらの養殖企業は，魚類の生活史を究め，これを人工的に殖やしてゆく方法であるから，まず，魚類の生活史の十分な把握が，前提となる。

著者は，水産学，特に魚類の生活史，生態学の専門家であるが，この本には，余り面倒な専門的なことには触れておらず，著者が研究に着手するに至ったそのきっかけ，およびその展開等，研究生活の自伝的なものが中心となっている。

少年時代を城ケ島で送り，夏は潮だまりに取りのこされた小魚を追いかけたり，流れ藻にまつわりつく稚魚の姿に目を見張ったり，或いは，漁師の子供等と一緒になって海底にもぐり，魚を突くなどして，魚に対する興味が育くまれて，とうとう学究生活に入ったとのことである。

ところで，著者の専門分野に当る魚類の生活史の研究対象には，ごく，われわれの身近かな魚が色々と採り上げられている。

魚屋の店先に並んでいるのは，いずれも成魚だが，しかし，その魚の生活史を知るためには，まず卵から成魚に至るまでの各段階の発育状況を把握しなければならない。

親に似ぬ子は，鬼っ子などと言われるが，魚の場合，稚魚，若魚，成魚は外見では全くわからないものも随分あるらしい。

しかも，成魚と稚魚の生活環境も違っており，その海の広さは申すまでもないのであるから，稚魚を捕えて一体どんな魚の稚魚かを判定するのは非常に難かしい。

ヒラメ，カレイは稚魚の頃は目が頭の両側に夫々1個ずつついている。ところが成長するにつれて，一方の目が他方へ段々と異動して反対側の目のところに落つく。それにつれて体色も黒白が明白になり，体つきも，平たくなってゆくのである。

また，フグは何故ふくれるかということについての論述があるので一寸紹介してみる。

第1には威嚇説，これは外敵をオドカスために自分の体をできるだけ大きくみせようとすることである。

第2には，漂流説，これは空気を吸い込んで海面に浮び，波や風によって遠い異国へ旅をするためだという説である。

第3には，補助呼吸説で，潮だまりに取残された場合干潮で水が不足したときに，腹に溜めこんだ空気を少しずつ呼吸の助にしょうとするのだとする説。

第4には噴水説で，一旦腹に溜め込んだ水を噴水作用で強く吹き出し，その水で砂の中の餌をさがすとする説。

以上四つの説のうち，最も妥当性のあるのは第4の噴水説でフグ類はいずれも噴水が上手だそうである。

こんな具合に，われわれにおなじみの魚をテーマにその生態や生活史を判り易く説明しながら，その産業化への示唆を述べている。

釣好きな人などには殊に興味深く読めるものではないかと思われる。

写真，図版もこの種の本としては豊富である。

（岩波新書 150 円）



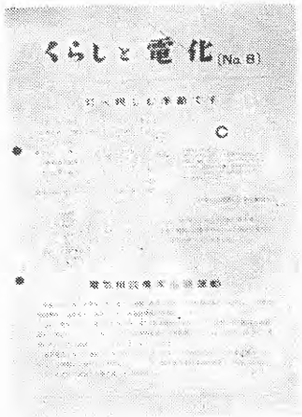
## 店所PR誌紹介

### くらしと電化 No. 8

福島支店営業課発行

このPR誌は社外向けで，家庭電化講習会などで参加者に配っているもの。B5判8頁の上質紙で，年4回発行，2色刷の立派なものである。No. 8は9月発行で，灯火親しむ候にちなんで1頁にランドルト氏環というものをのせている。「このCの形をした記号の切れ目が5mの所で見分けられ，それより小さい切れ目を見分けられない時の視力を1とします」とある。アイデァはいいが，も少し親切に「あなたの視力を調べてください」とか，あるいは少しくどいが，視力1以下の人には何ルクスぐらい必要だから，何ワットのスタンドが必要とか，実用と結びつける配慮がほしいところである。

2頁に「ひととき訪問」の記事があって，これは毎号各層の人にインタビューして，いろいろと話題を拾っている。もちろんぬけ目なく電化製品のこともとり入れているが，9月号は福島市のデパートの寝具，電気器具の担当者に当っている。この訪問記は，なかなか面白い内容をもっている。寝具の売場の人は，このごろの気質というか「結婚後にお揃えになるよりか，この際一挙にという若い方が多いようですね。ですからわたしたちは商品研究をもっともっとやって，いわば売る立場よりも，お客様の相談相手になっていくという心構えが大事になると思います」と言っている。これは現場の体験から得た貴重な発言というべく，サービスというものは，デパートも電力会社も本質は同じなんだな，という感じがする。商品研究と相手の立場でものを考えるということは，電力の場合はどういう方面に電気を使うものがあるかという，いわばマーケットリサーチが，本当のサービスにつながるというわけである。さらに電気製品売場の人は「お客さまには一応高額耐久消費財ですから，例えば電気冷蔵庫の場合など，将来の家族計画などもお聞きしながら良いものをおすすめすることが大事だと思います」という




ことを言っているが，これも悪くいえばおせっかいなことであるが，ゆきとどいたサービスといえよう。冷蔵庫などは家族がふえるたびに買うという性質のものでないし，結婚した人はいつまでも2人でいるわけではないから，そこまで考えてやるのが本当であろう。この2人のデパートガールは，なかなか熱心な店員で，仕事に一生懸命に打ちこんでいる態度が好ましい。インタービューする側のきき方も巧みである。

5頁には「10月10日は眼の愛護デー」という見出しで，福島医大の医師に眼の衛生についてきいている。問いの方を色刷にして区別してはいるが，これはむしろ小見出しをつけて内容を示してある方がよみ易い。この見出しをつける作業というものは厄介なものであるが，一方編集者の腕の見せどころでもあり，短いフレーズで内容を適確に表現することは読者へのサービスでもある。

7頁には「くらしの知識」として「コードのはなし」がある。コードの種類や用途について図入りで説明している。コードは電気器具の宿命のようなもので，とかく邪魔にされるものである。この記事も単なるコードの説明に終らせず，コードのまとめ方とか，いらない部分の整理のしかたなどを説明したらもっと役に立つ記事になったと思う。

このパンフレットは季刊だから季節の話題をもっととり入れた方がよいと思う。8頁に「木の実の栄養」と「サンマのかばやき」の記事があるが，こういう記事をもっと充実すれば季刊らしいものになるのではないかと思った。

少し不満を言えば見出しがどれも同じ大きさの太ゴジックで単調である。記事によって大きさや字体を変えるという工夫，カコミ記事を作るという工夫なども必要だろう。しかし，写真植字なので紙面は美しい。

平　　宮　小松里草

待つあるを期す風鈴の鳴りにけり
歩みいし天道蟲のとび去れり
兜蟲ゆつくり歩き出しにけり
　沼沢沼G　薄　　小枝子
赤々と墓へつづくか曼珠沙華
うしろより追い打つ如き秋の風
　秋田営　渡辺　としゆき
高原に匂うきすげや霧こだま
岩高蘭に露おく雲も夏深し
　岩　支　及　川　酒　童
只管打座すすき穂むらの炎え冷ゆ
仲秋や地震の山河のおもほゆる
　水沢営　安倍　守
蒲の穂に見えて寒風山近し
緑陰の羽黒の茶店の力飾
　水沢営　佐藤静雄
膝枕の吾子を叱りし夜長かな
みどりごの髪にとまりし赤トンボ
　水沢営　千葉主計
熟れぬまま南瓜残して移り来ぬ
促して無月の空をたしかめぬ
　石巻営　鈴木螢雪
夕月夜琴の音洩るる女坂

旧家なる白壁くずれこぼれ萩
　長井電　中村謙太郎
大向日葵壮かん鼓笛の音近かづく
出水跡浮樽ころがす赤トンボ
　古川営　永井貞子
襁褓干す雨後の陽眩し秋めけり
袖ぬらす真野のみささぎ霧深く
　白石営　保科辰男
涙溜めしごとく露草露もてり
子の風船バスに大きく秋祭り
　須賀川電　国分甲二
風鈴に暑さを託し母老ひぬ
風鈴に慰められし暑さかな
　南仙台変　前田欣一
新築の友をたずねし萩の丘
台風の予報を記し宿直かな
　長岡営　佐伯芳枝
をみなへし花こぼしたる青畳
秋草の祭ちやうちん雨に濡れ
　柏崎営　白井牛歩
台風の過ぐればつねの妻歌ふ
稲架襖若き巡査が靴鳴らし
　柏崎営　今井トモ子
夕焼や子守りする子の蔭長く

ねむる子のしかと握りしどんぐりこ
　高田営　後藤柏峰
秋霖に見ゆるものなし沼明り
垣長く花の木槿の暮しかな
　高田営　松原江月
火取虫妻まじろがず点字打つ
簗番の冷えは口実酒交す
　高田営　丸山由里子
幾山河越えて松島月の宿
虫鳴くや月は峠の向う側
　高田営　滝沢ふみ
越の里ひと丈高き稲架屏風
一望に高原野菜赤蜻蛉
　高田営　江川志津
放牧の高原夏の薊咲く
高原の野いちご摘みて休憩す
　秋田営　田代儀輝
聖火迅し紙吹雪地を追う秋日
　水沢営　阿部雅守
蟬一つなほ鳴きやまぬ秋の暮
　水沢営　梶川菊男
牛形や麓の湯宿蟬時雨
　水沢営　蔦川修平
露に濡れ冷えし我臓抗を打つ



# 雑詠鑑賞

遠藤梧逸

煙うすく大夕焼の発電所　　島崎埋火

発電所といわれると、すぐ山間の水力発電所を思い出すが、これは火力発電所であろう。作者は八戸火力発電所の勤務であるから、間違いはあるまい。

一誦、まことに雄渾な句である。広い港いっぱい夕焼けている只中に、堂々とその偉容を誇っている発電所は、たのもしい限りであろう。

夏帽を被りなほしてリフトの娘　　浅田哲伸

リフトというと、以前はスキーリフトを思うのであるが、近頃は、サマーリフトが普通になった。「夏帽を被りなほして」という表現は、サマーリフトのありかたを語ると同時に、女性というものを巧みにキャッチしている。全体としてすっきりした明るい味も好ましい。

ストーブの吹き返す火や夕野分　　大山清雲

野分は「颱風のやうに雨を伴わない秋の強風である、野も草も吹き分ける程の風ということでこの名がおこった」と歳時記に記されている。野分の吹きすさぶ頃は、東北の山地ではもうストーブを焚くことが珍らしくないであろう。

煙突から吹き込む風が、ストーブの火が逆に吹き出すとは珍らしいところをつかまえているが、いかにも外吹く風の強さを思わせる。室の中には外に人もいないのであろう。寂寥感がつよい。

秋雨や街行く神父聖書手に　　鈴木貞子

秋の雨はさびしくもあるが、しづかで美しい。降る雨の中を通ってゆく神父もしづかで美しい。神父であって、修道女でないことも、この美しさを構成するためには動かせない。修道女では、どんなしづかな雨でもその中を、それに調子が合うようには行動が出来ない。この場合聖書を手にさせたことも必要な演出であるが、聖書を手にするのはいつも神父で、修道女ではないことからいわれる。

終戦記念日女はみんな腕を出し　　関　よし

終戦後強くなったのは、女と靴下だという話があるが、ともかく、日本の敗戦によって、女の地位が向上したことは事実である。

女の地位の向上は、いろいろの姿であらわれるが、青年中年を通じて洋服になったことがその一つである。そして女の夏服は、二の腕をむき出しにしているのが普通である。女の地位の向上は、その社会的な意味におけると同時に、その身体の体位の向上も語っている。

平和な時代には、女の身長は目に見えて伸びるといわれるが、たしかに身長は伸びたようだ。問題は、その向上が、手足の美しさまでに行っているかどうか。ただし、関さんは、女たちのこの現代スタイルが気に入っているのかどうか、少し疑問ではある。

をみなへし花こぼしたる青畳　　佐伯芳枝

花も、畳もすがすがしい。

台風の過ぐればつねの妻歌ふ　　白井牛歩

清曇ともに女は敏感であるともいえるし、晴曇にかかわらず、女は常に不敵だともいえる。やさしいハミングに女の本質を誤ってはならない。

# 俳句

## 遠藤梧逸選

岩　支　千　葉　艸坪子

オリンピック聖火リレー盛岡を通過す　快晴なり

稲架組んで聖火迎へるばかりなり
聖火金色マリーゴールドの花も亦
サルビヤや北上川に沿ひ聖火駈く
サルビヤ燃え聖火南へひた走る

水沢営　佐藤棘矢

屋上に患者四五人鳥渡る
胃潰瘍に新涼しみるかゆすする
こおろぎや隔離病棟扉をかたく
木葉髪すかせて死期を知るごとし

大所川発　山岸珠樹

いわし雲塔が倒れてゆくごとく
龍胆の夜はひそやかに花閉ぢて

秋深し死火山系の尖りにも
山脈のかげの押しくる深田刈る

本　店　相川洋子

秋潮の満つればかもの群れ飛べり
浜宿の海に真向う赤のまま
宵闇の波奔放に押し寄する
宵闇の磯の香深く胸にため

本　店　熱海重子

みちのくの老舗の庭の彼岸花
古陶磁を蒐めて老の秋日和
掌にうけて秋澄める日の古陶かな
古き代の光を籠めて秋の壺

東石巻変　土井澄二

塩田に葉月の夜潮さしきたる
二階より葉月潮見る病漁夫
秋日和嬰にやる飴を舐めてみる
豆茹でて雨月の客をとどめけり

福　支　石幡容子

山の空百日紅にただ碧し
本降りとなり来し山路曼珠沙華
店先に青き柚子売り雨の茶屋
秋桜父在りし日も遠くなり

福　支　鈴木一睡

雨の日の事務のペン執る震災忌
クーラーのしづかな音や震災忌
露浄土虫の浄土と同じかな
待宵や甘え寄らざる猫とゐて

福　支　佐藤茗黙

単身赴任風かろがろと稲の花
蜩や引継ぎ終えし番茶冷え
秋天の信夫山わが庭つづき
児らいまだ友得ぬままに秋桜

平　営　小川信親

その一事のみ考へて炎暑行く
他人顔して妻のいる踊りの輪
宿の婢に踊り誘はれ草履はく
誰も彼も集まれ爺が西瓜割る

柏崎営　柴野村童

鉢伏せてあれば其処にもチチロ鳴く
チチロ鳴く母は厨で夕仕度
鬼灯を鳴らしつ妻は濯ぎ物
草刈女露しとど踏み朝の唄

柏崎営　村山春灯

稲馬の首抱き子等を通しやる
郵便夫胸の奥まで秋晴れて
葬の列雁かがやかに渡る中
水涸れて畦を往き来の径とせり

青　支　加藤温流



茶雨きて立往生の大ねぶた
ねぶた了へ雷雨となりしビール飲む
子供ねぶた薄暮の路地を巡りくる

青森営　山内柑滋

聖火ランナー稔の秋を引継ぎぬ
貸本の活字ひろいて灯火親し
灯火親し郷土史にあるわが家系

八戸火力　島崎埋火

古簾一枚老いの独言
煙うすく大夕焼の発電所
月曜の出勤爽やかに蝶ネクタイ

青　支　竹内まんじ

夜の空にのっそり立てる大ねぶた
昼天に火を吐く工場すすき原
頬被りうみねこ留守の蕪島

能代営　佐々木朴丘

夏帽の中の瞳に湖映し
父子若く夕べ枝豆食い散らす
痩る子に肥る児に明け窓の秋

秋田営　吉田孝紀

ケルン高く咲く駒草が雨に濡れ
自家発の食卓暗しビール飲む
雪渓をかきて飯合の汁わかす

秋田営　石橋昭

鉱石のリフト動かず夜の郭公
生壁に指あと夏炉燃えさかる
煙り吐く工場裏の秋桜
湯槽浅し火の山越えし足を抱く

秋田営　太田瀬徳

風鈴の音の忙しく秋を告ぐ
梅雨晴れの樹海の間にかくれ沼
峡深み西日まみれの終ひの駅
稲妻や少年の日の遠き恋う

岩　支　高松邦

矢の根石真夏の日浴び血の色に
サルビヤもカンナも迎う聖火かな
サルビヤとカンナが競う秋平和

水沢営　高橋英雄

初夏のバス沿ひ下る最上川
石段の苔香ぐわしき南谷
半島の灯台白し男鹿の夏

水沢営　浅田哲伸

人造湖慰霊碑白く草茂る
夏帽を被りなほしてリフトの娘
バス憩ふ登山リフトの発着所

磐井川G　大山清雲

夕野分売れぬ露店の早仕舞
ストーブの吹き返す火や夕野分
追いすがる野分落葉にふりむきぬ

南仙台変　千田博

松島の潮のよごるる稲の花
夕焼て落ちゆく海の鰯雲
秋潮の満つればかもの群れ飛べり
浜宿の海に真向う赤のまま
宵闇の波奔放に押し寄する
宵闇の磯の香深く胸にため

本　店　熱海重子

みちのくの老舗の庭の彼岸花
古陶磁を蒐めて老の秋日和
掌にうけて秋澄める日の古陶かな
古き代の光を籠めて秋の壺

東石巻変　土井澄二

塩田に葉月の夜潮さしきたる
二階より葉月潮見る病漁夫
秋日和嬰にやる飴を舐めてみる
豆茹でて雨月の客をとどめけり

福　支　石幡容子

山の空百日紅にただ碧し
本降りとなり来し山路曼珠沙華
店先に青き柚子売り雨の茶屋
秋桜父在りし日も遠くなり

福　支　鈴木一睡

雨の日の事務のペン執る震災忌
クーラーのしづかな音や震災忌
露浄土虫の浄土と同じかな
待宵や甘え寄らざる猫とゐて

福　支　佐藤茗黙

単身赴任風かろがろと稲の花
蜩や引継ぎ終えし番茶冷え
秋天の信夫山わが庭つづき
児らいまだ友得ぬままに秋桜

平　営　小川信親

その一事のみ考へて炎暑行く
他人顔して妻のいる踊りの輪
宿の婢に踊り誘はれ草履はく
誰も彼も集まれ爺が西瓜割る

柏崎営　柴野村童

鉢伏せてあれば其処にもチチロ鳴く
チチロ鳴く母は厨で夕仕度
鬼灯を鳴らしつ妻は濯ぎ物
草刈女露しとど踏み朝の唄

柏崎営　村山春灯

稲馬の首抱き子等を通しやる
郵便夫胸の奥まで秋晴れて
葬の列雁かがやかに渡る中
水涸れて畦を往き来の径とせり

青　支　加藤温流

**打　水**　　長岡営　梶山昇一

暑き日の勤めを終えてわが庭に水撒き行けば木々の葉光る
復旧の資材を積みし輸送班戦車の如く進発したり
新潟へ向う資材の輸送隊見送りながら戦地の日想う

**八幡平**　　秋田営　渡辺としゆき

丘樺の林つらぬき上りゆくリフトの吾は霧に冷めたし
色あせて咲き残りたる石楠花は寂しかりけり霧に濡れつつ
高原のいただき埋めし這松にまつわり匂う苔桃の花

**光太郎山荘**　　岩支　高松邦

亡き妻を呼びたる丘の山荘の老松は秋の風に枯れゆく
高村の山荘の炉の灰のごと佗しく暗く冬の日沈む
高村の山荘の径に柴背負う村童に遇う初冬の夕べ

**白睡蓮**　　福支　石幡容子

夏すぎし山の小沼に咲き残る白睡蓮の花に佇む
傘にふれ散りし山萩かすかなり雨の山路は人げもあらず

**逝く夏**　　白石営　武藤玉子

逝く夏を惜しみて今日も蚊帳の手を休めぬわれを吾子は笑えり
食卓に終り初もの並べたり誰にともなく高き値告げて

**秋の海**　　平営　若松長治

秋の海に子らを連れ来て遊びおり稲刈り前の百姓吾れは
秋晴るる海べに高く低く飛び千島せわしく餌あさりおり

**投光器**　　磐井川G　大山篤

子の植えし黄菊の花の咲きそめぬ朝の陽浴びて匂いほのけし
投光器の消灯終えて朝霧の堰堤に立てば心しずけき

**いのち**　　新郷支所　滝田志愛吉

ヒュッテの灯求めゆきしがしとどなる寒さに耐えん最後の力
寝袋に入りてもさむさ肌にしむ来光かすかに耐えし命ぞ

**吾妻スカイライン**　　白石営　小川よし子

とりどりのバスを並べて浄土が原吾妻小富士と人群れつづく
オフイスの友らと来れる吾妻山病いもつ我れはただにうれしき

**秋の虫**　　石巻営　鈴木螢雪

秋の夜の庭木しずめる池の辺に幼なき日憶い虫の音を聞く
長病みて癒ゆる日遠き療友に慰めの語なし西日照る中



# 選評

扇畑忠雄

短歌の作りはじめの人には、何でも歌になるから、見たまま、感じたまま思ったままをそのまま作るようにすすめる。はじめから、歌とは何ぞやというような理論めいたことにしばられると、窮屈になって手も足も出ない。思いきって実作することが何よりも大事だ。しかし、その第一段階をすぎると、何でも歌にしようとすれば出来るようなものの、それでは満足できなくなる。自分の目に映った素材、心に思った素材――それらの中で、どれが、より感動のつよいものであるかを見分け、見きわめたくなる。つまり、素材や境地を無差別にとりあげて歌にするのではなく、それらの中から感動のつよいもの（自分がつよく感じて印象にのこるもの）を選択し、それに力をあつめて作品を形成しようとする傾向になる。これが作歌上の進歩である。

この選ぶということ、たくさんの歌の材料の中から、さらによい材料を選ぶことを怠れば、何でもかでも三十一文字にしてそれで満足してしまうオソレがある。感動の浅い歌をいくつ並べても、そこには進歩がない。いわゆるタダゴト歌を作りならべて、これで歌を作ったつもりになっていては危険である。かなり作歌体験を積んだ人々は、その点を吟味して、感動のつよいもの、ふかいものを求めていただきたい。

その感動ということであるが、世の中にはそう感動のはげしいことばかりあるものではないから、そうした感動のはげしい素材が出てくるのを待っていたのでは、なかなか歌が作れないことになる。しかし、感動というものは対象の側にあるものではなく、作者（主体者）の心の中にあるものであって、作者の心をたえず新鮮に緊張させて、感動をみずから生んでいかなければならない。惰性的な受け身の気持ちでは、ものを見ても感動のわいて来ないのは当然だ。緊張した心でものに接してはじめて、そこに感動が生まれる。日常見なれ、聞きなれた平凡なことがらも、そうした心で接すれば、新らしい生きた姿をあらわしてくる。そこをとらえて歌にすること。つまり、日常の中に詩が発見されるということになる。――こんなことを思いながら、本号の作品を選んだ。

エッセンスの残る指先楽しみつつ料理講習終えし
村去る　　佐伯芳枝

水流にさからい泳ぐ仔鮒あり雑沓のバスを降りし
下水に　　同人

これらには新鮮な心のうごきがある。料理講習を終えて村を去る作者の心が上の句にあらわれている。泳ぐ仔鮒を下の句のような場所で見つけたところに一つの感動があるのではあるまいか。

逆光となりて遙かなる入江には魚釣る少年の影動かざり　　高橋智恵

印象的な情景である。「逆光となりて遙かなる」の句と「影動かざり」の句とが照応していて、明確なイメージとなっている。調子もきびきびしたところがよい。

海近くかかれる長き鉄の橋のこる光に朱（あけ）きわまりぬ　　田代儀輝

これも境地として、よいところを捉えている。「海近くかかれる長き」鉄橋だけでは平凡だろうが、下の句の、夕ぐれの残光に鉄橋のかがやいているところをとらえて、「朱きわまりぬ」と表現したのは、やはり作者の感動である。その下の句のために、初句の「海近く」までが生きてくるのである。

ふかぶかと山霧低く流れきて前のリフトを折々かくす　　太田瀬徳

山霧のために、リフトの姿が折々かくれるという見つけどころはおもしろく、一応成功している。ただ、表現の絞りがやや不足しているので、歌がらがよわくなっているのは惜しい。「ふかぶかと」「低く」「前の」「折々」など、少し説明的な語句が多すぎるようだ。「ふかぶかと」「前の」ぐらいは省略してもよさそうだ。そうして、その山なり、リフトなりの具象性をもっと出した方がよいと思う。

夕ぐれの竈の煙むらさきにしずかな雨の庭にただよう　　鈴木一平

しずかで、落ちついた景であり、煙が「むらさき」であるのが印象的である。ただ、いかにも歌いなれた手法で見方や表現の新味が乏しいと思われる。

本号の歌評はきわめて一部にかぎられたが、次号は多くしたい。大いに歌稿を寄せられんことをのぞむ。

# 短歌　扇畑忠雄選

**シャボンの玉**　長岡営　佐伯芳枝

エッセンスの残る指先楽しみつつ料理講習終えし村去る
水流にさからい泳ぐ仔鮒あり雑沓のバスを降りし下水に
窓ごしに羽ばたき止まず金色のまなこを持てる大きなる蝶
髪洗うわが肩のへに小粒なるシャボンの玉の青く飛び消ゆ

**夕暮るる海**　酒田営　高橋智恵

雲厚き夏の海ぎし夕暮れて吾が伏せる砂なまあたたかし
逆光となりて遙かなる入江には魚釣る少年の影動かざり
夕浜にろくろ廻して老漁夫が舟引上ぐる音のさびしき

**夕の曇り**　秋田営　田代儀輝

海近くかかれる長き鉄の橋のこる光に朱きわまりぬ
河と海と一つ色にて波立ちぬ曇りつくして夕すさびたる
ツガザクラなだりひろがる山の上息ととのえて子は逆立ちす
ふかぶかと山霧低く流れきて前のリフトを折々かくす
みどりまばゆき樹林の間にひつそりと青く澄みたるかくれ沼みゆ
みどりまばゆき原生林の果てにして藤七温泉の赤き屋根みゆ

**夕の雨**　福支　鈴木一平

夕ぐれの竈の煙むらさきにしずかな雨の庭にただよう
裏庭の石も植木もいきいきと雨にぬれいて夕迫りいる
待宵の薬の庇を雨しずく灯にかがやきて一つずつ落つ

**玉ネギの芽**　白石営　保科辰男

夕ぐれを草刈り居れば鎌の刃が石に当りて火花散らせり
黒き種子の皮つけしまま玉ネギは一せいにみな芽を出しにけり
水路まで這い出し南爪の蔓のさき水につかりてゆらゆらうごく

**泥噴く沼**　秋田営　石橋昭八幡平

ふつふつと泥噴く沼のひとところ時を定めず泥噴き飛ばす
鉱石を積みしリフトはゆるゆると山肌赭き斜面をくだる
入港の船に廃油はおもおもとうねりうねりて岩壁叩く




## 支店所社誌編集委員

| | |
|---|---|
| 青森支店 | 山田有吾 |
| 岩手〃 | 久保源一郎 |
| 秋田〃 | 西名英輔 |
| 宮城〃 | 阪部稔 |
| 山形〃 | 辻初之助 |
| 福島〃 | 草野章 |
| 新潟〃 | 山田幸司 |
| 会津電力事務所 | 山代武次 |
| 東京支社 | 星一男 |


## 編集後記

去る9月にジュネーブで行なわれた，原子力平和利用国際会議は，主に原子力発電を採りあげて論議された模様である。米国の軽水炉が驚異的なコスト低下に成功したと誇らしげな発表があり，各国とも驚きの眼でこれを迎えれば，ソビエトは，直接発電原子炉ロマシュカを創造したことを発表してこれに対抗する。この二つの発表はそれぞれお国柄をあらわして面白い。一方は経済的実用的な進歩を誇示すれば，他方は未来像的な発展を誇る。こういう競争ならいくらでも歓迎するが，熱っぽい非難を含んだやりとりは危険千万である。その他英国，フランスそれぞれに原子力平和利用の面の研究を発表し，お互いにデータを見せ合っているのは心づよい限りで，原子力による発電が常識となる日も間近いのではないかと思わせる。中共の核実験は同じ原子力でも，陰惨な印象を与えるが，これは政治的な効果をねらったものらしいから，政治的な解決に期待する他なく，世界の良識がこれを平和利用に向けるようにしなければなるまいと思われる。

職務給制度もいよいよ近く発足することになり，職務分析の仕事が始まっていることはご承知の通りだが，この仕事の基本的な考え方を示す資料として職務分類制度についての記事を掲載した。これは神山幸男氏の講義を要約したものであるが，近代の経営体が当面している諸条件の中で，これに適応するような賃金のあり方を追求したものであって，全社員が一応知っていてよいものであると思う。ご一読を乞う次第である。

家庭と電気という社外PR誌は昭和30年創刊以来今度の1月号で100号となる。社員にはあまり接触していないものかも知れないが，会社の対外的な面ではかなり大きい役割を果しているものである。最近はまたぐんと評判がよくなり，会社の印象を向上させるのに一役買っている。ここまでにするにはいろいろと苦心を払っているので，歴代の担当課長たちに語ってもらったわけであるが，少し楽屋ばなしになり過ぎた感がないでもない。だが仕事というものは大なり小なり同じような苦心が伴なうものであり，社員も一応は楽屋へ出入りしてみる権利があると思われるので，何かの参考にはなるであろう。社員も楽屋をのぞいて，あれこれといい智恵を貸してくれるなら，これも対外PRの向上につながるのではないかと思う。　（K）

### ☆ 社誌80号原稿募集 ☆

| | |
|---|---|
| 随筆など | 5,000字まで |
| 短歌 | 1人5首 |
| 俳句 | 1人5句 |
| 写真 | 1人キャビネ2枚 |

締切　39年11月25日

○掲載の分には薄謝を呈します。
○なお応募原稿は掲載，非掲載に拘わらず返却いたしません。

# 9電力会社の現況

## 電事連発行 ｢電気事業の現状1964｣ による

昭和39年3月31日現在

| 項目＼会社別 | | 北海道 | 東北 | 東京 | 中部 | 北陸 | 関西 | 中国 | 四国 | 九州 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 資本金（100万円） | | 25,000. | 30,000 | 120,000 | 81,000 | 26,956.[8] | (88,344.[7])<br>66,615 | 24,603.[75] | 12,000 | 40,500 | 426,675.[55] |
| 発電設備（最大）（1000kW） | 水力 | (463)<br>463 | (1,586)<br>1,586 | (2,000)<br>1,979 | (1,469)<br>1,399 | (1,117)<br>1,108 | (1,990)<br>1,926 | (645)<br>645 | (398)<br>388 | (977)<br>977 | (10,645)<br>10,471 |
| | 火力 | (646)<br>646 | (932)<br>932 | (5,454)<br>4,489 | (2,917)<br>2,462 | (156)<br>— | (3,156)<br>3,306 | (1,171)<br>1,015 | (352)<br>352 | (1,577)<br>1,421 | (16,361)<br>14,623 |
| | 計 | (1,109)<br>1,109 | (2,518)<br>2,518 | (7,454)<br>6,468 | (4,386)<br>3,861 | (1,273)<br>1,108 | (5,146)<br>5,232 | (1,816)<br>1,660 | (750)<br>740 | (2,554)<br>2,398 | (27,006)<br>25,094 |
| 需要家数（1000口） | | 1,035 | 2,884 | 7,079 | 3,157 | 759 | 4,199 | 1,819 | 1,038 | 2,843 | 24,813 |
| 電灯個数（1000灯） | | 8,402 | 23,194 | 56,830 | 26,147 | 7,092 | 35,607 | 15,904 | 9,418 | 21,099 | 203,693 |
| 電灯kW数（1000kW） | | 187 | 298 | 1,395 | 580 | 113 | 797 | 187 | 139 | 198 | 3,894 |
| 電力kW数（1000kW） | | 1,376 | 3,570 | 10,781 | 5,839 | 1,870 | 7,793 | 2,074 | 1,145 | 2,500 | 36,948 |
| 販売電力量（100万kWh） | | 4,689 | 13,667 | 32,965 | 17,441 | 7,013 | 23,983 | 6,951 | 3,622 | 10,340 | 120,671 |
| 総収入（100万円） | | 30,021 | 75,172 | 223,486 | 101,076 | 31,548 | 150,982 | 48,311 | 24,371 | 73,866 | 758,833 |
| 従業員数（人） | | 5,733 | 14,788 | 31,186 | 17,890 | 6,018 | 22,040 | 11,181 | 5,569 | 17,511 | 131,916 |

（注）1.資本金の上段（ ）内の数字は増資完了による39年10月1日現在の資本金。
2．発電設備の上段（ ）内の数字は，39年8月31日現在の最大出力。
3．販売電力量および総収入は38年度の年間数値。
4．従業員数は，建設専従者および嘱託，常傭者を除く。

昭和三十九年十一月一日発行
発行所 東北電力株式会社広報課
発行者 方賀次男